第三種郵便物認可
夕刊
滿洲日報
十月十九日

減俸累進率を按配して 薄給官吏の犧牲輕減

藏相、法制局長官の手許にて 勅令の改正案を作成

【東京十九日發電】官吏減俸に就いては十八日の閣議で最低標準を變更せずに累進率を按配して薄給官吏の犧牲を輕からしめるに決し具體案作成を井上藏相、川崎法制局長官に一任したので、川崎長官は十八日午後六時井上藏相を訪問協議した、政府は曩に發表した案が意外の波瀾を及ぼせるに鑑み新案を決定の意嚮で井上、川崎兩氏は勅令改正案作成を急ぎ、出來次第二十二日の閣議に附議同時に江木鐵相の新案をも參考案として附議することゝなつた

江木鐵相の緩和案

【東京十九日發電】官吏減俸緩和策として江木鐵相は私案として減俸率は最低千四百圓以上の者は三分五厘位ゐとし最高二割までの累進率とするを妥當なりとして研究してゐる、此結果來月の閣議までに案を得て決定の方針であると

與黨が政府に警告 政調總會で論議の結果

【東京十九日發電】民政黨は十八日午後二時本部に政務調査總會を開き富田幹事長から米價問題につき詳細報告の後減俸問題につき三宅磐氏から

官吏の減俸は他に方法あるべきに與黨の意見を徴せず發表せるは不都合である世論に鑑みて撤回すべし

と反對し瀬川光行氏は財界立て直しの上より必要ありと議論沸騰して一致するに至らず結局增田會長から

增田會長より未だ確定せぬ事であり詳細報告ある迄は議論は愼しまれ度し

と述べ山桝儀重氏の反對あり更に土屋、栗原兩氏の賛成意見、三宅、松村、佐竹三氏の撤回説に對し高木(正)横山氏の內容修正説あり

本日聞はされた賛否兩論殊に緩和策としての內容修正及び與黨の意見を徴せずして發表せるは不都合である、今後斯かる事なき樣與黨を尊重され度い

との旨を政府に警告的傳言をなすことに決定し午後六時散會した

在鮮判任官も反對 各植民地奉職者に飛檄

【京城特電十九日發】減俸問題に關し朝鮮官界は動搖し各方面において寄々協議の模樣であるが、總督府においては十九日朝十一時第二食堂に集合せる判任官二百名により左の決議文を發表し減俸反對の第一聲を揚げた

朝鮮在職官吏に對する本俸並びに加俸の減額は吾人の生活根柢を脅やかすものにして到底忍ぶ能はず、依つて絶對反對す
右決議す　朝鮮總督府判任官一同

右決議文は直に濱口首相、松田拓相、井上藏相、鈴木翰長及び上京中の兒玉政務總監、草間財務局長に打電する一方、臺灣、樺太、關東廳、南洋廳等各植民地官廳に打電し、更に本府にあては齋藤總督各局部長に對し右決議文を提出し陳情する處あつた

樞府、貴族院側 成行を重大視す 或は政府に警告せん

【東京十九日發電】減俸問題に對して全國判檢事の間に反對氣勢漲り次昂まりつゝあるに關し樞府方面にては異常の緊張味を以て其成行を重視しつゝあり場合に依つては政府に對し警告を發せんとするが如き模樣すら見ゆるに至つてゐるが、本問題は獨り判檢事の問題に止まらず一般行政官並びに教育界方面にも一大動搖を來たさんとするが如き傾向顯著となり來つてゐる事は事實で、而も政府は既に撤回の機を逸し其威信上よりも撤回は不可能と見られ事態は最早取り返しの附かぬ重大事となるものと見られるとて非常に憂慮し重大視してゐるが、一方貴族院方面の政府に同情を有する人達は事此處に至つた以上最後の解決策として俸給令改正案を樞府に諮詢し最後の決定をなす旨を聲明し速かに樞府に廻附し其當否の責任を回避する事を政府に進言すべしと寄々協議中である

減俸問題と關東廳 判任以下の大恐慌 拓務、大藏當局に諒解を求めん 上京せる西山財務局長談

本年度豫算より十三萬餘圓、實行豫算より約百十萬圓の膨脹となる明五年度關東廳豫算に就いて拓務省や大藏省に折衝の重任を帶びて十九日東上した西山財務部長は減俸問題を中心に明年度豫算要求に關して語る

豫算は減俸通牒前に決定したので現在俸給を基準として扱ひ、俸給が六百五十萬圓、加俸が三百五十萬圓總計約

一千萬圓 程度であるが減俸令に依る豫算の變更は當然ある、俸給加俸を通じて豫算節約額は二百萬圓近くに上らう、減俸の主旨は尤もなことです、殊に官廳は民間に範を垂るゝ意味から率先して行ふのが至當ではあるがそれも程度や土地柄等もよく考慮された上のことでなければ問題だと思ふ關東州や滿洲を內地同一に見るのは無理な點が多い

物價は下 つたといつても今回の減俸を行ふ程度までではない、殊に御承知の樣に老人や子弟の關係で家庭を內地と任地の兩地に置いたり、氣候や風土關係では屢々病氣に罹り娯樂設備等は未だなつて居らず、それに鄕里に不幸なぞがあれば二三年も苦勞して稼いだ貯金が一遍で飛んでしまふとか又對外的面上から服裝其他も內地同樣では不可ない場合もあり海外に住居んでゐれば兎に角目に見えぬ出費が非常に多く就中判任以下の

加俸半減 等は早速生活上の一大恐慌を來すことゝなるので此等の點につき充分諒解を求める積りである

關東廳の豫算も 緊縮方針で編成 太田長官門司で語る

【門司特電十八日發】太田關東長官はうらる丸で今曉七時半門司に着いて語る

今度は豫算に關し約二十日間の豫定で上京する、豫算は本年實行豫算と

大差なく 少し增加して二千四百萬圓前後である、勿論緊縮方針で編成してあるが自分は管內視察の結果警察力充實の急なるを感じたので二百名の警官增員の爲め三十萬圓の警察費を增額した關東州に工業其他產業を奬勵發達させたいと思つてゐる、鹽業の研究費二十萬圓も明年度に計上してあるがやりたい仕事はかなりある、まあ

一ケ年の 日月を借して貰つたら其緒につくつもりである張學良氏にも三四回會つたが將來有望な人物と感心した、支那現下の形勢に對して彼がぢつとして居ることは賢明な處置である、奉天票の下落は氣の毒で東三省幣制確立に對しては政治經濟の基礎が確立さへすれば援助してやりたいと思つてをる、新聞によると減俸令に對し本家本元がぐらついてゐるやうだがそれは曾つて日清戰爭前

軍艦を造 る爲め官吏の減俸を行つたことがある、それと同じく政府には云はれぬ辛いこともあるであらう、國有財產法が實施されると關東廳の特別會計の財產一億五千萬圓は長官の統轄に屬しその異動處分の權限が與へられるとになる、財產の主なるものは土地であるが權限を與へらるゝだけ我々の責任は重大である、吾々は總て國家本位で公明正大にやらう、滿鐵の土木、衛生、教育の事業を關東廳に移管することは理想論で容易でない

尚長官は直ちに神戸に赴き上京すると

總辭職を覺悟し 檢事團態度强硬 判事側も呼應せん

【東京十九日發電】東京地方、區兩檢事局の檢事約五十名は十八日午後六時より區裁判所三階會議室に會合松坂次席檢事座長席に着き先づ同檢事が十八日檢事總長と面談會檢事局の意思を傳へた事及び渡邊法相より檢事總長に回答あつた內容を詳細報告續いて各檢事交々起ち所信を述ぶる處あつた、演說は何れも激越なる調子を以て爲されて其度に拍手起る等檢事局空前の爭議氣分を現はし所信貫徹せざれば總辭職を爲すの空氣あり午後八時四十分散會した、一方之に呼應して東京地方裁判所判事百四十八名も十九日午後三時より判事總會を開き一大運動を爲さんとしてゐる

政友會は 形勢觀望

【東京十九日發電】政友會では十八日午後一時二十分から本部に幹部會を開き犬養總裁以下床次氏其他幹部出席減俸問題につき意見交換の結果

政府の拔打的の減俸發表は俸給生活者に非常な不安を與へたのみならず一般社會を異常に脅威せしめてゐる、我黨は此際政府の反省を求むると共に今暫く事態を靜かに注視する必要があると云ふに意見一致し午後二時半散會した

我軍縮全權出發期 來月末横濱を出帆渡英

若槻全權は途中米大統領訪問

【東京十九日發電】軍縮會議出席の若槻、財部兩全權並に其隨員一行は來る十一月三十日横濱出帆のサイベリヤ丸でアメリカ經由渡英に決した、なほ一部の隨員は十一月十八日鹿島丸で印度洋經由渡英の筈、又若槻全權等はアメリカにてフーヴァー大統領と會見することになつてゐる

英政府わが回答文發表

【ロンドン十八日發電】英國の軍縮會議招請狀に對する日本の回答全文は十八日午後英國政府から發表された

米首席全權ス國務長官

【ワシントン十八日發電】アメリカ國務長官スチムソン氏がロンドン會議にアメリカ首席全權たるは動かぬ處であるが他の全權に就いては未だ嚴秘に附せられてゐる

濱口首相に 黨の希望通告

【東京十九日發電】減俸問題に關し民政黨の增田政務調査特別委員會副會長は十八日閣議散會後濱口首相を訪問し同會の模樣を報告し黨の希望につき考慮を求むる處あつた

國內有力軍隊は 總て中央を支持 國民政府天下に聲明

【南京十八日發電】國民政府は本日左の如き通電をした

國民政府は戰禍のため困苦せる人民を救ひ疲弊せる商工業を濟ふべく編遣をなし百六十師の軍隊を八十師に半減したが一部の誤解より今回西北軍隊の內亂を見たのは遺憾である、併し國內有力な軍隊は總て中央を支持し張學良、閻錫山、兩巨頭も既に中央支持を表明してゐる、失意の政客が軍人と結び事を起さんとすることは今後も有らんも國民政府の地盤磐石の重きに在るを茲に聲明す

河南西部に於ける 兩軍の戰機熟す

中央飛行機盛んに爆彈を投下 兩軍の勢力は相伯仲

【南京十八日發電】河南西部に於ける政府、西北兩軍の戰機熟し近く大會戰起る形勢となつた、政府軍は開封、許昌、禹州を結ぶ戰線を張り中央飛行隊は十七日來洛軍の後方洛陽の上空を飛び盛に爆彈を投下しつゝある兩軍の勢力は五分々々である

閻氏の和平通電 二つの交換條件によつて 速かに停戰を勸告

【上海十八日發電】閻錫山氏の和平通電發表は一兩日遲れるらしいが、內容の大意は、軍政期から訓政期に入つた支那が又復血腥さい同志討をする事は內人民を苦め、外列國の信用を失ふのみ、兩軍は速かに矛を收めよ西北軍は中央に絶對服從して中央の命を待つべし又中央は西北四省の災害救濟に適當の處置を講じ西北軍隊に對して相當の軍費食糧を支給すべし兩軍は右二つの交換條件に依りて停戰せん事を茲に勸告す

對西北軍 總攻擊令 蔣氏漢口着後

【北平十九日發電】蔣介石氏は二十日漢口着廿一日西北軍總攻擊令を發すべしと

陳氏中央軍の 總司令に

【南京十八日發電】向背を疑はれてゐた陳調元氏は本日午前十時歸京直に蔣介石氏を訪問三時間に亘り密談を重ねた結果、陳調元氏は飽くまで中央忠誠を守り後方豫備隊總司令に就任し十九日發山東に歸ることゝなつた、尚蔣介石氏の漢口行は陳調元氏の來京と蕪湖の兵變で延期されたが、二十日軍官學校生徒八百、手兵三千を隨へ赴漢し氏自ら督戰することゝなつた蕪湖に對しては浦口に在つた方策軍の一部約二千と軍艦三隻を本日正午急派した

死か前進か 孫良誠氏激勵

【北平十八日發電】西北軍の出足早く各方面脅威の的となつてゐるが、同軍兵士の大部分は河南が鄕里であり其一部が山東直隷であるから彼等は故鄕へ〳〵と叫んで前進し殊に總指揮孫良誠氏は全軍の出動に際し「我等は戰死するか、然らずんば前進の二途有るのみ」と激勵したと

對支强硬政策を 勞農側中止せず ドイツの提議を拒絶

【モスクワ十八日發電】ロシア政府はドイツがロシアに對し露支兩國間の紛爭に關し兩國が取りつゝある强硬政策を中止せんことを提議したるに對し其提議を拒絶する旨の回答を發した

市議の補缺選擧 明年五月頃執行せん

大連市會では市議副島善女氏の死去により現在四名の缺員があり前例に徴するも結局補缺選擧を行はねばならぬが市役所としては戶籍係新設準備に着手してゐる折柄戶籍事務を整ふる上より見るも經費節約となるので直に選擧執行準備に取掛り明年五月頃行ふべく準備を進める模樣である因に經費は八千餘圓を要し近く市會の協賛を求むることゝならう

▲大阪市實業組合聯合組合員一行 山內俊盛氏外二十一名 同上內地へ
▲熊本縣立菊地農學校生徒一行三十名 猪俣教諭引率の下に同上
▲津上善七氏(日滿通信社長)同上
▲米山久馬氏(陸軍輜重兵少佐)同上
▲陸軍輸送患者四十五名 尾坂軍醫引率の下に同上
▲西山左內氏(關東廳財務部長)同上 文子夫人同伴同上
▲楊井勇三氏(正隆監査役) 本支店業務視察のため十七日來連、十日中旬歸京の豫定

大觀小觀

故人となつた王永江氏の老父、王克讓翁が死んだ。

◇

この人にして、この子ありと、いはれるほどの立派な人格者であつた。が、寄る年波には勝てず死んだ。

◇

蔣馮の確執、いよ〳〵露骨となり、兩派から閻錫山の口說き落しに全力をあげてゐる。

◇

キャスチングヴオートを握つた形にある閻、馮には都合のよいことをいひ、蔣に對しては、中央擁護であるやうな素振りを見せる。

◇

が、結局、いろ〳〵なものを左右の皿に載せ、そして重い方に向つて洞ケ峠を降ることだけは確實である。そこに誤りがあるか、ないかは別。

◇

それにしても「國民政府の基礎は磐石の如く重し」といふに至つては、支那の新舊軍閥が、抽象的の觀念で、蝸牛角上の鬪爭に沒頭してゐることを思はしめられる。

戶籍係新設準備費

大連市役所の戶籍係新設準備費は七千圓を充つる案を樹てたが、その內譯は次の通りである ▲二千四百圓(人件費吏員六名) ▲三百圓(備品) ▲千百圓(消耗費) ▲三千圓(通信費) ▲二百圓(雜費)

關東廳辭令(十八日附)

關東廳中學校教諭　細萱倉三
任關東廳中學校教諭 敍高等官六等六級俸下賜 大連第二中學校勤務を命ず
關東廳中學校教諭兼關東廳高等女學校教諭 從七位　山岸榮三郎
任關東廳中學校教諭 敍高等官七等七級俸下賜 大連第一中學校勤務を命ず
關東廳中學校教諭　高尾賴信
任關東廳中學校教諭 敍高等官七等七級俸下賜 旅順第二中學校勤務を命ず
關東廳高等女學校教諭　伊佐逸
任關東廳高等女學校教諭 敍高等官七等八級俸下賜 大連神明高等女學校勤務を命ず

人事

▲光永眞三氏(日本電報通信社營業部長)目下北滿視察中の處、來る二十五日午後零時半錦岳城より歸連の豫定
▲宮崎縣々會議員一行七名 十九日出帆のほんこん丸にて離連

齋藤、小日山兩理事留任 仙石總裁、松田拓相懇談の結果 滿鐵重役の異動了る

【東京十九日發電】仙石滿鐵總裁は十八日午後三時松田拓相を訪ひ赴任の挨拶をなすと共に滿鐵人事につき懇談したが、小日山、齋藤兩理事は留任に決定之にて滿鐵の重役異動は終了した譯である

仙石總裁外相に赴任挨拶

【東京十九日發電】仙石滿鐵總裁は今朝十一時外務省に幣原外相を訪ひ赴任の挨拶をなした

中谷局長沿線視察

中谷警務局長は左記日程にて金州瓦房店、奉天各地を視察する由 △十九日九時四十分旅順發同十一時二十六分金州着二十三時發 △二十日八時三十分奉天着奉天署移轉式臨席二十一日七時十五分發△十四時二十五分瓦房店着十六時二十分發△十九時四十五分歸旅

米穀檢査の補助金

豫て在奉天の全滿米穀同業組合より申請中の同組合檢査事業費補助金は今般二千圓を下附することに認可があつた

天氣豫報

(二十日)北西の風晴れ一時曇り
日出 六、〇七　日沒 五、一〇
滿潮 前 一一、〇五　後 一一、二〇
干潮 前 五、〇五　後 五、一〇

秋晴れの北陵運動場に盛んな日獨支競技入場式
張學良氏奏樂裡に來場して八百米に火蓋切る

【奉天特電十九日發】日獨支對抗競技大會の當日たるけふ十九日の奉天には滿洲特有の冷たい風が吹いて來るが、風力は弱く滿洲晴れして絶好の運動日和である、在滿邦人は勿論、各國人より永い間大きな期待をかけられてゐた張學良氏主催の日支獨競技は本日より開催される事となつた、グラウンドは未だ完成を見ずスタンドも一部しか出來上つてはゐないがトラックの堅さは惡くはない、熱心な觀衆は十時ごろより會場めがけて續々とつめかけ、日本人側一千名の固定席は正午までに大半を埋める有樣であつた、正午過ぎるころ各學校の應援團が入場し、支那軍樂隊もスタンドの中央に控へた役員一同は日本側を先頭に入場して最後の準備にとりかゝつた、メインスタンドの中央入口には支那側少年團、軍隊及び巡警等が堵列して張學良氏の來場を待ちかまへて居る、ドイツ領事デリッケ氏は既に正面貴賓席に姿を現はし、滿鐵齋藤理事、小倉同社會課長も姿を見せて居た、十二時四十五分日支獨選手が急霰の如き拍手をあびて入場し、互に輕いウオーミングアップをなした、同五十分ごろ張學良氏便衣隊が入場し嚴重な警戒が場內に行はれる、と同時に張學良氏は部下を伴ひ軍樂隊の吹奏裡に入場した、一時四十分ドイツ國旗を先頭にして日獨支選手の入場式は行はれ、東北大學副校長隆風竹氏の開會の辭、張學良氏の歡迎の辭あつていよ\/\晴れの競技大會の幕は八百米競技により切つて落された

全滿ラグビー組合せ決定
決勝戰は來月三日

全滿洲ラグビー選手權大會は既報の如く廿日午後一時より大連運動場に於ける州內豫選(育成對大連商業、實業對工大)を皮切りとして廿七日、十一月三日の三日間に亘つて行はれるが、その日時試合順序等は左の通りである

◇州內豫選　十月廿日午後一時育成對大商(決勝)同同二時半大俱(實業)對工大、同廿七日午前十時廿日の勝者對滿鐵、同同十一時半、千歲對工專、同午後三時半決勝

◇全滿決勝戰　十一月三日午後一時半、中等學校決勝戰、同午後三時、一般決勝戰

日佛庭球
日本側勝つ

【東京特電十八日發】日佛庭球試合第三日は十八日午後零時半より三年町コートに於て擧行、前日日沒中止のランドリー、ロードル對原田、青木のダブルスは昨日の殘り第四セットを七對五で日本勝ち結局シングル、ダブルを通じて四對二にて日本快勝、續いてエキジビションゲームに移つたがスコア左の如し

原田　六―三、八―一〇、六―一　ロードル

牧野　六―四、四―六、八―六　ランドリー

コーシエ、ブルニョン　六―三、七―五、六―二　清水、福田

貨物拔取被害で苦情が多い
水上署が近く關係者と共に調査と防止方法協議

最近大連廻りの貨物の拔取りが多く阪神に於ける被害者より大連水上署あてに頻々と苦情を訴へて來る、這般廣島市高瀨町三一八食料品卸賣商丸金商會より申出た書面によれば同店は北海道、臺灣、滿洲各地に罐詰その他食料品を送つてゐるが、大連經由滿洲仕向けの貨物に拔荷が最も多く甚だしきは中味が十分の四位拔取られてゐることあり、特に本年三月以降の被害が夥だしいからよろしくお取調べが願ひたいとあり水上署でも數日中に埠頭構內係員、鐵道事務所驛貨物係ほか各關係者に通知し相集つて右實情調査及び防止方法に就いて協議すると

ゆふべ呉越同舟で
着奉の日獨選手

寫眞(上)は日本側內地選手(下)は在奉ドイツ人から花束をうける獨選手總監督デーム博士(中央)とその一行(いづれも奉天驛にて)

出場延へ人員五百餘 壯觀を極めよう
愈よあす電園下で擧行される第二回全滿馬術大會

滿鐵馬術部主催、本社後援の第二回全滿馬術大會はいよ\/\二十日午前八時半より電園下廣場で開催されるが、出場申込みは

▲團體＝金州種馬場、公主嶺農事試驗場、旅順工科大學、福島乘馬會、關東軍調教班、金州在鄕軍人分會、滿鐵經理部、昌和乘馬會、滿鐵馬術會

▲個人＝大連各警察署、憲兵分隊工業專門、奉天醫大、滿鐵、競馬俱樂部、消防隊

を初め市內からの參加者も頗る多く長春、公主嶺、鐵嶺、熊岳城、旅順、金州等の遠隔地からも出場し團體、個人を合した延人員五百二十名といふ

盛況さ　で馬術大會としては大連最初の壯觀を呈するであらう、殊に當日呼物の餘興たる琴平廻り、蛇乘、馬裝、毬入、鯉の瀧登り、卷乘、旗取、首突中禮、旗體、夫婦競走といつた競技は落馬や滑稽が百出して一般觀衆に少からぬ興味をそゝるべく、高等馬術は公主嶺騎兵中尉の乘馬振りは恐らく觀衆の血を湧かさずには置くまい、出場馬は公主嶺騎兵、海城野砲兵の軍馬二十四頭、滿鐵馬術部馬十六頭、憲兵分隊馬七頭、大連警察馬三頭その他個人所有馬五頭合計五十五頭で個人の

所有馬　ほかは全部抽籤騎乘となつてゐるから、この點は出場者にも觀衆にも更に興味をそゝるわけである、因に當日の入場は全部無料で一般市民の來觀を特に希望すると

貨物監視中の邦人兇賊と格鬪殉職
今曉奉天驛內貨物線路上に死體となつて發見

【奉天特電十九日發】十九日午前六時頃奉天驛貨物線路上に一名の邦人が支那刀の如きものを以て慘殺されてゐるのを發見、奉天署から係官が醫師と共に現場に急行檢證の結果、同人は當地隅田町十一番地志倉方國際運輸屋人中鍬藏之助(三二)と判明し同夜貨物の警戒に當つてゐたものであるが、午前二時ごろ突然兇賊と出合ひ之を逮捕する爲め遂に殉職したもらしく格鬪のあとが判然と殘つてゐた、目下犯人嚴探中

出口王仁三郎
けふ驛頭盛んな出迎裡に着奉

【奉天特電十九日發】今回、東北主會の斡旋で世界紅卍會と提携成り、その本部濟南に赴く途中、大本教の教主出口王仁三郎は十九日朝六時二十分瀋安奉線にて着奉、驛頭には紅卍會員その他二百餘名の出迎へあり待合室で應接直ちにミヤコホテルに入つたが、午前九時から奉天神社、忠靈塔に參拜し午後、奉天城內小南門外にある紅卍會に立寄り午後六時から千代田通洞庭春において盛大なる歡迎晩餐會が開かれ、なほ二十日朝十時二十分發、北寧線で北平に向ひ二十七日ごろ濟南に到着の豫定であると

前借金を詐取
元抱妓訴出づ

貔子窩西街料理店富貴興世こと石田ツヤ方抱藝妓野中キヨミ(二二)は前抱主大連逢坂町一五〇貸座敷末廣樓こと井村勝太郎を相手取り十九日大連署へ詐欺の告訴を出した、キヨミは曾て逢坂町貸座敷喜笑樓に前借七百六十六圓十八錢で酌婦稼業中、昨年九月十二日井村の交渉により六百三十圓に減額せしめ井村方に仕替し更に本年九月五日前記貔子窩に仕替したが、今回キヨミが旅行のため來連に際し喜笑樓に減額せしめた前借金は事實五百圓なる事判明、井村はこれを隱蔽し六百三十圓なりと稱しその差額百三十圓を詐取したのみか、キヨミの稼業中客の引受金を負擔せしめ或は人絹の支那服を本物なりと欺いて買取らしめ合計七十二圓の損害を與へたと云ふのである

旅大の地酒
內地一流酒に劣らぬ
清酒品評會の褒賞授與式　けふ盛大に擧行さる

第八回清酒品評會褒賞授與式は十九日午前十一時半より大連民政署樓上に於て開かれ參會者は五十餘名、式は藤井民政署財務課長の開會の辭に初まり表彰狀と賞牌を授與したのち、審査長世良滿鐵中央試驗所長は報告の後、今回の品評會成績を見るに近年異常の改良進歩を示し既に地酒時代を完全に脱却して所謂吟釀時代に入り製法に於ても香味に於ても何等內地の一流酒に遜色ないが、この上とも吟釀主義を採り銘酒であることに自信を以て販路を擴張せられたいと述べ、次で會長田中民政署長、小川關東廳殖産課長(長官代理)石本大連市長、村井商工會頭、關東廳財務課長(代理)よりそれ\/\審査長の報告と同趣旨の祝辭を述べ直に宴に移り午後一時半ごろ撤宴した、因に褒賞受領者左の如し

優等志摩錦、大連志摩釀造合資會社▲一等高風、大連岩田爲造▲同美の鶴、大連鹽足龜吉▲二等松鶴、大連東田商會▲同春心、大連大川太郎松▲同神代、旅順神田小太郎▲杜氏表彰、大連志摩釀造合資會社內鹽足龜吉

變つた商ひ
銅子兒を鑄つぶして大阪方面へ輸出する
却々莫迦にならぬ

大連市內に邦人の經營するもので南支那芝罘、青島、上海方面より戎克船によつて輸入して來る支那通貨銅子兒を相當大規模な工場にてそれを熔解し大阪方面に輸出して居る一風變つた商賣人が大連市內に七八軒ある、そのうち大きなところでは一日平均數千斤を熔解し相場の變動によつて休業することもあるが一月約十萬斤を鑄潰して大阪に輸出して居るといふ、現在の相場では銅子兒百斤につき十九圓五十錢にて仕入れ大阪に輸出すると廿四圓となるが、それでも輸出費、工賃等を差引くと二、三十錢の儲けにしかならぬ、數ケ月前には百斤につき三圓內外の利益があつたと

中央公園の菊花見ごろ

中央公園事務所の菊花は二十日ごろからが見ごろなので市役所では一般の觀覽を歡迎してゐる、夜間は強燭の電燈二十箇を取付け休憩所には湯茶の設備があると

果梨泥棒捕る

大連管內西山會西山屯頭道溝居住の鸞明堯(三二)は十八日午後四時半ごろ西山中聚谷農園內に忍び込んで果梨を窃取して居るのを夜警に發見され沙河口署に突き出されたが、鸞はこれまで數回に亘つて共犯四名と共に同農園を荒して居つたことを自白した

△△△△△△
八千圓藝妓で飛んだ人騒せ
△△△△△△

奉天十間房金龍亭の八千圓藝妓といふ綾龍(元大檢の百々春)はその後某支那大官の寵愛を受け商埠地に國際ダンスホールが設置されて以來毎日の如く踊り狂つてゐたが、近頃綾龍には秘書の某といふ色男から寵愛を受けてゐたことを十六日夜綾龍が秘書の某と共に國際ダンスホールに出かけた際某大官にこの關係を知られた、そこで某大官は烈火の如く憤慨し突然拳銃を以て秘書を目掛けて一發ズドン、踊りつゞけてゐた同ダンスホールの人々はこの物音に上を下への大騒ぎとなり大混亂を呈したが、秘書の某は直ちにわが總領事館に逃げ込みこの事件を報告すると共に名前だけはどうか秘密にと懇願したと【奉天特信】

詐欺の福崎は中川氏と無關係

本紙今朝刊既報「旅順民政署員が收賄罪で收容さる」の記事中目下詐欺事件で收監取調中の料理屋福崎顯三が大連運動場內中川某方に同居してゐたといふのは誤りで福崎は去月下旬聖德街四丁目居住當時拘引その儘收容されたので、家族の困窮を見兼ねた中川氏が同情して家族を義俠的に引取り世話してゐたものであると

刺青の人妻情夫と戀の道行
夫から大連署へ搜査願

左肩から左腕にかけて物凄い龍の青刺のある內緣の妻高橋リン(二七)が十三日午前十時ごろ無斷で家出した、多分情夫の大連常盤町一一今朝丸禮造といふ男と道行きしたらしいと夫逢坂町八五廣島慎一(三九)から十九日大連署へ搜査かた願出た、廣島夫婦は去る八月五日東京から來連し妻リンは逢坂町八五カフエー東野かたに女給として働くうち同月末ごろから前記今朝丸と懇ろになり屢々文通もし九月三日には相攜へて外泊した事もあつた、今朝丸と同居してゐる美濃寛一といふ男とも再三會つてゐる模樣で、行動に不審の點があるから嚴重手配して一日も早く搜査して貰ひたいと云ふのである

日曜の催し

▲馬術競技大會　午前九時から電氣遊園下廣場に於て

▲ラグビー全滿選手權豫選　午後一時育成對大商、同二時工大對工專(大連運動場)

▲南滿洲齒科醫學會總會　午前九時より大連醫院第一教室に於て尚午後六時より扇芳亭に於て懇親會

▲大連靜坐會　常安寺に於て午前九時より橋本吾作氏指導

平安異香(144)

葉多默太郎作 中一彌畫

髑髏の革袋(八)

ザクくと落葉を踏んで來る人の跫音——と見て、

「おい…………」

と源八郎、きよとんとしてゐるからつけつの勘兵衛の脊をなぐりつけて一緒に篝火を踏み消し、地を這ひながら伊賀專女さまの石燈籠にへばりついて窺ふと社前の大楠の下に、闇から湧いたやうな黒い影がたしかに二つ、眞直に社の方へ進んで來るのだった。

「お大將、ありや武士だ」

「…………」

源八郎に睨まれて、勘兵衛は已の口のはたを捻りあげた。

二人の武士らしい男は、社前へ寄って來て切石燈籠の前に立停るその燈籠が、即ち先刻の袱衣の女が燈書らしいものを取出した燈籠だ。

はて——と見てゐると、燈籠の影と人影とが、つと寄りあって一つになってしまったが、月の入った後の木の下闇に、何をしてゐるのか知る由もない。が、どうしてくれようと思案を決める間もなく

そのまゝ二つの人影は燈籠を離れて、もと來た道を引返して行った。跫音が遠くへ消へるのを待って

「勘兵衛、あの燈籠の中を見て來い」

勘兵衛を走らせると、返辭は迅速にして且つ簡單——

「お大將、何にもねエ、からっぽだ」

「さうか——」

だが源八郎は斷念出來なかった。何かある筈だ。何かなくては叶はぬ——

で燈籠へ寄って行って灯袋を摸ったが、塵一本手に觸れるものはないのだった。からつけつの勘兵衛の云った通りだ。が、源八郎には源八郎だけの物の觀方がある。灯袋を摸った手の指を輕く揉んでゐると思ふと、

「勘兵衛、おぬしの云った通りだ何にも無いぞ。塵一本埃一つないきれい過ぎるくらゐだ」

「無エものは誰が見てもねえ」

「だが、長らく灯を入れたらしい様子もないこの燈籠に、塵一本埃一つないのはをかしいとは思はないか」

「なるほど、さう云やあさうだ。成るほどをかしい、こりやをかしい。頗るをかしい、滅法をかしい」

「よっく目を開けてあたってみろ何かあるに違ひない——馬鹿野郎そんなに眼をむいて覗いたって何があるものか——勘兵衛、手を入れて灯袋のまはりを叩いて見い」

「よし來た」

勘兵衛の指が、灯袋の側壁や天井をコツくと叩くのに耳を傾けてゐた源八郎、勘兵衛が底を打った時に、

「待った、勘兵衛、そこんとこが二重になってゐる」

「へエ、さうかね」

いぢりながらいろくにやってみると、底の石が脱けた。二三分厚さの石板である。

「點いた。二重底だ」

「下に何かあるだらう」

「うんや、いや、ねエよ。大將、何にもねエ——あゝあった。なんだ折角だがこりや松葉だ、松葉が一本」

「松葉一本——さうか、松葉一本」

その松葉を指で掴んで、源八郎は怪しい武士の去った方角をじっと見てゐたが、

「勘兵衛、跟けてみろ。まだ遠くは行くまい。行先をつきとめて來い」

「合點」

と、もう勘兵衛は飛出してゐる

一人になると源八郎、伊賀專女さまの社の背後へ引返して、木蔭の中に、女の屍體を前にして少時踏んでゐたが、

「とにかく、勘兵衛と太吉の返辭を待ってからのことだ」

呟くと、曲ったまゝ棒のやうに硬くなってゐる屍體を着物に巻いて抱きあげて、社の床板を剥いで假のかくまい所、一分違はず床板をなほしておいて、裏の椋の根下の壁土を掻きやり、こゝにも今夜の縦跡を殘さず、何事もなかったやうにして飄然源八郎はこの狐の森から姿を消した。

そして、舞臺は源八郎の假寓である、百姓家の離れになる——

太吉が、一足先に歸って源八郎の歸りを待ってゐた

映畫と演藝

温習會評(中)

「乗合船」では「浮いた同士の渡守」と云ふ文句がある如く船には必ず船頭がゐなければならぬ筈だそして臺本によれば船の出る間を踊りにして立方が全部船に乗った時始めて幕にせねばならないのだが、舞臺を見ると船は船頭なくて踊り手に渡場へ着いて居りそして船から上陸して踊って幕にしてゐる。臺本と全然反對に行ってゐるのを遺憾とする。

◇

「四季の詠」では背景を大連に採り春は中央公園、夏は星ケ浦、秋は老虎灘、冬は遊覽道路から見た全市にしソレに花火なども用ひて苦心の跡見へるが「開く隅田の夕櫻」とか「淺草寺の鐘の聲」などゝ唄ひ東都の唄をその儘唄ってゐるので、背景と唄と踊がピッタリ來ない。これは背景が大連ならば大連に因んだ唄を唄ふのが本當であるまいか。

◇

同じ「四季の詠」で衣裳も然うだ春の場面で櫻模様、夏の場面で藤の花模様は無難として秋の場面でも櫻模様、冬の場面でも藤の花模様の衣裳はどうした事か、ソレ計りではない。冬の場面には双肌脱がして迄も踊らしてゐる。冬の嚴寒に双肌脱がして踊らせる師匠は日本全國何處にあらう。寒さに馴れてゐる大連藝妓でも然う無感覺ではない筈だ(ウの字)

梅若流秋季大會

大連梅若緑葉會秋季大會は來る廿日午前九時より淡月に於て開催さるるが當日の番組は次の如くである

△素謡 三輪、清經、井筒、柏崎、定家、砧、花筐、葵上、俊寛、番外實盛
△獨吟 鐘之段、景清
△連吟 熊野、藤戸
△仕舞 小袖曾我、八島、玉葛、松虫、百萬、殺生石、俊成忠度
△囃子 菊慈童、胡蝶、玉之段、船辨慶
△舞囃子 班女、山姥

映畫界東西

日活の新進実演部進との戀愛沙汰によって去月二十九日家出し第二の梅姫となった澤蘭子は無斷缺勤の故に依り先月限り解雇する旨十一日附發表された

◇

さき頃、日活に入社し第一回作品として「傘張劍法」を撮る筈であった高津愛子はその後帝キネとの間の問題が未解決のため行き惱みの狀態であったが此の程、愈々同社の圓滿了解のもとに日活に入社現代劇に活躍する事に決定した

◇

デフオレスの發聲機からWE式ワーナーのヴアイタフフオン、フオックスのムービートン、RCAのフオトフオン等と負けず劣らず自己宣傳で大童だが今度フイルムサウンド會社でワンダーフオンと云ふのを使って盛んに發聲映畫の製作を始めた

◇

東亞にあった平塚泰子は同社を圓滿退社し帝キネに入社したが、研究生の一年から一生懸命勉強するといふてゐる

噂話

今夜協和會館では「笑ふ男」を上映するが▲六球のソノラを二臺つけて櫛木氏の選曲で始めてのレコード伴奏を試みるとのことである▲同じく協和會館で最近「ジャングル」を上映するとの事▲マベル、ベネット、ビイクター、マクラグレン主演のフオックス映畫「マザー、マックリー」は來週演藝館で上映される▲配給屋の服部さん「死のアラスカ探檢」を持って沿線巡業に出發

滿洲日報

仙石總裁より減俸案撤回を勸告

昨日首相を訪問して

【東京十九日發電】民政黨顧問藤澤幾之輔氏、滿鐵總裁仙石貢氏は十九日午後四時官邸に濱口總理を訪問し減俸問題は目下各方面より反對を受け輿論も反對であるから寧ろ此の際虚心坦懷閣議決定の減俸案を撤回するが與黨政府は勿論國家の大局より見て得策であると て撤回勸告を力說し同五時辭去した

極力切拔策を講ずる積り

◇…渡邊法相語る

【東京十九日發電】渡邊法相談 判檢事が一齊に起つて減俸反對の烽火を擧ぐることは一般社會から見て甚だ困つた事だと思ふ今や判檢事の要求は司法官優遇案の解決と云ふことでなくもつと根本的な減俸其のものがいけないと云ふのであるから誠に困るが、政府は減俸案を引込ます模樣がないから玆に司法官の意見と政府の意見とが正面衝突を來すことになるが、然し私は極力正面衝突をすることとなきやう切拔策を講ずる積りである、それでもいけぬ時は萬事休すでそれ以上如何とも爲し難いと暗に決意の在る處を示した

妥協案には一切應ぜず

檢事側の態度强硬

【東京十九日發電】判檢事の減俸反對運動鎭撫の爲め小原次官は十九日正午東京地方裁判所檢事局を訪ひ松坂次席檢事以下二十餘檢事の參集を求め、司法大臣の優遇案に對し妥協的態度を採り反對運動を此の程度で打切られたいと懇諭に努めたが、檢事側意向は尙强硬で法相の優遇案其の他の妥協案には一切應ぜずと拒絕し、飽く迄最初の決議の趣旨の貫徹をはかり益々一致結束猛進する氣勢を示して居る

檢事團上申

【東京十九日發電】東京地方裁判所檢事約五十名は十九日午後四時地裁內に集合協議の結果減俸案に絕對反對の態度を採るに決し、同五時德永上席檢事は渡邊法相を訪ひ檢事團の意向を上申した

たが首腦部も困難を感じてゐる

判事團上申

【東京十九日發電】東京地方裁判所判事約八十名は十九日午後四時より地裁豫審第二號法廷に參集し [illegible]

司法省の局課長會議

【東京十九日發電】司法省では十九日午前十時から次官室に局課長 [illegible] たが會議は容易に結論に達せず、小原次官より法相に右報告を爲し

反對陳情書

【東京十九日發電】鐵道省判任官三級以上の職員は十九日午前協議の結果江本鐵相旅行中の爲め青木次官に對し政府の減俸案に對する反對陳情書を提出する處あつたが現業員方面に於ても間接に影響する處相當大なるを以て近く大會を開き減俸反對の氣勢を擧げる準備を進めてゐる

減俸問題につき協議し同五時三十分散會じた、會議の內容は極祕にされて居るが絕對反對に決し運動に就いては檢事局と合流せず獨自の立場に於いてする事となり、代表四名を選んで口頭で判事團の意志を大臣に上申する事となつた

松田拓相首相と協議

【東京十九日發電】松田拓相は十九日正午官邸に濱口總理を訪問し植民地方面よりの減俸反對陳情電報を報告し對策を協議する處あつた

拓務省高等官の申合

以上の者及び事務官等五十餘名は十九日午前十時より省內大會議室に集合政府の減俸方針を攻擊して反對氣勢を揚げ、協議の結果江木鐵相に對し正式に反對決議を突きつける事となつた

【東京十九日發電】今回の減俸並に加俸減額に關し拓務省高等官も遂に奮起し、十九日正午より會議室に於て協議の結果減俸は勿論所管各植民地に於ける加俸減額等の如きも高率に過ぎ、在鮮官吏の生活上思想上に及ぼす影響大なるを以て案の撤回を期すと云ふ申合せを爲し、直に松田拓相に陳情することゝなつた

仙石滿鐵總裁首相と會談

【東京十九日發電】仙石滿鐵總裁は本日午後二時濱口首相を訪問し減俸問題につき會見同三時辭去した

鐵道省險惡な形勢

【東京十九日發電】鐵道省の減俸案即時撤回陳情は目的貫徹せざれば總辭職もなし兼ねまじき形勢であるので目下名古屋に滯留中の江木鐵相に對し陳情內容其の他を逐一報告した

鐵道省內の反對氣勢

【東京十九日發電】鐵道省に於て減俸される事となつた判任官三級

米價の昂騰を虞れ平年作の發表中止

減俸案非難の材料となるので

【東京十九日發電】農林省では第一回米收穫豫想發表後に於ける米作狀況の報告を全國より徵し既に報告は全部集まつてゐるが全國一般に天候不良と早冷被害に依り中晩稻等の成熟は相當打擊を受け第一回豫想に比し減收の見込み確實となり平年作程度と推定さるゝに至つたので此際之を發表すれば相場に可なりの衝動を與へ米價の昂騰となり、減俸問題で世間の反對を受け居る際更に反對者に有利な資料を與へることゝなるので町田農相は例年の例を破り之が發表を見合はせることゝなつた

佛伊兩國で豫備交涉を行ふ

五ケ國會議に先立ちて

【パリー十八日發電】當地のイタリー大使館員は本日イタリー首相ムツソリーニの書面を携へ佛國々務總理兼外務長官ブリアン氏を訪問した、右はロンドン會議開催に先立ち佛伊間に意見の交換をなさんとするもので、ブリアン氏はムツソリーニ首相の申越の趣き承知した旨回答し近く豫備的交涉開始せらるゝ模樣である

河南を中心に戰局展開か

大局を支配する韓唐兩軍

【天津十八日發電】西北將領今次の反蔣通電は西北軍今日の窮地より脫出せん爲めの不可避的現象である、故に夫だけ眞劍味が有るといはねばならない、目下西北軍の行動は孫良誠氏が急先鋒となり其一部は洛陽に進出し同地方に駐軍した唐生智氏の軍隊は鄭州方面に引退したと傳へられて居るが西北軍が局面を展開さす爲めには先づ河南を確實に掌握し、湖北に一部を進出せしめて其翼測を警戒せねばならない、故に一部は荊紫關方面より湖北に入り老河口襄陽を經て京漢線に進出し中央軍の防護するであらう、後路を隴海線から山東を目標に前進する主力は先づ鄭州を奪取した後京漢線を南下して武漢を牽制するものと徐州を目標とする二隊となつて今後の行動に移るであらう、目下京漢線方面には劉峙氏の部隊が北上し老河口方面には楊虎臣氏の軍隊が居り、湖北河南省境に居つた徐元泉氏の部隊は目下信陽に進出したとの報もある、其處で曾て閻南し目下開封に居る韓復榘氏の部隊と鄭州に居る唐生智氏の部隊の行動が問題である、韓氏は過日開封で孫良誠氏と會見して諒解が出來て今次の好機に再び西北軍に逆轉すると傳へられて居る、唐生智氏は目下南京で蔣介石氏に監禁されて居り其部隊は何成濬氏の直屬部隊とも謂ふ可き魏益三氏と劉時氏の二師があり、反蔣行動に出づるには極めて不利な立場あるから中央軍と西北軍の衝突は隴海線上に於て態度不明の唐生智軍と鄭州附近に於て展開されるであらう、斯くして西北の奪取に成功すれば更に京漢線方面では許州鄭城、遂平等に於て徐元泉軍及劉時軍と對峙する事となり、戰場京漢線一帶と湖南湖北省境に展開されるであらう、韓復榘

戰略上に

氏が依然中央歸服であれば西北軍は大影響を蒙り鄭州奪取も容易でないと思はれる、而して黃河北岸彰德には劉鎭華氏の第一師が居り此軍隊の向背も問題である若し西北軍に呼應せんか極めて有利で中央軍は徐州方面より隴海線を前進するとすれば開封歸德附近に於て兩軍の對峙を見るであらう、斯くして河南を中心に動亂の幕が展開するであらう

陳唐兩軍依然中央服從か

危ぶまれる

【天津十八日發電】南京にて蔣氏より監禁同樣の目に逢ふて居る唐生智軍の向背は時節柄重大視されて居る、今確實なる方面の消息に依れば唐生智氏部下の二師は何成濬氏の命に服する事になり何等動搖の形勢は無く、山東の陳調元氏の態度も曖昧だと噂されたが陳氏は石友三、范熙績、孫光先、前岳諸氏其他諸氏と共に宋哲元氏討伐の通電を發したから大丈夫だと傳へられて居る

閻氏に中央擁護懇請

方氏太原訪問

【太原十八日發電】方本仁氏は十八日午後四時太原着直に閻錫山氏と會見し蔣介石氏を代表して速かに中央擁護の明確なる態度を表示されんことを懇請した、之に對し閻錫山氏は平和維持の觀點を出で ず何等意見を述べないと

閻張兩氏の結合鞏固

張氏和平に賛成

【北平十八日發電】奉天派、山西派の結合は最近一層緊密となり閻錫山氏衞戍司令部參謀處長を奉天に派するや張學良氏直に祕書長王樹翰氏を太原に派遣して對時局策を商議せしめ目下在奉中の太原駐在奉天代表は王樹翰氏の齎せる閻氏の意見に對する張氏の意志を傳ふべく太原に赴く筈で兩者間の往來頻繁となり今後山西奉天兩派が同一線上を步む事確で閻氏の和平通電に張氏は第一に賛成電報を發すべしと豫期されてゐる

蕪湖邦人無事

【上海十八日發電】蕪湖の兵變は十八日午後三時に至り鎭定し市內は小康を保つてゐる居留民は全部無事で一人も掠奪の被害に遭つた者はないが、婦女子は全部砲艦伏見と日淸汽艦ハルクに避難收容されてゐる、伏見の陸戰隊は今夜領事館に殘留警備に當ると

東支在職露人を支那に入籍せしむ

奉天首腦者が協議

露支抗爭以來東支鐵道に勤務する勞農國籍露人の取扱ひに對し支那側は勞農の國籍を脫せしめ支那側に入籍せしむべく考究中であつてこの問題は勞農國籍露人に對し脅威を與へてゐたが、最近の情報によれば愈々近く奉天に於て中央政府の代表を加へたる對露首腦者會議を開催し該問題を討議決定することになつたといふが、支那側の意嚮は彼等にして鐵道在職者としての保證を得るには公然勞農國籍を放棄すべきであるといつてゐる

荷造包裝展覧會

けふより五日間開催す

午前九時より午後五時まで

於 青年會館

反蔣風潮と支那革命の正流

蘭水生…(五)

四、改組派、國民黨左翼

中

央黨部の所謂改組派は汪兆銘を首領とする國民黨左翼を指すものである、此派に屬する政客としては顧孟余、陳公博、柏文蔚、白雲梯、陳樹人、王法勤等の人々があるが、此一派は蔣介石の代表する中派や右派や元老派が軍閥と妥協し資本家的民族革命を主張するに對して、一般的な小農都市無產勞働階級と都市小資本階級とを主體とする革命を主張し、軍閥との妥協を絕對に否認する、是れが所謂左派の左派たる所以であるが叉さりとて無產獨裁政權の奪取を目標とする共產者革命にも反對するのである從つて左派の立場は右翼國民黨及び共產黨との挾擊の目標となつてゐる、而して此立場は本年三月汪兆銘の發表した聲明によつて明らかにされてゐる、曰く民國十三年の本黨改組の最大精神は本黨を大多數民衆の利益の上に建設することであつた、而して、黨が大多數人民の利害の爲めに奮鬪するといふ精神は、主觀的に云へば、各黨員良心の上に於て極めて合理的であるのみならず、客觀的に革命環境上に於ても亦完全に合理的である何故ならば所謂革命なるものは大多數勞苦民衆の利害の切迫より發生しないものはない、我中國歷代の革命の如きも表面的に見れば英雄の爭鬪に過ないが、一度び其本質を檢するならば、實際は大衆が其生路に喪失した結果止むなく此擧に出でたものである、唯表面的に英雄爭鬪の形を具ゆる所以は、其結果に於て、英雄が竊かに之れを利用したゝめに外ならぬ。故に若し革命が勞働民衆に著眼して其苦痛の解除と、利益增進の爲めに奮鬪しないならば所謂革命なるものは存在しないのである、孫總理が常に「我若不爲民生主義則不必革命」と主張してゐたのは全く此意味に外ならぬ。然るに一般腐化分子或は此道理を明かにせず、或は故意に之れに反對してゐる、即ち容共時代に於て、共產黨が農民暴動を煽動したとの理由によつて、反共時代の今日と雖尙ほ且つ凡べての民衆運動に對して「赤化」を以て攻擊するものがある、這は即ち共產黨の爲めに、本黨使命の根本たる「一般勞苦民衆の爲めの努力」を忘るゝものであつて、黨行動の矯正でなり黨工作の方向轉換である、換言すれば革命を變して反革命となするのである……我革命同志――(改組派を指す)は此意味に於て十三年以來此種の腐化分子の廓淸に努力し、且つ十六年以來共產黨腐化勢力との鬪爭を開始した之れが爲め一般革命同志は十字火下に立つに至り、中同革命の進行は之れに因つて蹉跌を來たした」と述べて居る

腐

化分子とは即ち十三年改組當時に於ける右翼及び一部の中派を指すものであるが蔣介石を中心とする中央黨部の如きも其勢力の根據を浙江資本家に置く關係から、農工運動に對する彈壓を加ゆるに至つて、公然對敵關係を生ずるに至り、殊に第三次代表大會に於て中央黨部が代表選擧に於て手盛の會議を捏ね上げた以來此確執は頗る深刻化したのであつた

斯

かる關係に立つ改組派は然らば如何なる勢力を有つかと云ふに、其表面的勢力に於ては計數によつて之を表示することは出來ないが、地方黨部に於ては相當な勢力を有つて居り、若し現政府の武斷的彈壓が行はれなかつたならば恐らく下級組織の大部分は改組派に走るであらうとさへ云はれる位で、青年黨員の大部分は直接間接に同派の指導精神に動かされて居ることは恐らく疑ひはなからう

改

組派は張發奎の獨立と相前後して、蔣介石に對する攻擊的通電を發したと傳へられ、或一部に於ては新舊廣西派と結んで反蔣的反亂を計畫してゐると信ぜられて居るが、果して汪兆銘が此種の軍閥と妥協して、兵を擧ぐるに至るか如何かは甚だ疑問としなければならぬ、併し南京政府は改組派を以て、反動的叛亂の根源と認めて居る、陳、顧以下の十名の領袖に對して通緝令を發したと報ぜられてゐる、何れにせよ、浙江資本家を背景とし、討赤を根本政綱とする國民政府としては左派の主張に對しては到底妥協の餘地なく、從つて所謂編遣の進行と共に反動軍閥の出現と共に民衆運動を恐るゝが故に左翼壓迫を繼續すべきことは止むを得なからうし、國民黨の內訌も亦今後益し尖銳化することは想像に難くない。

滿鐵明年度經費豫算

地方部支出は百九十萬圓增加

◇……前年度に較べて

滿鐵地方部の來年度經費豫算査定會議は十九日午前十一時半より總裁室にて開催され十二時半終了したが、地方部所管の地方收入四百十四萬圓、同支出一千百六十九萬圓(賞與、社宅費等の特別給與費を除く)でその內譯は

▲收入の部

項目	金額
不動產收入	百二十四萬圓
各醫院收入	二百萬圓
水道收入	六十四萬圓
衞生研究所收入	八萬圓
諸口收入	十八萬圓

で前年度より六萬圓增となつてゐる

▲支出の部

項目	金額
本部事務費	三十三萬圓
各地方事務所費	六十七萬圓
各醫院費	二百三十五萬圓
學校費(中等校以上)	百六十九萬圓
學事諸費	十七萬圓
衞生諸費	百十萬圓
圖書館費(大連奉天)	十三萬圓
水道費	五十一萬圓
土地建物監理費	三十八萬圓
衞生研究所費	二十萬圓
地方補給費	四百十六萬圓

で前年度より百九十萬圓餘の增額を示してゐるが、結核療養所建設費百萬圓、建物元價消却費八十三萬圓、既定經費七萬圓等がその主なるものとなつてゐるが、元價消却の年度初めに計上されたとは今度該規定の改正を見た結果である

大體各箇所の要求通りに通過

興業部關係のもの

興業部關係營業收支豫算會議は十九日午後三時頃より開始、同四時半終了したが農事試驗場の分を除き大體各關係箇所の要求通り通過したが、全體的に觀て前年度と大差なく增加せるものとしては事務費、勸業費を通じて約四十萬圓位のもので經費總額は二百萬圓程度の模樣である、尙產業助成金の査定は廿一、二兩日の重役會に於て行はれ筈である

△事務費 總額約廿一萬圓 內譯 △庶務課五萬八千圓△商工課八萬圓△農務課七萬圓

△勸業費 同約五十三萬圓 內譯 △農務課四十餘萬圓△商工課十三萬餘圓

△其他關係箇所經費 △滿蒙資源館二萬三千圓△中央試驗所五十一萬圓△農事試驗場「未定」卅三萬圓△獸疫研究所十六萬圓△地質調査所十一萬圓

△同上 事業收入約四十萬圓△勸業收入十四萬圓△造林收入五萬圓△農事試驗所三萬圓△中央試驗所八萬六千圓△獸疫研究所八萬七千圓

製鐵豫算

百八十萬圓の利益を豫想

滿鐵の明年度製鐵收支豫算は十九日午前十時半より審議され正午終了したが、明年度總收入は鞍山の五百噸爐の完成により本年より五萬噸增の廿八萬噸、約千百八十六萬圓となり、差引約百八十萬圓の利益となり四年度と大差無いこととなつてゐるが、右は銑鐵五萬噸增產にも拘らず明年度市況を見越し四年度に比し販賣價格を噸當二圓方安く見積つた爲めで、これは內地の一般緊縮方針に伴ふ地方公債事業の

軍縮全權一行

來月三十日出發

【東京十九日發電】軍縮會議若槻財部兩全權一行は十一月三十日橫濱出帆十二月十一日シヤトル上陸十六日ワシントンに着く豫定

張作相氏赴奉

【奉天特電十九日發】張作相氏は張學良總司令の招電により對露及對南問題につき協議の爲め祕書一名副官二名其他衞兵三十名を從へ十九日午前八時吉林發吉會列車にて奉天に向つた往復一週間の豫定である

陳儀氏北行す

【奉天特電十八日發】此程來奉した南京政府の慰問使陳儀氏一行は十八日夜北滿に向け出發した

坂西貴院議員

張學良氏と會見

【奉天特電十九日發】貴族院議員坂西利八郎中將は今朝八時半來奉ヤマトホテルに入り午後四時張學良氏と會見したが、廿二日夜安東經由內地へ向ふ筈

辭令

【東京十九日發電】

任特命全權公使 總領事 矢田七太郎

特命全權公使(一等) 矢田七太郞

瑞西國駐劄被仰附

・ばいかる丸無電 二十日午前七時港外着の豫定

人事

▲藤田俱次郎氏(關東廳學務課長) 奉天にて開催の日、獨、支競技會に寄贈する太田關東長官カツプ送致のため十九日奉天へ

▲山本壽喜太氏(全滿育研究所主事)同上

▲群馬縣織物業者一行森口唯八氏以下六名十九日夜行列車で來連ヤマトホテルへ

▲太原要氏(本社支配人)十九日二十二時發列車で社務を帶び赴奉二十一日朝歸任の筈

▲吉原重氏 十九日朝七時五十分着旅客機にて來連

▲富永滿壽子 同上

十八日奉天に着いた人見絹枝選手は豫て張學良氏より招待を受けてゐたので同日午後三時王通譯と共に北陵の張氏別邸を訪問した▲張學良氏は人見選手と會ふや否や「貴女が常に東洋の女子のために氣を吐いてゐられることを衷心感謝する」と述べ、快談約十分の後邸前において快よく記念撮影をなし、人見選手は同四時半頃別邸を辭した▲其際人見選手は「將軍が如何に運動に理解があるかといふことは將軍の部屋にある澤山のカツプで直ぐ知ることが出來ます」といつたに對し、張氏は大笑しながら「僕は今まで一度もカツプを獲つたことはない、之は皆今度の國際競技で選手に贈るものばかりだ」と答へ非常に上機嫌であつたと

(奉天特電十八日發)▲井上藏相お膝下の某減俸組曰く「ウチの御大は此前大臣をやつた時も四ケ月目にお陀佛になつたよ、今度も今月で丁度四ケ月目だと縁起でもない占ひ(東京特電十八日發)

本日廳報を添ふ

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百四十五車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬五千枚

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三千五百箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十一車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

銘柄	寄付	大引
混保(袋込)	六九〇一	六九〇一
大豆(裸物)		

普通大豆 出來高 二十車

豆粕 出來不申

豆油 出來不申

高粱 四四〇〇 四四〇〇 出來高 一車

包米 出來不申

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 九十萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金三萬八千圓 銀對洋四千圓)

商品

後場

綿糸(保合)

◇定期

銘柄	約定期	値段	梱數
綿助	二月限	二〇〇、一	一〇

出來高 十梱

・麻袋(出來不申)

・麥粉(出來不申)

神戸特產(十九日)

銘柄	
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	三〇六四	三〇九三
十一月	二八八六	二九〇八
十二月	二八九四	二九〇七

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	不申
東新	[illegible]	[illegible]
大紡	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]

神戸期米

限月	後場寄	後場引
十月	三〇七七	不申
十一月	二九〇二	二九一九
十二月	二八九八	二九〇九

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	三〇七〇	三一〇七
十一月	二九〇四	二九二八
十二月	二九〇三	二九一八

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
中先	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
信(當)	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	五品	東新
寄値	不申	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	不申	[illegible]

滿洲日報

先づ生活の合理化から

[illegible]

觀念の狀況によつて、負擔の公正を期することは容易でない。同じサラリーマンにしても、子女や扶養の義務のないもの、すくないもの、また多いものとの間には、負擔の妥當を異にする。子女の養育は、國家への公共的義務として行はねばならぬが如く感じ、しかも養育の負擔といふことになると、全く私有物を培養するやうな觀念でやらねばならぬ。そこに子女なきものと、子福者との間には、すくなくとも經濟的には義務負擔の公平を缺く。

◇

人間社會の千態萬樣なる、同じ國內、同じ地域にあつても、公平水準を期しつゝ、絕對の公正妥當などいふことは理想であり、ある場合には、失業者を顧みて、有職者の諦めとせねばならぬことさへある。併し、出來るだけ廣い範圍にわたり、また出來るだけ各種の階級を通じて、負擔の公正、給與の妥當といふことを求めねばならない。主觀的にのみ考へた場合と、これを客觀的に考察した場合と、擇剝の程度を異にすることもあるも否定し得ぬ。世界は廣い。これを時間的に考察し、かつ團體生活の國家の存立といふやうなことに考へ及ぶことも肝要であらう。自分だけが虐げられると思ふと、癪にもさわる。上には上があり、下にはまた下のある世の中。これを平準に導かねばならぬが、また大義觀を滅すといふやうなことの必要なる場面もないと限らぬ。

◇

電燈、瓦斯、水道、電車、乘合バスをいふやうな獨占、半獨占事業、市營住宅の家賃、住宅組合の低利償却、消費組合と小賣商店との利害關係といふやうなこと、その他、この頃、ぼつぼつ考へられつゝある公私經濟の節約合理化、有識者としては、すこしく泥棚的であつたにせよ、整理節約、合理化の實現は、一圖半圖たりといへども忽諸に附すべからず、ただ折[illegible]

正を待てぬことは、さきの實行豫算の編成に徵するも明々白々。さりとて、個人個人の生活の最低限度を脅威することは尙更ら出來ず。そこで責任ある當局や識者は、この政府の經濟國難の打解策を、物價の下落や、生活樣式の改善によつて最も圓滑に遂行し得るやう、負擔の公正、給與の妥當を期し、社會の平準化、合理化によつて、擧國一致の實現を期すべきではあるまいか。その意味において公私經濟委員會などの、もつと積極的に、かつ徹底に活動せんことを、時節柄、特に希望せざるを得ぬものがある。

全支紛亂で東三省は安全

閻氏首席の新政府樹立か　某消息通の時局談

【奉天發】支那時局に關し某消[illegible]

[illegible]られてゐるので蔣氏の下野如何は閻錫山氏の態度如何によつて決定するものと思はれる蔣氏下野後は北平に閻錫山氏を首席とする新政府が樹立されるであらうが、かくなれば全支は再び軍閥の割據をなし封建時代を現出するであらう而して東三省は全支の統一が完成すれば種々な多難事に遭遇するが現在の如く全支に紛亂の絕へぬ間は東三省の地盤は大磐石である

東鐵に殘留の赤系の去就

勞農側が勢力を復活すれば　現在の地位が危ない

【ハルビン發】疾風迅雷的に行はれた東鐵管理局の支那側のクーデターに對抗し一齊にストライキを以つて應酬せんとしたソウエート側の東鐵從業員の大半は幹部は既に本國へ引揚げストライキの中堅を成さんとした現業員中、其の色彩の濃厚なものは身分の高下を論ぜず容疑者として支那官憲のために拘禁され殆ど大部分は例の松浦鎭に收容され全く赤派としては封鎖されたも同樣である、當時エムシヤノフ局長驅逐の際にストライキも出來ず又勞農幹部と行動を共にすることもならず有耶無耶のうちに今日まで引づられて來たものは管理局及理事會內にも相當殘留してゐる、無し其等人々は別に支那側に對して反對の意志を表明しないので先づ首だけはつながつてゐるが、若し露支交渉が成立し再び東支にソウエートの勢力が加はつて來た際に果して現在の位置が晏如たるものであるかどうか甚だ疑問である、必ずソウエート側としては全部幹部と行動を倶にせぬものは早晚一掃される運命に陷入るだらうと現在ソウエート國籍を有し尙東鐵に職を有してゐる多數のものは心配してゐる

中央援助の通電を懇請

出征軍慰問の陳儀氏が張學良氏に對して

【奉天發】東北出征軍の慰問に事よせ來奉せる陳儀氏は張學良氏に對し中央援助方を懇願したといはれてゐるが陳氏は東北省の現在として軍費の援助が不可能であれば武器彈藥の補給をして貰ひ尙これも不可能であればせめて中央援助の通電だけでも發して貰ひたいと懇願したとは中央政府の運命が如何に窮迫してゐるかが窺知される

八相

中傷を目的とするのは採らず

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと

世の博識者に問ふ

普蘭店快馬廠　秦麗江

人間の食糧は如何程の榮養率有れば枯衰せずして生活し得るか？余は滿洲の土に即する者なり、いやしくも土に即する者が普通人間並に水田米を食するとは何事ぞ。粗衣粗食にあまんじてこそ眞に滿蒙の開拓者ではないか。余は考へる所有りて陸稻を常食とせり、陸稻の榮養率如何程なりや？（普通米と比較して）敢へて問ふ、世の博識者へ。

生活改善實行會へ

御願ひ生

駿馬は影を見て走り、良馬は鞭れて走り、駑馬は鞭るゝも走らずと言ひます。今や私共は加俸半減の鞭を打たるゝに及びました。未だ駿馬たらずと雖も駑馬たらざるの用意が無くてはなりません。さなきだに經濟の流れを追ふて漂流する下級官吏、減俸額だけ生活費を切りつめる他に道はありません無煙無酒の事とて食費は低下の餘地少く、勢ひ衣服の整理に及ばざるを得ません。早速關東州生活改善實行會に御願ひ致しますのは會員の正服制定の件です。實質本位で廉價のもの（例へば夏服五圓乃至十圓多服十五圓乃至二〇圓位）を御選定下さる樣御願ひ致します尙內地では御眞影に向ふ時背廣にても差支へないと言ふ規定になつて居るさうですが、此れは關東州には適用出來ないものでせうか。若し差支へ無いのでしたら會員は制服の儘で式場に臨む事が出來ましてモーニングを持たないが故に心ならずも遠慮申し上げる事も不必要となり非常に助かるので御座いますが、此　當事者の御回答を御願ひ致します。

馮庸義勇軍近く歸奉するか

實際の役に立たず　最後の弱音を漏らす

【ハルビン發】馮庸大學の義勇軍も滿洲里の國境へ來てみれば泥濘として摑み處がないのと正式の軍隊に比べて餘りよい噂が立たぬ上に、父兄保護者から「子弟の教育は托したが戰爭練習のために學校へはやらなかった」一日も早く歸省せよとの私書が續々として到着するので、道の馮庸司令も「當分何等戰爭らしいものが國境になければ奉天へ歸還する」と最後の弱音を漏らすに至つた毎日の作業は塹壕を造る見習ひでこれでは何の役にも立たない、幸ひ勞農軍が襲擊して來ぬからよいもの、若し眞面目に砲火を浴びせかけられたら其れこそ問題では無からう、官側だけで實際方面の戰鬪に參加せないならば多額の旅費を支給され到る處では大歡迎を受けてゐるので學生としては面白いことであらう其れで最近ハルビンに於ても約二千餘名の學生が張學良氏に銃器、軍服を貸與して欲しいと嘆願し學生軍を組織して大に救國のために盡さうとの運動があるが、馮康氏は「學生軍の組織は其動機は結構だが、一利一害、其の指導を受ける方面によつては弊害を生ずるから別な方法を考へた方がよい」と反對してゐる、道の馮氏も今更義勇軍の始末をつけることに困つてゐる、尙東北大學の學生軍が武裝して立つたことも馮庸義勇軍の學生から色々面白い方面の音信を傳へられ堪らなくなつた結果態々義勇軍の名稱の下に馮庸義勇軍に代つて北滿に示威運動を試みることになつたのであると

露人居住規定

【ハルビン發】特別區警察管理處では十六日から無籍國白系露人及びソウエート人民の居住に就いて一定の戶口調査規程を制定し施行した、ロシア人一般は居住證明書を一應官憲から支給されるために各最寄派出所に屆出でねばならぬことになつた、この證明ないものは處罰される由

吉林學生が愛國運動を起す

四校代表が抗俄後援會組織　張作相氏に面會陳情

【吉林發】吉林大學生鄭樸、白增第一師生張文海、賈春林、女子師生王靄東、趙蔭東、毓文中學生趙英華、楊丕欣等第四校代表は吉林學生抗俄後援會の名を以て去る十五日午後二時より省政府に張作相主席を訪問し

（一）國外宣傳機關を設け宣傳員を各國に派遣して中俄交渉の眞相を宣布すると共に世界各國に向つて赤俄の殘暴不仁行爲を詳細に宣傳すること

（二）各校に軍事教練を開始し銃器を配給し且つ軍事教官を派遣すること

（三）前方將卒の慰問資金募集の爲め學生の演劇を催すこと

（四）對俄防禦を强固にする爲め增兵を行ふこと

（五）地方の軍隊警察を增加して中俄交戰及土匪の跳梁に備ふること

以上各項實施に就き懇請する所あつたが第三項は教育廳長と商議すべく其他に就いては考慮する旨張主席より申渡したる外學生等の愛國運動を大に賞揚し且つ課業に支障を來たさない範圍內に於ては講演及傳單、標語等を撒布して民衆を喚醒せしむることは敢て差支へないと說明したと言つてゐる

反蔣通電差押へを命令

遼寧省政府は管下各關係當所に對し鹿鍾麟・孫良誠、宋哲元等が双十節に發した反蔣通電は一般民心を攪亂する恐れあるを以て發見次第差押ふるやう命令したと

鮮語養成所を延吉に設置す

【吉林發】吉林省政府當局は此程延吉市政籌備處長張書翰氏より延邊地方には多數の朝鮮人在住する關係から鮮語養成所を設置したき旨申請し來つたので、該處內に之れを附設することを許可し同時に張書翰氏を同所々長に兼任を命じたる外全省公安管理處長王之佑氏は延吉市公安局長沈貞氏に同所長兼任を命じたと

平凡社發行の世界美術全集

東京平凡社に於て發行しつゝある世界美術全集は美術大衆化の目的の下に古今東西五千年の天才巨匠が人類に寄與した繪畫、彫刻、建築、工藝等あらゆる美術の神品名作を網羅し、一々斯道大家の權威ある解說を附し、印刷文化の最高技術を活現し、茲に世界美術の大殿堂は始めて萬人に開かれ、古今東西の大美術家達は地上に立つて大衆と握手する機會を與へたるものにして而も何人も易々と購ひ得べき廉價を以てあらゆる家庭に普及せしめつゝあり、今回第二次募集を企畫發表に際し滿鮮、支那方面の讀書界視察を兼ね該全集宣傳の爲め營業部長瀧川繁氏來連し、本社直接取扱ひの全一時拂の豫約を受けつゝある（全三十六册「既刊二十四册」普及本一册一圓、裝飾本一圓五十錢、プレート二圓、全一時拂普及本三十二圓、裝飾本四十八圓、プレート六十四圓、申込所吉野町プラチナ寫眞館電話六〇三九番）

南征雜錄（12）

難波勝治

ニウオリンズ

ニウオリンズに定期寄港する商船は、日本向け貨物積込みの爲めに屢々附近の地分港に臨時廻航させられるが、その中重なる輸出港はフロリダ州のペンサコラ、アラバマ州のモビル等であつて、今回は三井物產取扱の鐵鑛を積込むべくモビルに寄港する事となつたアラバマ州はミシシツピイ州を挾んで、ルイジアナ州と密接な交通關係にあり、北にテネツシイ、東にジョルヂア、南部の過半をフロリダに包まれた比較的僻地であるが、ジョルヂア及びフロリダの影響を受けて漸次開發の運に向ひ、就中東北隅に亘するルックアウトの鑛山地帶を控へて各種の鑛產物を出し、モントゴメリイ、バーミンガム兩市の如き、ジョルヂア西北隅のチヤタヌウガと駢んで、近時異常の工業的發展を遂ぐるに至つた、而して同州唯一の吞吐港たるモビルは、メキシコ灣を距る三十哩のモビル河口にあつて、人口七萬五千、郊外地を加へて約十萬の小水市だが、遠く東方に延長する海に取圍まれ、且つ灣口に大小幾箇の島嶼が散綴するなど、モビル灣の自然は他に比して遜色ない形勝を構成して居る、鐵鑛はアラバマ、モビル兩河から多量の土砂が流出される事だが、之が浚渫工事に不斷の努力注がれ、比較的設備の整備した埠頭には、內外船舶の輻湊して頗る殷賑を極めて居る、モビル灣新の發見者は不老の泉と黃金とを求めて來航したスペイン人で、時これ一千五百四十年既に約四百年の舊事に屬するが、植民地の建設されたのは一千七百二年、佛人ビエンヴイユ卿の奮鬪がその基ゐを成したのである、モビルの稱はその附近に住居したモラビラ族から出たので、ビエンヴイユ卿はそれにルイ十四世の尊號を冠して、フオルト・デ・ラ・モビルと命名したが、その後一千七百六十三年パリー條約の結果、英國に割讓せられてフオルト・シヤロツトと改名された、併し一千七百八十年英西戰爭の際、ベルナドガルヴエスの引率するスペイン軍が、英軍を擊破して此地を占領して以來、一千八百十三年合衆國政府の手に歸するまで、三十三年間前者の治下に經營されたのであつた、かうした史蹟の探討はモビル港の現狀を說くに於て、何等交渉のない繰返しごとに過ぎぬやうだが、之に依つて秘は中世紀時代に活躍した南歐諸民族の功績を偲び今日米國の繁榮は決してアングロサクソンの一手に、基礎付けられなかつた事を力說したいのである而してその一例としスペイン統治時代に築造された、フロリダのセント・オウガスチンから加州のサンデイゴに至る幹線道路を擧げ其衝に當るモビル港の市民が、二百五十萬弗を投じて建設した十餘のコンクリート纖橋は、實に北米の一半を灌漑する諸川流を橫斷して架かれた、所謂スパニツシユ、トレール全線中の最大難關を補足する者だと誇つて居る事實に少からぬ歷史的興味をそゝられんと欲する者である、民族の偉大性は唯だ目前の繁榮や衰運のみを以て率然之を律する事は出來ぬ、彼等が曾て世界史上に印した功績が、その時代人と後昆との間に如何の感化を與ふる者なるかを仔細に鑑識して始めて論定さるべきである【寫眞は市有埠頭に於ける川蒸氣】

滿日地方版

鞍山

遼陽瓦房店間の蔬菜品評會
鞍山實業協會々堂で開催　きのふ賞狀授與式

滿鐵社會課の主催になる遼陽瓦房店間の第十五回蔬菜品評會は既報の如く十八、十九の兩日鞍山實業協會々堂に於て開催された、出品總數は百九十二點にて十八日午前十時鞍山四本直孝、瓦房店藤原哲次、營口青木正男、大石橋窪口勇、遼陽鈴木の四氏愼重審査の結果左の如く入賞した

△一等賞　大根鞍山三上夏五郎、同營口多賀谷俊吉、葱鞍山伊藤武則、白菜瓦房店柴田節男、南瓜大石橋小林才治、計六點

△二等賞　大根營口加藤加久一、同大石橋池田敏夫、牛蒡海城末安元次郎、人參營口愛甲半次郎、葱熊岳城小田切農園、同瓦房店藤原哲二、白菜大石橋藤澤惣太郎、甘藍鞍山城尾嘉久彌、山芋遼陽佐藤力造、計九點

△三等賞　大根蓋平若松周吉、同瓦房店石黒南州夫、同大石橋川越喜藤次、同蓋平三浦春雄、牛蒡瓦房店藤井辨助、同海城樺山重次、人參熊岳城久保辰次郎、白菜瓦房店前ナミエ、同蓋平若松周吉、甘藍營口加藤加久一、同蓋平上田統太郎、葱鞍山金丸萬龜雄、同大石橋藤澤惣太郎、同鞍山岩崎治蒼、花椰菜蓋平若松周吉、錦茘枝瓦房店上原尙正、里芋大石橋藤澤惣太郎、馬鈴薯瓦房店谷口進、燕麥鞍山池上俊之、南瓜遼陽片岡勘兵衛、計二十一點

外に褒狀三十四名で各地からの出品點數は次の通りである

瓦房店五〇點、大石橋三九點、營口二三點、鞍山六八點、遼陽一二點

賞狀及賞品授與式は十九日午後二時から會場別室に於て行はれたが有志多數列席者があり開會の辭、審査報告、賞狀並賞品授與會長の挨拶、來賓の祝辭、出品者總代の答辭等があつて三時終了したが兩日共多數の參觀人ありて頗る盛況を呈した

養蜂指導講習
鞍山養蜂組合より滿鐵に對し指導員の派遣方を申請中の處鳳凰城滿

防火宣傳
廿三日に擧行

鞍山消防隊の防火宣傳は愈々二十三日午後一時から行はれる事となつたが當日の參加者は警察署員、製鐵所消防班、實業青年團等約七十名にて定刻消防隊前に整列し警察署のオートバイを先頭に、警察署自動車、製鐵所自動車、トラック、水管馬車、器具馬車、自轉車隊オートバイ等之れに續き市中を一巡して宣傳ビラを撒布する由

老頭兒組勝つ
實業老頭兒組と中年組とのスポンヂ野球試合は十八日午後四時から小學校々庭に於て行はれたが三對一で老頭兒軍勝つ

市井雜俎
朝鮮方面へ出張中であつた觀相家楠山天合氏十五日歸鞍從前通り北二條の自宅で鑑定に應ずると

◇消費組合の多物大賣出しは十八十九の兩日行つたが下半期のボーナスを當てに相當の賣行を示したと

◇林所長不在中代理を命ぜられた

遼陽の見坊所長十八日朝來鞍各事務を處理の上即日歸遼

◇大正通製鐵所員家族加藤原（二）は十八日赤痢に罹り傳染病棟に收容、原因は饅頭と水お互に注意が肝腎

◇野田洋品店が特約販賣して居るセンターストーブは頗る好評で既に百數十個を賣出したと

◇滿鐵醫院では患者慰安のため落語家橘家圓三を招き先晩大ホールに於て獨演會を催した

◇懇親スポンヂ野球大會は二十日より開始される豫定であつたが都合に依り二十一日に變更

◇滿鐵醫院では來る二十九日午後二時より三階廣間に於て醫藥集談會の例會を開催すると

◇菓子業組合では十七日午後七時から實業協會堂に於て定例役員會を開き種々協議する處があつた

◇遼陽縣生れの劉某は十三日製鐵所構內で屑鐵を竊取しゐる現場を取押へられ取調の上十八日支那官憲へ引渡さる

鐵都夜譚
◇クロスカンツリーの賞品授與後一選手は「こんな賞品を貰つて何になるか」と不平を唱へて居たが此種の選手は賞品を目的としての出場で何のスポーツマンとして何等價値なきを嘆かはしく思ふ▲觀劇中の婦人や活動見物中の娘御に變なモーションをかける色魔が演藝館に出沒するとの噂が高い▲消費組合の多物賣出しは兩日共大入滿員の盛況で社宅街の細君連は我れを競つてシコタマ買ひ込む緊縮節約が鳴物入りで叫ばれて居る時皮肉の觀を呈す▲奉天の人で鞍山に製氷會社を設立せんと計畫して居ると聞く、小野田の進出、製紙會社の計畫、曰く何々グレート鞍山の實現も唯の夢には消へまい▲林所長今回の歸省は何ものかを意味して居るかの如く巷間に噂されて居るが何處かに轉ずるとも辭める樣なことはあるまいと

撫順

白晝驛附近に殺人強盜
ピストルで兇行を演じ　所持金を奪ひ逃亡

數日前塔連採砂場事務所附近の殺人事件の記憶新たなる十六日午前十一時と言ふ眞晝撫順驛近くの繁華街裡に於て又もや殺人強盜事件が突發した被害者は奉天省生れ千金寨撫順街牛肉商胡少藏（三〇）と言ひ

牛の買出に金票約二百圓を懷中し撫順街を通行運河向岸に趣く途中胡が大金を所持せる事を嗅ぎ知りたる三名組の怪漢は是を巧に尾行し前記場所で大膽にも胡少藏の眞晝間にブローニング拳銃を突付け貫通銃創を負はせ即死せしめ有金全部を强奪の上運河を徒渉支那官憲內に逃走したらしく撫順署にては急報に接し非常召集を行ひ新市街及び撫順街に警戒網を張り倉田司法主任以下數名は運河々畔の叢中に潜伏中同日午後三時十分有力なる被疑者一名を逮捕したるも頑强にして犯行を自供せず係官を手古摺らしてゐる

滿鐵社員が奇怪な毒藥自殺
人權蹂躙問題を惹した男が　モヒとリゾール嚥下

働き盛りの滿鐵社員が毒藥モヒを嚥下十七日午後五時三十分自殺し去つた怪事件がある、右は本籍佐賀縣杵島郡南有明村一七五當時撫順東郷生町六丁目一番地十九號古賀軍雄（三〇）と云ひ一週間前勞務係として勤務中些細な事から邦人に拳銃を擬し暴行を働き人權蹂躙問題を惹起し刑事事件をひき起す所を先輩の好意で炭礦は首にもならず現在は千金寨倉庫係として勤務中の者なるが十七日午後〇時半頃自宅に於て內縁の妻ツル子（二〇）に「ウドン」を食ひたいからと臺所に去らしめ机の押出に秘めありしモヒ一グラムとリゾール約百五十グラムを同時に嚥下苦悶し居る處を炊事場より馳つけたる妻ツル子が發見直に撫順病院に急を告げ胃洗滌を行ひ滿鐵醫院にかつぎ込み加療したるも遂に前記同五時三十分死亡した、原因の一として前記暴行問題が傳へられてゐるが、それ以外重大事件あるものゝ如く司法當局では目下秘密裡に取調べ中である

寄附電話募集
廿六日まで

目下工を急いでゐる市內電話と炭礦電話との接續期は十二月二十日頃の豫定で居住者一般の利益は一層大なるものあるが、撫順局では此際市民の希望者に限り寄附電話を募集する事と決定申込期間は二十一日から二十六日まで、詳細は局に承合の上なるべく早くその手續を執られ度いと

電燈線盜難
十八日午前零時頃市內西公園の電燈線一千八百米時價百二十圓のものを竊取した四人組の電泥があつたが近來電泥頻出には市民は閉口してゐる

日本電話の架設不許可
重大視さる

撫順支那町居住呉服商田世官が撫順局管轄下の市內電話二五二八番を西七條群記銀號より讓り受け數日前支那町に架設せんと縣公署に願ひ出たるに支那官憲では何故か是を不許可處分にした、從來支那町には多數の日本電話が架設してあるのに拘らず今回に限り支那當局が不許可方針を執るに至れるは何故か一電話の問題は第二として右は中央の命に依るものに非ざるかと支那官憲の態度は重大視されてゐる

自轉車泥棒
十六日午後十時平康里遊廓を徘徊中の擧動不審者を逮捕したが右は奉天省生れ住所不定范子陽（二五）と云ふ自轉車專門泥と判明した

開原

鮮人救濟で領事訪問
川崎所長が

川崎地方事務所長は十八日十一時五十五分發特急列車にて鐵嶺に近藤領事を訪問し過般募集せる鮮人救濟義捐金を手渡し分配救恤に關する協議を遂げた

開原交易總會
開原交易會社にては來る二十三日午後三時同社內に於て定時株主總會を開催し第十六期營業決算報告並に監査役全員任期滿了に付改選をなす由

開銀懇談會
開原銀行頭取川島氏は同行整理につき盡力斡旋した有志及び株主代表者等を十八日午後五時半二葉に招待し整理其緒に着きたるを謝し尙同行の將來につき懇談をなした

報恩講
當地本願寺にては來る廿二日午後二時より宗祖親鸞聖人の報恩講を執行する由なるが當日午前十一時五十四分着特急列車にて大連別院より支那開教總長津村雅量師來開し同報恩講を勤修し又講演ある筈なりと尙ほ翌二十三日は永代讀經並に世話係追弔法要を營むと

鄭家屯の興道路に面する高臺に新築中であつた事務所が落成したので來る二十二日午前十一時より落成式を催す筈であるが二十日より五日間は同事務所附近に於て支那芝居を催し一般に觀覽せしむる由

金州

日曜の催し
▲在鄕軍人會金州分會射擊會　午前八時より三崎山射擊場に於て擧行

▲金州大孤山會送電線路開通祝賀會　正午より大孤山に於て

人事
▲乾武氏（關東廳事務官奉天警察署長）十九日來金城內孔子廟參拜及故王永江氏宅弔問の上即日歸奉

▲中里末雄氏（關東廳土木技師）大孤山送電線路檢査立會の爲十九日來金

▲有川貞務氏（關東廳遞信技手）大孤山送電線路檢査の爲十九日來金大孤山へ

五萬圓に上る減俸で大恐慌
經濟的影響も甚大

明年一月一日より減俸斷行の報傳はるや當地關係官衙學校職員の恐慌一方ならず無風狀態の官場にも動搖の氣分は漲つて來た政府の方針に基く減俸率に依り當地關係全體に及ぼす影響は一ケ年約五萬圓にして之れを之等生活者の現狀と當地方一般經濟界の現狀より見るときは其の與ふる打擊は甚大にして在住者の殆どが俸給生活者を以て充たす當地方の不景氣は尙一層深刻となるものと見られてゐる

新規減俸案に恐慌氣分軟化
減俸斷行騷ぎに一時は不安にかられた在住官吏も新規減俸案作成に恐慌氣分稍軟化し一同愁眉を開い

大和尚山の紅葉近し
探勝の好期

朝夕冷氣を增し早晩秋の候となつて、大和尚山の楓も早三分通り紅葉した、登山探勝の氣分をほしいまゝにするのも今からであらう、紅葉觀賞の處としては南嶺其のまゝの感ある響水寺の溪谷、觀音閣唐王殿の絕景である

南山會の落成式
廿二日に擧行

南山會に於ては曩に金大間道路中

奉天

驛の模樣換へ
奉天驛では去る九月廿日以來ヤマトホテルを假待合室にあて驛內模樣換工事をなしてゐるが、該工事は來月八日までには竣工する筈でそれと共に新事務室に移ることゝなつてゐるが、內部は從來と全くその趣きを異にした待合室に改築されその他小荷物取扱所、案內所、販賣店等もすつかり位置が變更されるので完成の曉には乘客に多大の便宜を與へる事にならうと

人事
▲大內代議士　十八日安奉線急行にて來奉

▲齋藤理事　十八日來奉

▲武內胤雄氏　太平洋會議へ出席のため二十一日安奉線急行にて京都へ向ふ筈

▲乾奉天署長　十九日旅順より歸奉

▲立川奉天署警視　十八日朝旅順より歸奉

▲原田奉取信事務　十九日歸奉

▲川崎市教育視察團一行四名　十八日鞍山へ

▲佐賀縣商工會議所主催視察團一行十名　十八日來奉

▲滋賀縣教育視察團一行廿七名十八日大連より來奉同日釜山へ

▲青木信光氏（貴族院議員）十九日來奉

▲岩城隆德氏（同上）同上

辻強盜の車夫逮捕
共犯者も判明

去る十五日午後八時頃奉天驛に於て李泰長及び高國瑞の兩名を洋車に乘せて城內に向ふ途中隅田町二番地の薄暗がりに引き込み他の五名と共謀して辻強盜を働いた洋車夫外六名の犯人についてはその後奉天署に於て極力搜査中の處その一人は皇姑屯に居住してゐる事が判り直にそこに踏み込んで逮捕した彼は前科一犯趙坤閣（三三）と稱し前記犯行を逐一自白した、猶彼の自白により他の犯人皇姑屯居住洋車夫閻喜順（二七）住所不定無職李孟者（二六）同前科一犯曹雲林（二三）を逮捕したが殘りの姜萬和（三〇）姜小黑（二〇）陳中禮（三〇）楊福立（三〇）も目下嚴探中である

コスト機歸國
出發期は未定

目下奉天に滯在中のフランス飛機コスト號は奉天から南京、安南を經てフランスに歸る豫定であるが出發期日は未定である

奉天署を解放
廿一二兩日間

奉天警察署移轉式並に祝賀會は愈々廿日午前十一時新廳舍裏會場に於て催されることゝなり非番員總出で準備に忙殺されてゐたが全部終つたので當日は盛會が期待されてゐる猶廿一、二の兩日は新廳舍を展示し警察關係の參考品をも陳列して正午から午後四時まで一般の參觀に供することゝなつてゐる陳列品の主なるものはあらゆる強盜殺人の兇器、法醫學の參考品、衛生方面の宣傳參考品、交通機關の模型、市街警備の模型、盜難豫防上の參考品等であると

長春

出廻期を控へ貨物激增す
長春驛の總動員準備　收入も加速度に增加

長春驛は多季繁忙期を直前に控へて驛員を增員する外驛員中貨物事務に經驗あるものは悉く貨物現場に集中する方針をとて總動員の準備が出來た、雜穀の出廻りは既に開始され日一日と數量を增してゐるが之が爲め滿鐵の收入は加速度的に增加し年度初めに東鐵の政策的東行が手傳つて貨物を浦鹽に奪はれ六月十五日現在四百三萬圓の大減收を見てゐた滿鐵は露支紛爭勃發と共に東行貨物の逆送に漸次減收をとり返し新穀の出廻り期の昨今に至つては一日三十萬圓近くの收入あり昨年に比し八、九萬圓乃至十五萬圓の增收を來し十月十五日現在に於ては減收は僅かに五十二萬五千三百五十六圓となつたのでこの調子でゆけば本月二十五日までには完全にとり返し本年度末には大增收となるだらうと觀られてゐる

射擊會に優勝
警官一行歸る

本年の全滿射擊大會には長春警察署からは渡邊警部補、門田部長及鎌田、川崎、平谷三巡査が出場し二點の差で水上署を敗り優勝したので署長會議に出席中であつた中尾署長が優勝旗を持つて十八日午後一時十分歸長署員總出で出迎へ署內正面に立て一同小躍りして自祝した

貨車配給の心配なし
驛貨物主任談

北滿貨物の殺到を豫想されてゐる本年多季の出廻り繁忙期に際して當局は準備に大童となつてゐるが、市中當業者間には早くも滿鐵線が四平街以北單線なる爲め貨物が停滯するだらうとか貨車の不足から連絡貨物のみ輸送してローカルの輸送貨物は後廻しにするだらうなど懸念されてゐるが、右に關して高澤長春驛貨物主任は語る

滿鐵線が單線なる故貨物が輸送しきれないなど云ふは杞憂にすぎない尤も東鐵との協定で滿鐵は貨物の積替へを遲延させることが出來ないから途中の貨車配給が多少不足すると云ふ如きは有るかも知れぬが然し東鐵の輸送能力はさして大きいものではないから心配はいらぬ

町の便り
滿鐵社會課主催秋季幼兒デーは十八日午前十時滿鐵俱樂部に於て催され參加幼兒は市內各幼稚園より約三百五十名で遊戲に始り唱歌お話、活動の順に行はれたが盛會を極め正午頃閉會した

◇西塔大街居住鮮人東重永（二八）は十間房裕政號に店員として雇はれてゐるうちさる十二日同店の金

遼陽

人事
▲松井師團長　南方演習中の處十七日歸遼

▲遠藤師團軍醫部長　同上

▲岩永師團經理部長　同上

▲見坊遼陽地方所長は鞍山事務所長として十八日同地赴任

▲志賀大佐（東京幼年學校長）十八日來遼

▲長山遼陽署長は警察署議に出張中の處十九日歸遼

新穀類漸騰す
遼陽市場に於ける新穀類は漸次騰貴しつゝあり高粱新物の走りが毎斗奉票八十元の處昨今九十六元、高粱米百廿元、豆子百二十元、棉花毎十斤現大洋五元一、二角を唱へて居る

中日懇親會
廿七日に開催

滿鐵の沿線部落村長及び警察官憲側との懇談會は廿七日遼陽公會堂に於て開催の豫定であるが出席者は南首山から北沙河迄と日本側を合せて百廿餘名に達する見込

演習部隊歸遼
秋季演習の爲め金州、大連方面に出動中であつた步兵第廿聯隊は十七日二十三時五十分着臨時列車で歸遼した

華商組合改選
遼陽附屬地の華商組合は第一期組合長として昭和通りの董廣民が就任して居たが、役員間に經費のみ嵩んで會の成績擧がらずと不平を唱ふる者あり結局董が辭任し後任に本町の陳富九副會長に增盛臣の萬秀元が擬せられて居る

ハーモニカ演奏會
遼陽ハーモニカ同好者は十九日午後七時から小學校講堂に於て廿餘番の演奏會を催した

鐵嶺

しきれないなど云ふは杞憂にすぎない

行商に行き不明となる
八面城方面で

當地櫻町一丁目古物商谷末吉（三七）は去月二十三日頃八ッ口鎭の行商に八面城方面に行くと言つて外出した儘行方不明となり音信も無い爲め知人は安否を氣遣ひ所在搜査願を提出した

授業時間變更
鐵嶺小學校では二十一日より授業時間を左の如く變更すると

豫鈴午前九時、朝禮午前九、五五、第一時同九、一〇、第二時一〇、〇五、第三時一一、〇〇、晝頭六十分、豫鈴午後〇、四五、第四時同〇、五〇、第五時一、四〇、第六時二、三〇

童話會開催
童話並に兒童讀物の作家として有名なる水谷まさ子氏は來る三十日午前十時十五分着列車にて來鐵當小學校に於て兒童慰問の童話會を催すと

新任訓導來る
曩に病氣の爲め退職せる古我訓導及研究所入所の合志訓導の後任として內地より江見壽夫、研究所より德田秀彥の兩氏任命され此程着任した

天勝一座來る
沿線巡業中の天勝一座は來る二十四日晩當地公會堂に於て得意の奇術及和洋舞踊其他斬新なる藝術を公開する筈と

法庫門警官更迭
法庫門警察官出張所千坂巡査は子息就學の都合上鐵嶺本署に歸任し後任は北五條通派出所大庭巡査が任命され十九日赴法事務の引繼をすると

人事
▲權太親吉氏　朝鮮各地視察中のところ十六日特急で歸嶺

▲大內署長　旅順出張中十九日朝歸任の筈

▲藻寄地方事務所長　二十日撫順に出張

▲森尾開造氏　鮮銀支店長會議出席の爲め十九日發二十五六日頃歸嶺の豫定と

熊岳城

地委議長決る
今回選出せられた當地方委員の初會議につき西村地方事務所長來熊地方事務所にて會合の結果議長に岡島貞氏、副議長に小原敬介氏を選び右決定した

支那商が門燈を點じて防犯
當地方特產出廻り時期には年々盜難等の罹災者も逐年度々あつた事とて當地警察派出所にては夜間比較的暗黑の方面に同罪の犯さるゝに鑑み支那商側に門燈の點燈に依る防犯方につき說く所あり今回新に華商四十餘戶は一齊に門燈を點ずる事になつた

馬術大會出場
滿鐵馬術部の主催にて關東軍關東廳、大連市、滿洲日報社の後援により十九、二十の兩日に亙り電氣遊園廣場に於て開催せらるゝ第二回全滿馬術大會に當地乘馬班代表として出場する事になつた熊岳城農業實習所齋藤金次郎氏は愛馬雲俊を引つれ十八日午後六時南行列車にて出連した

間島

武器讓受に馬賊團出發
敎化に戒嚴令

敎化縣沙河子に根據を有する馬賊頭目双勝は豫て赤軍と武器讓渡に關する交涉を行つてゐたところ其の後愈よ長銃百挺、彈藥一千五百發の讓與を受けることに交涉が纏まつたので双勝は部下二十名と共に先月末根據地を出發して當領へ向つたことが判つたので敎化縣在陸軍第七團に於ては去る四日より敎化縣城に戒嚴令を布き夜間十時以後の市內交通を禁ずると共に擧動不審の者を片ッ端から抑留してゐると傳へられてゐる

安東

親切な船員
盲人を勞はる

十六日當地に入港した大連汽船の濟通丸にヴァイオリン一挺と小さな風呂敷包一つをもつた盲鮮人韓用說（二〇）と言ふ乘客があつたが當地に何人も賴る所のない全くの孤獨であり領事館に行きたいと言ふので濟通丸船員は種々色々と面倒を見てやり十六日の如きは雨の降りそゝぐ中を人力車を傭ひ領事館に向はしめたが他の乘客は此船員の親切に對し激賞して居た

安義雜聞
◆滿鐵社會課、鐵道部、社員會主催の生活改善講演會を十七日午後七時より安東クラブに於て開催、講師は元京大教授醫學博士松浦有志太郎及び鐵道青年會囑託講師村井寅雄兩氏にて非常なる盛會であつた

◆安東育成學校同窓會は十六日午後六時より安東俱樂部に於て懇親會を開いたが出席者多數非常なる盛會であつた

◆安東幼稚園では十七日午前九時半より鎭江山中央廣場に於て運動會を開催の豫定であつたが運動場が昨夜來の雨にて使用出來ないので二十日に開催する事となつた

◆安東滿倶野球團は十九日京城に遠征する事に豫定されて居たが十五日滿倶後援會幹事會の結果中止する事となつた

瓦房店

金融組合貸出開始
一千圓まで

瓦房店都市金融組合にては今回愈々二萬圓の資金到着せるを以て貸出を開始した保證人二人に據期貸出は千圓迄の由希望者至急申込むべしと

◆藤沼寫眞館割引　當地藤沼寫眞館にては開業廿五周年に相當するを以て目下景品付大割引を實行して居るが非常の繁昌にて特に支那人の撮影者は頗ぶる多數である

一寸閑隨筆
霜識既に降り楓葉紅となり水鳥の聲も身に泌む樣な時候となつた此の際節約緊縮の宣傳は特に深甚に先以て臺所の大改良を斷行すべしだ▲社會課講者館長主事に依りて催された漫談會は平凡と思ひの外古今東西の政治自治外交經濟等に論及して餘す處なしだ▲次回は更に奇談怪談をも附加して大に笑談論談する由▲消費組合にては現金掛賣を實施の由なるが消費者は頗る利便となつた▲日蓮寺山麓より掘出した二個の人骨は何やら日本人らしい話小野村博士も病人ならば直ぐ診斷が付くが白骨とあつてはなかなか容易でないので愼重の態度▲田家も愈々電氣が點ぜられ文化村落となつた

蛙鳴集
奉天醫大助教授　辻忠治

二、貞女趙五娘
趙五娘位貞節な妻はないと思ふ、琵琶記主人記して糟糠の妻と、誠に宜く趙家に嫁いで僅かに兩月、夫蔡邕は父の切なる訓、まつた張太公の親切なる言葉辭し難く、老父老母を殘して試驗の爲め都に上る。

南浦の別れは五娘の春夢斷、臨鏡綠雲撩亂、聞道才朗遊上苑、又添離別歎、から始まる。

譯　春の夢絕えて鏡に向へば黑髮亂る、聞く夫は都に上ると、又離別の悲みを添ふ。

官人、雲情雨意、雖可拋兩月夫妻、雪鬢霜鬚、竟不念八旬父母、功名之念一起、甘旨之心頓忘、是何道理、

譯　貴方よ、貴方はわけなく私をお捨になるが、お年を召した御兩親を如何なさるの、功名のために孝養をお忘れになるのですか、苦しみ憐れむ可し。

如不慮山遙水遠、奴不慮食、寒枕冷、奴只慮公婆沒、主一旦冷清々、

譯　お別れするのは厭ひませんが、只お父さんお母さんが如何にお淋しいかと夫れ許り氣に懸かります、と何ぞ夫れ孝心の深き。

你儞、錦換衣青、伏前偽眼、早辦回程、十里紅樓休、戀著娉婷、叮嚀不念我、芙蓉帳冷、也思親桑榆暮景、官人、你此去千萬早々回程、

譯　貴方よ、試驗がすんでお役人になられたら、早く歸つて下さいな、都には美しい方もありませうが、お氣をかけられぬやう、よし淋しい私を思つて下さらぬまでも、お兩親の朝夕は必ずお忘れなさらぬやう、ネーあなた、乾度早く歸つてよ、

と可哀想なこと。五娘のやさしい心根に泣かされる。

夫は去つて便りなく、年は旱して粟實らず、趙一家の窮乏殊の外ひどい。五娘心を盡して孝養の道を勵むも、女のかよわい腕に却々朝夕を支へ難く、或る時は髮のものを典して糊口の途に換へ、或る時は義倉の賑米を途で奪はれ、四苦八苦の中に其日を送る。

此間老母は女のあさましさ、魚がないの肉がないの、嫁は陰で甘いものを食つてゐるのだらうと難題を言ふ。

奴家早上安排些飯與公婆吃、豈不欲買些鮭菜、爭奈無錢去買、誰想婆婆抵死埋怨、只道奴家背地自吃了甚麼東西、咳、不知奴家吃的是米膜糠粃、又不敢他知道、便做他埋怨殺了我、也不敢分說、眞個好苦也

譯　御馳走を作つて差上げたいのは山々ですが、何分にもお金がなくて如何することも出來ません、それにお母さんは私をお恨みになつて、何か陰で甘いものでも食べて居るやうにおつしやる、一體私は何を食べて居るとお考へなのでせう、漸く糠を嘗めて居るのぢやありませんか、それかと云つて申しわけすることもならず、本當に苦しいこと、

五娘よ、御身は誠に糟糠の妻なり

這糠我待不吃他呵、教奴怎忍饑、待吃他呵、教奴怎生吃、思量起來、不如奴先死、圖得不知他親死時、

糠呵、你遭礱被舂杵、篩你簸揚你、吃盡控持、好似奴家身狼狽、千辛萬苦皆經歷、苦人吃著苦味兩苦相逢、可知道欲吞不去、糠和米本是兩倚、却遭簸揚作兩處飛、一賤與一貴、好似奴家與夫婿終無見期、丈夫便是米呵、米在他鄉沒處尋、奴家是糠呵、怎地把糠救得人饑餒、好似兒夫出去、怎地教奴供奉得公婆甘旨

譯　おゝ此糠、食べなければお腹がへる、食べようとするに如何して咽喉を通らう、いつそ死んだ方がまし、お兩親の亡くなられるのを見ないだけでも、

糠よ、お前は春でひかれ、ふるはれ、あふられ、本當につらいことであらう、丁度私の千辛萬苦するのに能く似てゐる、苦い人は苦いものを食べ、兩苦相遭ふとは誠に此事、

糠と米とはもと一體、今ふるはれあふられ、一は賤しく一は貴し、丁度私等夫婦の永く會ふことが出來ないやう、夫は米の如きか、米は他處に行つて尋ぬるに由なし、抑も私は糠か、糠で如何して人の饑えを救ふことが出來やう、丁度兒が出て行つて親を養ふことが出來ないと同じである、

と糠の境遇に吾身を比べる、聞いて泣かない者があらうか。

抑も天は無情、五娘の身に落ち來る災難は、之を以て終りとしない。間もなくして母を失ひ而して又父、今ははや賣るに貲なく、遂に頭髮を市中に賣つて最後の孝養を盡さんとす、聞け五娘の悲壯なる叫びを

頭髮、我擬剪備處度青春、如今又剪備資送老親、頭髮呵、我待不剪備呵、開口告人羞怎忍、我待剪備呵、金刀下處應心疼、

譯　髮よ、私はお前を粗末にして青春を送つて來た、それに今又お前を剪つて親の葬式の費に充てようとする、髮よ、許して呉れ、お前を剪らなければ羞を忍んで金を借りに行かねばならず、お前を剪らうとすれば、あさましくて胸が痛む、

斯くて五娘は麻衣の裙に土を包み、自ら父母の墓を治め、未だ涙の乾かざるに、琵琶を彈いて貲を途に乞ひ、遠く都の夫を尋ねんと千里の旅に上る。

五娘よ、御身は誠に糟糠なり、糟糠となり髮を剪て父母に事へ孝養を完うして都に上る。米となつて立ち去つた夫君は、やがて錦衣御身を迎へることであらう。

第四回 滿日勝繼碁戰
（湯淺氏二回　勝二回目）先相先先番　宮武晉三太氏　湯淺唯二氏

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

●二一への十　○二二への十一　●二五への五　○二六ヌの四　●二九リの二　○三〇ルの五　●三三ニの三　○三四ホの四　●三七ニの一　○三八への六

●二三への九　○二四ホの七　●二七ルの四　○二八トの四　●三一ヌの四　○三二トの二　●三五ホの五　○三六ホの七　●三九への五　○四〇ロの六

▲風崎四段講評　白廿二は味惡し決論（い）に曲らざる可からず黑廿九と白卅との交換は黑甚だ惡し黑廿九の手にて卅に伸び出すべし黑卅七も味惡し（ろ）に押ゆる方好とす

—【2】—

大連市三河町二番地
日下齒科醫院
電話川三六七

ヒステリーは不感症のもと
服み給へトツカピン

特價提供
大脇
自轉車タイヤ
特製
實用ゴム長靴　大人用一足　二圓十錢
卸値段特別
純アメゴム長靴　同　二圓七十錢
タイヤー　一組　二圓八十錢
チユーブ　一組　七十五錢
【切見本進呈】一組へ二本上中下各種　28吋 26吋
「ゴム製品各種相場表進呈」
名古屋市千種驛前　大脇ゴム商會
電話東四〇〇六番・振替名古屋六六壹番

建築－設計－監督
構造－計算－鑑定
宗像建築事務所
大連市播磨町六七
電話三四九五番
工學士　宗像主一

小粒　大粒
口中香料　消化劑
仁丹
仁丹のハミカキ＝煉歯磨＝体温計

仁丹金言小話
抑々たる威儀は維れ徳の隅なり(詩經)
荻生徂徠先生、或時一人の容色勝れた下婢を雇ふて身邊のことに侍らせた。處が婢はてツキリ自分の容色で主に愛せられるものと考へたらしい。偶々先生が晝寢をしてゐると其の婢はそつと衾をかけて行つた。目が醒めた後先生※は吃驚して、『誰れぢや呼ばぬのに此室に入つて衾を被せた者は』『妾でございます』、先生は大いに怒り又大いに後悔して其後は一切妙齡の侍女は置かなかつた。

●世の中を明るく暮さんと欲せば……常にノーシンを愛用せよ●

一番よくきく
アレ止は
クラブ美身クリーム
クラブ洗粉本店謹製の

此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして……

大好評大人氣の
衞生的唯一の美身クリームなり
優良な技師に依て作られた優良な品

世界一の蛔蟲驅除藥(專賣特許)
マクニン錠
蟲下し菓子　マクニンゼリ
何だか癪に觸る
どうも蟲が好かん
蟲が本心か
人間が本心か
蛔蟲寄生者は兎角蟲に操られて幸運を取逃がす。
大阪道修町二　森澤文華商店
『恐ろしい蛔蟲』と題する册子あり御申越次第進呈

大連市信濃町岩代町角
電話六一一一番
三根科醫院

專賣特許
金剛煙安
大連市聖徳街三丁目
滿洲總代理店　秋山商會
電話九三三七番

生還！
間一髮　走者は得意の辷込で見事に生還しました　それは丁度疲勞による身體の痛みに『妙布』を貼つた時に蘇生を感ずる清々しさと酷似してゐます　全く『妙布』の効果は　どんなに張り切つた肩腰のコリも　どんなに烈しい身體の痛みも　わづか一夜の貼用によつて全く蘇生つた樣に清々しく氣分を爽快に致します
これは『妙布』の藥効が　血液の循環をよくして新陳代謝を迅速にし　疲勞によつて生ずる鬱血を散じて　コリを和らげ痛みを除り去る結果で　老若男女を問はず即効あるは勿論　特に運動づかれや過勞の痛みに用ひて効果の顯著なるものがあります

主治効能
肩腰のコリ　リウマチス
うちみ　神經痛
過勞の痛　乳のコリ
胸咽喉の痛　筋肉の痛

定價　金二十錢　金三十錢　金五十錢　金壹圓
全國到る所の藥店にあります

偽物あり
『渡邊輝綱』と『妙布』の文字に御注意下さい

妙布　外用

本舖　靈山堂　渡邊輝綱
東京市麻布區霞町廿一番地
電話青山二六二七番
振替東京四六〇七番

日曜ページ

重大な關係にある婦人と消費經濟……

主人の收入と主婦のつとめ

日本女子大學教授 井上秀子女史談

吾人は消費と云ふ事を尊重せねばならぬ、なぜかと云へば一國の困憊するのは收入の不足よりも消費の知識缺乏に基因してゐるからである。人類の繁榮と幸福を增進せん爲には次の三要點に力を注がなくてはならぬ

一、よりよき生產
二、よりよき選擇
三、よりよき消費

この三要點の中特に人類の繁榮幸福に必要なのは第三の「よりよき消費」である

右の言葉を通して考へて見ても消費者たる婦人の務の重大なる事が考へられるのである

一家の收入といふ事をよく考へて見ると收入の道を計るのは大抵男子の手によつて爲されるのであるが、これを切り盛するのは專ら主婦の手に依つて爲される、つまり收入を衣服住居食物の各費用に

合理的に 分配し、そして與へられた價値內容を合理的に費消するのである。例へば衣服は衣服で人々の衣服に對する慾望を滿たし、食物は食物で榮養に合ふやうに切り盛し、この外休養、慰安子女の教育など一切が主婦の切り盛に依つて爲されるのである。語を換て云へば主婦は收入を切り盛して家族の滿足を遂げさせるのであるから主人の外部からの收入はそれが家庭に使用される時は家族的個人の收入になつて來るのである。即ち各個人の慾望の滿足が收入であるといふ事になるのである

內面的に 觀察して收入とは何であるかと云ふと金ではなくて金によつて得られる衣食住、それによつて得られる靈の要求を滿足するのが收入であつて、つまり金よりも要求の滿足といふ事になるのであるからこの意味から收入を計るといふ事も大切なるは勿論であるが、最小の金で最大の滿足を與へるやうにする事がより大切であると思ふ。重大なる消費を掌つてゐる婦人は國民の幸福を增進し國民の繁榮を招來する爲めには生產者より消費者の責任がより重大であるといふ事を考へねばならぬのである。この立場から米國の

經濟學者 は次のやうな事を云つてゐる

社會淨化と信仰の生活

現代人の通弊は信仰の生活を沒却するに在る

吾々が大道を進み、目覺めて生活してゆくには崇高なる信仰の理想に達しなければならぬ、然るに信仰生活の甚だ衰微して居ることは現代人の大なる通弊とも云ふべきであつて、其結果兎角輕佻浮華の風が行はれ、社會の爲めに、或は思想上國家の爲めに、

危險なる 傾向をも現はれ或は道德上忌まはしき罪惡なども近來頻々として起つて居る、之等幾多の醜惡なる問題を解決せんには教育の改善、政治の倫理化と云ふ事も必要になり、社會政策の確立と云ふ事も必要ではあるが、其の根本策として先づ第一に信仰生活の涵養に努めなければならぬ、然らば信仰生活とは如何なるものであるかと云へば一般宗教に通じて神とか佛とか云ふ宗教的理想を中心とする生活である、素より神佛に對する見解や解釋は種々區々であり、之れを內に求むるあり、外に求むるあり、又內外を總した境涯に求むるものもあるが、要するに各自が宗教的理想を中心として生活するのである、即ち一つの理想を中心として生活すれば自から

向上修養 の考へも起り放漫な生活はこれを反省し懺悔すると云ふ事になる、故に何れの宗教に於ても懺悔と云ふ事が行はれてゐるのである、此の反省、懺悔と云ふ事は我々の向上生活には極めて大切な事である、普通一般の修養に於ても自ら三度我が身を顧みると云ふやうな事を云はれるのも此の意味である、若し反省懺悔なくして我儘放縱で、勝手次第な生活をすれば遂に腐れ、爛れ、煩悶に煩悶を重ねてその極は行詰つてしまふのである、カントが批評哲學の立場から「我々は純理性の智的方面にのみ止つてゐるならば、實際生活に於て種々な不安が起り、煩悶懷疑と云ふ事に陷るより外はない故に實際の生活に於て實踐理性の信仰と云ふもので進まなければならぬ。此の信仰がある所に始めて價の

自由意思 の世界が現れ、道德の世界と云ふものが開かれるのである」と、然るに近來は一般に智的方面には非常に發達してゐる事は勿論喜ぶべき事ではあるがそれのみに止まつて行詰つて仕舞ふのである。故に青年の中には現代の時弊を見て大いに憤慨して、同時に自ら進む可き道に就いて一大信念をもたねばならぬ、斯くして智的方面と併行して信仰生活に進まなければならぬ。

滿日漫畫

ゴム銃

「お父さんあたると危いわ」
「無論あたるよ」
「鳥ぢやありません、お隣の坊ちやんにですよ」

一 二 三

犬が羨ましい 斯文

「空つ風が吹き初めたのに夏服だと體が無暗に緊縮しやがる。俺も來年から犬のやうに一年中冬服にしやう」

主婦の心得べき副食物と其調理

その土地季節の物を自然の狀態で調理す

◆…副食物はその土地その季節に出來たものを成る可く自然の儘に近き狀態で調理することです。土地のもの季節物は比較的安價で榮養素を充分に保有してゐるのであります。

◆…魚肉、獸肉は必ず野菜と配合することを忘れず且肉の分量は野菜の半分以下がよいのです。小鳥小魚の類は成るべく骨と共に食べられる樣にするか、野菜は皮つきの儘調理すること、茹汁は捨てない爲め又あまり煮過ぎない樣にすべきであります。植物性油を以て野菜を揚げたものを食べるには大根おろしを澤山混食すると却つて一種の甘味を覺えて消化も至極よいのであります。蓮根、大根、茄子、大しや、トマト、キャベツ、蕪菁等の野菜類は榮養素も多く胃の吸收も良いものですから努めて食べる樣にしたいものです。

◆…要するに凡ての副食物は偏食に陷らぬやう種々のものを取り合はせて所謂混食に心懸ける事が必要であります。尙野菜の栽培には多く人糞を用ひますので寄生蟲卵の附着して居る危險がありますから豫じめビール瓶一杯の水に盃一杯の晒粉を溶かして置き、之を洗水に數滴たらし此の中へ野菜類を三十分位浸して清水で洗ひ揚げて用ふれば比較的安くして食べられます。

清楚な感を與へる障子の張り方

歪みを直し形を整へ下から上へ張上げる

そろ/\障子を張り返へる時期になりました。障子を張るのは何の雜作もなさそうなものですが注意しないと建つけが合はなくなつたり、紙の切り目が無揃ひで醜くなつたりするものです。そこで障子をよく張らんとするには、先づ障子を綺麗に洗ひ、骨に付き殘つた紙を雜巾で拭き取つて綺麗にしてから日蔭で乾かします。其の儘張ると障子が歪んで建つけが合はなくなりますから、一度濕めて見て歪みをなほし、形をくづさないやうに靜かに外してから張りますときれいになります。それから糊をあまり澤山つけると骨からはみ出してきたなくなりますから、薄く刷毛につけて二、三回塗つた後で張るとぴつたりと紙のつきもよくなります。尙紙を切る時には曲げると大へん醜く見えるものですから定規のやうなものを當て、鋭利な刃物で眞直に切らねばなりません。最も注意すべき事は障子を張る時決して上から張つてはなりません。必ず下の方から上へ張り上げてゆく事です。そうでないと雨風の時すぐ破れ易いからです。すつかり張り終りましたなら清水で一面に霧を吹きますと紙がきちんとなります。尙障子紙は安物は破れ易いので結局損ですから、なるべく上等の紙で張る必要があります。

秋晴れの公園 鞦韆に戯れる中華人

衛生的なお臺所の造り方 (二)

金井章次

お臺所の使用人

本論に入る前に、先づ注意せねばならぬのは、お臺所の使用人です。殊に支那人ボーイになりますと、餘程、衞生的な訓練を施しませぬと、不潔といふ觀念に乏しい。

彼等は一方、最も清潔と衞生を尊む調理に關係すると共に、他方各家庭の不淨場や汚物捨場等の掃除もやる。衞生と不衞生、清淨と不淨とに就て、明確な實物訓練を施さねばならぬ。料理に取りかゝる前には、一度手掌を洗ふとか、或は時には消毒するぐらいな習慣は作らせたい。

使用人の健康に就ても注意を拂はねばならぬ。お小供衆の「トラホーム」など、良く學校や幼稚園が直接責任者として非難されますが、何んぞ計らん。使用の支那人「ボーイ」が重症「トラホーム」であつたなど云ふ例は尠くない。

使用の「ボーイ」が不明の熱性病に罹つたが、其經過が長びきそうだと云ふので實家に引きとらせたら、後からそれが「チフス」であつたなど云ふ實例もある、この種の出來事は宿屋飲食店等では一層注意せぬと、公衆に對し飛んだ迷惑を及ぼす事がある。

使用人は採用前に一度健康診斷を受さすが良い。尠くとも「トラホーム」の有無位は專門家に見て貰ふ必要がある。

購入先きの店舖の衞生

お臺所に出入りの食料店の衞生狀態にも相當の注意が必要と思ひます。何んでも廉いが標準であると許り、樣な、不潔極まる支那店から、魚貝肉類、野菜等を仕入れるのは考へものです。殊に夏期蠅の群がるやうな不潔な店から品物を納めさすのは、何にかに附け衞生上危險な場合が多からうと思ひます。

見榮から實用へゴム靴時代來る

支那人に愛用される

靴の世界にも革命の時代が來た。安くて堅牢でと云ふ特徵が各方面に歡迎されて壓倒的の勢で賣り出されるのがゴム靴である。殊に支那方面に愛用されて奧地の方へもドン/\仕向けられてゐる。今大連に賣り出されてゐるゴム靴は朝日、國華などの內地製であるが今回大連靑雲臺にも一ヶ所愛輪公司てふ看板を揭げて大々的の製造を開始し茲許相互の競爭となり火花を散らして販路を擴げつゝある。値段の如きも大連で製造されるのは工賃の安い關係もあり、また猛烈な競爭も手傳つて小供用が六十錢、大人用が七十五錢位で三月も四月も履かれ靴下なども革靴より三倍も經濟になる外輕くて實用的であると云ふのが一般向となり最近は中、小學校等の生徒用にも歡迎され革靴よりゴム靴へ──見榮より實用へ──時流に乘つて革靴の影をひそめる程素晴らしい勢ひで驅逐しつゝある

婚禮の心得

特に小物類を忘れない樣に

御婚禮が近づいて、にはかにお化粧を始めても仲々綺麗に出來るものではありません殊にゴシ/\お顏を洗つたりなどしては却つて吹出物などができます、皮膚の手入れは日常から心掛けてゐなければいけないのです

◇

髮でも日本髮の方は、少くとも當日までに二三回は結ならしておかねばなりません、同時に美顏術も二三回行つて皮膚の掃除をしておきます、それで御婚禮の前の晚は出來る丈けよく眠る樣にしなければいけません、そして當日は心を爽かにし清々しい氣持で鏡臺に向ひます、寢不足や心の引立たない時には一番お化粧に都合が惡いものです、朝は先づお風呂にはいり、お髮あげ、着付けと云ふ順に準備いたします

◇

お化粧はお人形式の、眞白な仕方は禁物です、出來る丈け自分の良い點を引立たせる樣に努めなければなりません、眉墨とか頰紅は何時もの樣に、自分のお顏によく似合ふ樣にする方が無難です

◇

着付けには小物をわすれない樣に、肌着、裾よけ、式服は白、更衣は赤)伊達卷、帶上芯、足袋等何れも二つ宛しごき、腰帶、背上げ、白繻子トツキング、留ピンびんだけ、扇子、腰紐(モスリン二寸幅七尺芯なしにくけます)を三本などです、此先になつて不足したり、當日の必要品が間に合はないとまごつきますから、これ等は第一に準備しておかねばなりません。

趣きの變つた婚禮服の模樣

和漢兩樣の模樣應用

秋の天地は清涼の氣滿ち、人の心も爽かな時。それと同時に御婚禮、相應しい時として、秋を期して御目出度い式を擧げる方が殖えます。その御婚禮の衣裳は飽くまでお目出度い氣分を中心とした優雅で、典雅な模樣が喜ばれて居ります。即ち鶴龜、鳳凰、松竹梅などが充分用ひられて居りますが、今年東京松屋で調製されたものによりますと、必ずしもお目出度づくしにせず、支那の宋元時代の繪畫からヒントを得、それにいく分か現代人の氣持ちを加へた花鳥模樣の落ちつきのあるものが加はつて居ります。それは華やかな中にも莊重な深みのあるものとされ居り、人生の最も意義ある儀式をより華やかにより莊嚴に彩るに相應しいものとされております。例へば丸帶では糸錦朱珍の白地に老松と土東と油頭を應用したもの、振袖では赤地に立染と松滝鶴模樣の大紋子に、松と鶴とを染めて刺繡を用で現はしたもの、振袖では一越縮緬グリーン地に花見幕に古代錦裏と檜扇とをあしらひ、有職のもの等あつて大體においておめ出度い氣持ちのものではありますが、從來のそれとは稍趣きを變へたものが澤山出來て居ります。

季節料理

松茸の松葉燒

▲材料─(五人前)つぼみの松茸(五十匁)松葉(少々)鹽(大匙二杯)酒(大匙一杯)柚子(一個)食鹽(茶匙半分)醬油(茶匙一杯)味の素(少々)

▲拵へ方 松茸のつぼみの二寸位のものを撰び石ずりのところを薄くけづり、鹽水で洗ひます。松葉を枝からばら/\にむしり取り鹽水の中に二三分間浸けて笊に上げます。土瓶又はニュームの鍋に、その松葉を敷きその上に松茸をならべ、お酒を入れて炭火にかけ、蓋をして四五分間燒きます。それを取り出し、足の方から裂き、柚子醬油にくるまぜて後小鉢に別の松葉を少し敷き、その上に松茸を小高く盛ります。この燒き方は松葉をしくために大變風味が宜敷うございます。次に柚子醬油の拵へ方は柚子を横に半分にきり、兩手でしぼり、その酢に食鹽少々と醬油茶匙一杯を入れ味の素少々を加へたもので御座います。

燒栗の茶碗蒸し

秋穗苑子

▲材料─(五人前)中栗二十五個しばえび二十五尾、みつば少々、玉子中位のもの四つ、煮出汁(三合三勺)醬油大匙一杯、味淋大匙一杯、食鹽少々、柚子の皮少々、味の素少し

▲拵へ方 栗はほうろうに入れて燒栗を作り皮をむいて洗ひ、お湯一合を鍋に入れ、砂糖大匙二杯と鹽小匙半杯味の素少し加へ、煮つた中に栗を入れ火をとめてふくませて置きます。しばえびは頭を去り皮をむいて背腸を拔いて布巾につゝんで水氣をしぼりみつばは洗つて八分位の長さに切ります。玉子は割つて黃、白味をまぜ合せます。次に蒸し茶碗に、みつばを盛りわけその上にしばえびを入れ燒栗を入れます。次に玉子の中に分量の煮出汁全部を入れて材料を絞つて殘りの醬油と食鹽、味淋、味の素を入れ前の茶碗に注ぎ入れます。蒸し方を申し上げます、茶碗を蒸籠にならべ入れ弱火で二十分間むしますと、出來上りますから柚子の皮少しを吸口としてのせ茶碗の蓋をして、木皿に白紙を敷いた上にのせて、熱い中に薦めます。

日獨兩軍の技倆伯仲し 大いに接戰を演出す
わが木村選手滿洲記錄を破る
日支獨對抗競技（第一日）

【奉天特電十九日發】奉天に於ける日獨支對抗競技は十九日午後一時四十分入場式を行ひドイツ側はヒルシュフエルト選手國旗を持ち先頭に立ち、日本側は津田選手日の丸の國旗を持つて續き、全滿軍は鶴岡選手旗手となり最後に支那側は齋鼎華選手が東北大學校旗を持ち軍樂隊の奏樂裡にトラックを一周してスタンド中央の本部前に整列し、劉風竹氏の開會の辭に次ぎ張學良氏歡迎の辭を述べ終つて愈々晴れの國際競技は豫定より遲れて午後二時二十分より開始された、成績左の如し▪

八百米 一着ベルツア（二一米九七）四等上倉藤一（二〇米五五）

ベルツア選手

二百米 一着ウイツヒマン（二二秒六）二着劉長春、三着ツイス、四着中島亥太郎

ウイツヒマン選手

米八五）二等最上義雨（一米八〇）＝滿洲新記錄＝三等ウエゲナー（一米七五）四等齋鼎華、山崎滿夫（一米七〇）

一米七五までに支那側全部落ち八十を最上は一回目に越え、八五を木村二回目に越えてアルファー附きで終りとなる

北本正路選手

五千米 一着北本正路（十五分五十六秒六）二着デイクマン、三着永谷壽一、四等江雲龍

デイクマンと北本の二人は最初より猛烈な躍りあひを續け一歩の差で北本リードして來たが、最後の百米になつて北本のラストダッシュ物凄く六米の差で一着、永谷三十米遲れる

南部忠平選手

分四秒一）二着ストルツ、三着濱田常盛、四着岡田英夫

五百米まで堀先頭に立つたが、ベルツアは六百米で進み濱田一度ベルツアを一米までつめたが、ドイツ選手次第に出て遂に一着三着の差十米となつた。

砲丸投 一等ヒルシュフエルト（一五米一八）二等ウエゲナー（一二米〇五）三等齋藤直衛

ヒルシュフエルト選手

走高跳 一等木村一夫（二

劉フライング附近にてスタートしラッシュ物凄く百米まではリードしたが約二米離れてウイツヒマン一着となり滿洲岡は五等となる

木村一夫選手

三段跳 一等南部忠平（十四米九九）二等柴田護敏（十四米七八）三等齋鼎華（十三米一七）魏凌志

奉天日獨支競技畫報

（上）場內の觀衆（下）正門前の雜閙（圈內）場內の支那軍樂隊

女子四百米リレー 一着日本チーム（五十五秒一）村上、久野（奉天高女）高見靜子、津田澤子、二着支那チーム

日本最初よりリードし高見差を大きくして三十米の差で日本側勝つ

閉戰午後五時

雜觀

【奉天特電十九日發】グラウンドの仕上げが充分でなく支那側は試合の直前になつてラインを引き直す等の醜態を暴露したが、日本側委員の必死の努力で無事に會を開くことが出來た▲しかし何分トラック、フイルド共にコンデイション惡く僅に二百米でウヒマンが、二十一秒六の日本對記錄を出しただけである▲この調子で恐らく明日も世界記錄は到底望めないのではあるまいか▲今日のレースで面白かつたのは五千米と二百米とで、五千米では北本は遂にものすごいラストスパートで勝ち、二百米では問題の劉長春支那選手が多少のフライングぎみのスタートながら最初の百米をリードした時には、學良氏も伸び上つてこれを眺めてゐた▲旅順中學校の最上少年が走高跳で一米八〇を一回で跳んだのは何と云つてもファインテングスピリツトのたまものであつた▲フイルドにはごた〳〵と支那役員が澤山入り込んでゐたのはまつたく見苦しい感じがしたが、カーキ色の正服に身を固めた支那少年少女團が甲斐々々しく働いてゐるのが目に立つた▲今日の競技にドイツ選手は走高跳五千米は一名他の三種目は二名出場し日本側は內地一名（三段跳は滿洲のみ）滿洲二名、支那側は二百米の他は四名出場した

人見女子講演

【奉天特電十九日發】十九日午前十時から奉天女學校で生徒に講演した人見絹枝選手は、午後七時三十分より張學良氏經營の同澤女子中學校々堂に於て女子陸上競技について生徒に講演を行ふ筈

けふ電園下で 馬術大會
昨日鮮かな宣傳騎乘

けふ電園下廣場に於て擧行の第二回全滿馬術大會の宣傳騎乘は昨十九日午後三時から豫定の如く大連乘馬俱樂部員、憲兵隊、陸軍側參加將校其他有志多數參集、大江町滿鐵廣場より大廣場・大連神社、忠靈塔、常盤橋、西廣場、伊勢町日本橋、大山通、山縣通、港橋、大江町の順路で秋晴れの街路に蹄鐵の音勇ましく市中を行進したが總勢五十騎で其內南卯之助（六〇）翁氏や今若滿男（十六）少年、中西ツヤ子孃などの紋士人なく殺下馬なき巧妙なる騎乘行進ぶりは頗る路傍の衆目を惹いた

國際大運動場 愈よ奉天に作る
工費十八萬圓を計上

【奉天特電十九日發】滿鐵總裁の更迭によつて一時は立消えになりはしないかと氣遣はれた當地千代田公園南端に國際大運動場設置の計畫は其後引續き關係者によつて之が實現促進方運動中の處、此程開かれた滿鐵重役會議で愈々工費十八萬圓の豫算を計上し明年の解氷期を待つて工事に着手し同年中に之完成することに決定した、之につき太田地方事務所長は未だ當所に何とも通知が無いので何ともいはれぬが愈實現するとすれば此上もない喜ばしいことであると語つた

て二時には既に場內一ぱい溢れ出る騷ぎ、二時半高木社會部員の簡單な開會の辭に次ぎ、紅葉の樣な手でうたれる波の樣な拍手に迎へられ水谷まさ子氏が「王子と乞食の子」といふ興味盡きない童話を身振り、面白く約三十分に亘つて語り、次で青い鳥小供の會、大連音樂學校生徒等の舞踊山と海、おさるさん等數種及び教育映畫を見せ滿堂の子供等をすつかり有頂天にさせ五時散會

今日のラグビー戰

本二十日大連運動場に於て擧行の全滿ラグビー選手權州內豫選試合時間は育成對大商正午十二時、工大對工專午後二時半に變更された

院賞と推薦 十九日發表

【東京十九日發電】本年度帝國美術院賞及び推薦は十九日午後三時左の如く發表した

△院賞 平福盛（日本畫）松岡映丘、海（洋畫）前田寬治

△推薦（彫刻）山根八春、澤田寅、（工藝）佐々木象堂、杉田禾堂、高村豐周、山本安曇

暴行議員に 判決言渡し
孰れも罰金刑

【東京十九日發電】第五十二議會に於ける暴行代議士政友會の松岡俊三ほか三氏に係る公務執行妨害並に傷害の控訴事件は東京控訴院で審理中のところ、十九日午前十一時半池田裁判長より左の如く言渡しあつた

罰金二百圓　松岡俊三（前審罰金二百圓）

罰金二百圓　海原清平（前審罰金三百圓）

罰金百圓　坂井大輔（前審懲役三月、一年執行猶豫）

罰金百圓　灘波正人（前審懲役三月、一年執行猶豫）

なほ近藤達兒氏は傷害罪として罰金五十圓を言ひ渡され訴訟中であつたが民政黨より告訴を取下げられたものである

協和會館の 兒童デー
非常な盛況

兒童デー第一日目は十九日午後二時半より協和會館に於て開催された、土曜日といふので晝過ぎより續々各方面より子供等が集つて來

秋田前遞信次 官召喚取調べ
京電疑獄事件

【東京十九日發電】永らく噂されてゐた秋田前遞信次官の召喚は十八日夕刻愈々實現し檢事局に召喚取り調べの上へ歸宅を許された

『色氣の虫を取つて吳れ』 半裸體で騷ぐ男
薄化粧の媚めかしいお洒落女
狂亂の人の秋は悲し

◇…街に秋風が渡るころ、魂を失える者の狂つた笑ひがカラ〳〵と高鳴る……來る日も來る日も、彼等の前には千切れ〳〵になつたフイルムの樣な生活がもる許りだ慈惠病院伏見臺分院の赤い煉瓦がこの世と彼等の世界を完全に別々なものにしてゐる、狂つた魂の人々にはわづらわしい實職問題もなければ減俸の憂目も無い

◇…誰もが多少伴ふ誇大妄想狂が、皆を喊ひは彼等仲間の女王となり又は大統領を氣取りたがらせそばの見る目にはむしろいじらしいくらゐ「色氣の虫を取つてくれ」と半裸體で騷ぎ廻る四十男の狂つた一ページ、朝な夕な鏡の前で薄化粧のなまめかしいおしやれ狂女それ等が笑ひ、泣き、叫び、喜び何等の連絡のない日が送られてゐるのである、彼等の狂ふまでの經緯を尋ねて見る事も又徒事ではあるまい。

◇…矢張りバイドクから、すよ梅毒性麻痺狂と云ふ奴ですね若い時の不身持から受けた病毒が十年二十年後に腦に現れるのです、こうなつては六〇六號をいくら注射しても駄目ですよ、だからこの病氣は概して壯年期の者が多い樣です、それに次に多いのが早發性痴呆性、これも矢張り遺傳的な梅毒なんかが影響してゐるんですね

◇…發作的に狂ひ廻つたり、恐がつたりする奴です、これ等の中には奔馬的に急激にくるものもありますが概して五年、十年の潜伏期を經て出てくるものですこれは專ら治療に當つてゐる岩島慈惠病院長の話

◇…グルリと院內を一廻りするこの秋口にかゝつて增えて今入院患者卅四名、そのうち十四名が女古い患者で大正十年から居るのが居る、現代の醫學ではまだ治療し得ぬ「狂つた病」この悲慘な運命を擔はされた彼等に與へる唯一の慰籍は何か？「たゞ自由に好きな事をさせるだけですね、藥で治る病氣じやありませんよ」可哀そうに洞ろな瞳が幾つかぼんやり光つてゐる

◇…秋風が立つてヒシ〳〵寒さを感ずる時、この世の外なる彼等の世界に目を通し外に飛び出すと颯と冷たくりの北風が頰を掠めて通り過ぎた

物騷な藥商
大連署で告發

大連愛宕町二八太田久治かた無職谷嶋治郞吉（六二）は昨年十月ごろからその筋の許可なく桑の根、梔の根、南天の根を黑燒きにし馬と偽の油で練つたと稱し萬病の藥と偽り危險極まりない藥品？を調製しこれを岩代町眼鏡店正眼堂ほか十八戶に販賣し價格四十四圓を取得したほかその筋の眼を掠め浪速町一〇一龍田ツルほか十三名の患者に對し桑の葉と鬼灯の根を煎じて飲ませ灸治に從事し料金九十七圓の利益を得た事發覺、十九日大連署衞生係より賣藥營業規則違反並に鍼灸取締規則違反で告發された

なほ收容中の田中京都電燈社長、鹿山、野澤三氏は保釋されたが、秋田氏に四十萬圓收賄の證據はなく事件は龍頭蛇尾に終る模樣である

世帶道具と嫁入道具
移轉三周年記念大賣出し
全商品大整理
十月二十一日二十二日二十三日二十四日
三割引 半額 大特價
浪速町 丸石洋行 電話三三一〇番

電鐵事務所移轉

從來敷島廣場にあつた滿電電鐵課事務所は這般常盤橋畔に竣成した自動車ビルの階上に二十一日から移轉することになつた

解剖追弔法要

大連醫院では十九日午後二時半より西本願寺別院に於て解剖故人追弔法要を執行したが、大連醫院創まつて以來解剖に附せられた延數八百九十餘の內、過去一年間の分二十體の遺族其他關係各方面よりの來賓を初め、醫院側職員看護婦等多數參列者あり衆僧の讀經裡に遺族より參列者一同順次燒香し三時前法要を終つた

果實料理講習會

滿鐵社會課では陸軍糧秣本廠囑託滿田百三氏を招聘したのを機會に滿洲農事協會と共同主催で二十一日午前九時より市內播磨町滿鐵家庭研究所に於て左記により果實料理講習會を開催し一般家庭の婦人のため趣味と實益を兼ねた果實料理を普及するとなほ當日は特に苹果を廉價にて即賣

▲滿洲のりんご　滿鐵熊岳城農事試驗場長渡邊柳藏氏▲果實の營養法　陸軍糧秣本廠囑託滿田百三氏▲りんごの料理　同上

修養講演會

修養團滿洲聯合會の招聘で來連した元鳥取高等女學校長神職上地直永氏は滿洲各地の巡廻講演に先だち大連にて左記日割で講演すると

十八日午後七時半沙河口滿鐵俱樂部▲二十日午後七時常安寺▲二十一日午後七時嶺前小學校

山本選手嚴父

實業團野球選手山本榮一郞氏の嚴父松三郞氏（六七）は病氣中のところ十八日夜自宅に於て死去した、葬儀は十九日午後四時明照寺に於て執行

果實料理開業

市內正隆銀行前果物店青葉では大連で初めての試みとしてフルーツ、パラーを開業したが好評嘖々である

大連圖書館休館

藏書整理並曝書のため二十一日より二十七日迄七日間休館すると

井元商行の大投賣　開店二十年來始めその在庫品整理大投賣を廿日より卅一日迄

山內履物店の開店披露　業務擴張の爲浪速町三丁目元北野文具店跡に支店を開設記念賣出をすると

けふのラヂオ

昭和四年十月二十日（日曜日）

自午後〇時三十分　ニュース

自午後三時三十分　ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、義太夫伽羅先代萩御殿之段　太夫越野かなめ、三味線豐澤住次

三、講話飛行漫談　麥田平雄

四、尺八獨奏都山流本曲木枯　草崎主山

五、淸元明烏花濡衣（下）　彈語り淸元壽美子

六、支那唱定軍山　唱劉金鳳、師付王振泉

七、料理獻立

八、天氣豫報

祖父王克謙字益芝義本月十四日午後六時病死致候に付此段辱知諸彥に謹告し且生前の御厚誼を感謝致し候　敬具

追て本年十一月十九日金州城內南街四百八十四番地自宅に於て告別式二十一日葬儀執行可致候

孫　王澐賢　王滂賢　王漹賢　王浘尙　王彥世　曹德官
親族總代　霍右洋　大望也　岩鐵公
友人總代　袁筋德　張槑間　閻實金仙

愛慾の窓（133）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

謎（三）

やがて公判廷の開かれる日は来た。

その日はからりと晴れた珍しく温かい日和で、小春日和がまた返つてきたかと思はれるやうな、そして被告草野久彦の青天白日を約束するかのやうな、そんな好い日和であつた。

傍聴席は、事件が事件だけに、満員であつた。自分を棄て去つた戀人の結婚の當夜、その戀人の兄を帝國ホテルで殺害したといふ被告は、どんな人間であらうか？そして彼は法廷でどういふ陳述をするであらうか人々の好奇心が極度に唆られたのも偶然ではなかつた。で、引ぱされてきた久彦の姿に、傍聴人の視線は降りそゝがれた。好奇的な、或ひは軽蔑的な、或ひは憎悪に燃えて、或ひは憐みに滿ちて、傍聴人の眼は、久彦の意外に明るい顔に注がれた。

久彦は、全く朗かな顔色で、微笑をすらその唇邊には浮べてゐるのだつた。窶やつれはしてゐたけれども、彼の顔の何處にも、忌まはるべき犯罪を犯してした人の心の暗い影といふものが射してはゐなかつた。彼は少しもみだれない調子で檢事の訊問に應答した。彼は豫審の供述を、この公判廷では飜覆しまつた。斷じて自分は友永を殺した犯人ではないと主張した。

公判廷は色めき立つた。

さまざまな事情から、被告が豫審の供述を覆へすといふ事實は屢々起ることであるが、しかし久彦の場合は、誰も豫期してはゐなかつた。その上被告久彦の陳述には何の澱みもない。そこに犯した罪に對する良心の咎めもなければ、科せられようとする罰に對する怖れもなく、彼はたゞ素然な事實をありのまゝに述べてゐるに過ぎないやうに見えた。

「……では、何故に被告は身に覚えのない罪を認めたのであるか！被告は、警察當局の検べに際してあくまで身の潔白を主張すべきではなかつたか？今となつて、豫審を無視する如き行動に出た被告の心事は甚だ解しがたい」

と、検事は苛立しい調子で、光らせた眼鏡の藍から、被告席の久彦の顔をぢつと睨みおろした。

「……警察當局は、状況調査の上から、わたくしを犯人だといふ先入觀念を以て、お調べになつたやうでしたから、わたくしはわざとその誘導訊問のまゝに、犯人になつたのでした。わたしはあの場合警察のお調べに對して、何の辯解も無駄だといふことを觀念しなければなりませんでしたから……たゞ、わたしは一日も早く公判廷が開かれんことを望んでゐるのです！」

久彦は檢事の顔を振り仰ぎながら、おちついた聲で答へた。

第一回の公判は、劈頭被告の犯罪事實の否認から二三の押問答が行はれたのち、次回公判には、參考人として倭文子の良人小森英輔が召喚されることゝなつて、存外呆氣なく閉廷されてしまつた。尤も開廷劈頭から被告が豫審を全く根底から覆へすやうな陳述をした場合、裁判長は手際よく閉廷して次の機會に審理を譲るのが普通であるが。

傍聴席には、不満な色が溢れてゐた。被告としての久彦も、なほ充分な審理を欲してゐたのだけれども、閉廷を宣された以上は已むを得なかつた。彼は廷丁に曳かれて法廷を出た。

と、動きはじめた傍聴席のなかに、彼は思ひ掛けない人の顔を見出して、瞬間、棒立ちになつた。

――あゝ！実知子さんだ！

実知子の白い顔が、ぢつと久彦の方を向いてゐたのである。その黒い眸が、動かず自分の方に据ゑられてゐるのを、久彦に被せられてゐる深編笠のなかではつきりと見た。

「……早く歩くんだ！」

廷丁は低く険しく久彦の耳元で囁くと、彼の胳膊を小突いた。久彦はよろめいた。すると涙がじわじわと瞼の裏を熱くしてきた。

――人ちがひか知ら？いゝや、確にあの人だ！生きてゐてくれたんだ、あの人は死にはしなかつた

彼は肚の底で呟いた。熱い涙が、糸を曳いてこぼれてきた。

新刊紹介

▲鐵道功罪物語（松村金助氏著）叢略―利權―疑獄―小川前鐵相が収監せられてから我國民の眼は等しく鐵道に集中された鐵道省は伏魔殿なるかの如く見らるゝに至つた、が鐵道を知り鐵道政策を論つてゐる日本人は極めて少く一般のものは該事件のみを興味を以て眺めてゐるに過ぎない、鐵道に關する無知識と無關心が斯の如き世界に恥をさらす事件を生んだのである我輩人はよろしく本書によつて鐵道及び交通政策に關して必要な常識を得て置くがよいと思ふ、鐵道の話といへば堅さうに感ぜられるが本書は極めて通俗的に又興味本位に書いてある處に特色がある尚満蒙鐵道に關するのも收めてあり吾等の參考となる點が少くない（定價金二圓、東京市日本橋區呉服町二丁ー大阪屋號書店發行）

▲幼年倶樂部（十一月號）相變らず美しく面白くためになり、二つの素敵な附録もあつて幼年諸君にはこれほど喜ばれる雜誌はあるまい（定價金四十錢東京市本郷區駒込坂下町四八大日本雄辯會講談社發行）

▲我等（十一月號）如是閑の「戰爭の生物學的價値」其他（定價金三十錢、東京市外中野上の原九三七我等社發行）

▲共存（十月號）定價金二十五錢東京府豊多摩郡大久保百人町三一ー十新日本協會發行

▲刀劍と歴史（十月號）定價金五十錢、東京・雜谷町荒木一番地杉浮文庫發行

▲中央佛教（十月號）洞宗異安心問題に對する宗務議員の意見其他（定價金三十五錢東京市牛込區矢來町五七中央佛教社發行）

▲海紅（創刊號）新しい俳句、文藝雜誌、拉曹、露風、軍太郎、碧三、信之、草公、白夜諸氏執筆（定價金三十錢、西宮市[illegible]四七二番海紅社發行）

夕刊　滿洲日報　十月十九日
發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社

減俸累進率を按配して薄給官吏の犠牲輕減

藏相、法制局長官の手許にて勅令の改正案を作成

【東京十九日發電】官吏減俸に就いては十八日の閣議で最低標準を變更せずに累進率を按配して薄給官吏の犠牲を輕からしめるに決し具體案作成を井上藏相、川崎法制局長官に一任したので、川崎長官は十八日午後六時井上藏相を訪問協議した、政府は既に發表した案が意外の波瀾を及ぼせるに鑑み新案を決定の意嚮で井上、川崎兩氏は勅令改正案作成を急ぎ、出來次第二十二日の閣議に附議同時に江木鐵相の新案をも參考案として附議することゝなつた

江木鐵相の緩和案

【東京十九日發電】官吏減俸緩和策として江木鐵相は私案として減俸率は最低千四百圓以上の者は三分五厘位ゐとし最高二割までの累進率とするを妥當なりとして研究してゐる、此結果來月の閣議までに案を得て決定の方針であると

與黨が政府に警告　政調總會で論議の結果

【東京十九日發電】民政黨は十八日午後二時本部に政務調査總會を開き富田幹事長から米價問題につき陳情報告の後減俸問題につき三宅磐氏から

官吏の減俸は他に方法あるべきに與黨の意見を徵せず發表せるは不都合である世論に鑑みて撤回すべし

と反對し顯川光行氏は財界立て直しの上より必要ありと議論沸騰し增田會長より

未だ確定せぬ事であり詳細報告ある迄は議論は愼しまれ度し

と述べ山桝儀重氏の反對あり更に土屋、栗原兩氏の贊成意見、三宅、松村、佐竹三氏の撤回說に對し高木(正)横山氏の内容修正說ありて一致するに至らず結局增田會長から

本日闘はされた贊否兩論を緩和策としての内容修正及び與黨の意見を徵せずして發表せるは不都合である、今後斯かる事なき様與黨を尊重され度い

との旨を政府に警告的宣言をなすことに決定し午後六時散會した

在鮮判任官も反對　各植民地奉職者に飛檄

【京城特電十九日發】減俸問題に關し朝鮮官界は動搖し各方面において寄々協議の模樣であるが、總督府においては十九日朝十一時第二食堂に集合せる判任官二百名により左の決議文を發表し減俸反對の第一聲を揚げた

朝鮮在職官吏に對する本俸並びに加俸の減額は吾人の生活根柢を脅やかすものにして到底忍ぶ能はず、依つて絕對反對す

右決議す　朝鮮總督府判任官一同

右決議文は直に濱口首相、松田拓相、井上藏相、鈴木翰長及び上京中の兒玉政務總監、草間財務局長に打電する一方、臺灣、樺太、關東廳、南洋廳等各植民地官廳に打電し、更に本府にありては齋藤總督各局部長に對し右決議文を提出し陳情する處あつた

樞府、貴族院側　成行を重大視す　或は政府に警告せん

【東京十九日發電】減俸問題に對して全國判檢事の間に反對氣勢漸次昂まりつゝあるに關し樞府方面にては異常の緊張味を以て其成行を重視しつゝあり場合に依つては政府に對し警告を發せんとするが如き模樣すら見ゆるに至つてゐるが、本問題は獨り判檢事の問題に止まらず一般行政官並びに教育界方面にも一大動搖を來たさんとするが如き傾向顯著となり來つてゐる事は事實で、而も政府は既に撤回の機を逸し其威信上よりも撤回は不可能と見られ事態は最早取り返しの附かぬ重大事となるものと見られるとて非常に憂慮し重大視してゐるが、一方貴族院方面の政府に同情を有する人達は事此處に至つた以上最後の解決案として俸給令改正案を樞府に諮詢し最後の決定をなす旨を聲明し速かに樞府に廻附し其當否の責任を回避する事を政府に進言すべしとて寄々協議中である

總辭職を覺悟し　檢事團態度强硬　判事側も呼應せん

【東京十九日發電】東京地方、區裁判所檢事局の檢事約五十名は十八日午後六時より區裁判所三階會議室に會合松坂次席檢事座長席に着き先づ同檢事が十八日檢事總長と面會檢事局の意思を傳へた事及び渡邊法相より檢事總長に回答あつた內容を詳細報告續いて各檢事交々起ち所信を述ぶる處あつた、演說は何れも激越なる調子を以て爲されその度に拍手起る等檢事局空前の爭議氣分を現はし所信貫徹せざれば總辭職を爲すの空氣あり午後八時四十分散會した、一方之に呼應して東京地方裁判所判事百四十八名も十九日午後三時より判事總會を開き一大運動を爲さんとしてゐる

政友會は形勢觀望

【東京十九日發電】政友會では十八日午後一時二十分から本部に幹部會を開き犬養總裁以下床次氏其他幹部出席減俸問題につき意見交換の結果

政府の拔打的の減俸發表は俸給生活者に非常な不安を與へたのみならず一般社會を異常に脅威せしめてゐる、我黨は此際政府の反省を求むると共に今暫く事態を靜かに注視する必要がある

と云ふに意見一致し午後二時半散會した

減俸問題と關東廳

判任以下の大恐慌　拓務、大藏當局に諒解を求めん　上京せる西山財務部長談

本年度豫算より十三萬餘圓、實行豫算より約百十萬圓の膨脹となる明五年度關東廳豫算に就いて拓務省や大藏省に折衝の重任を帶びて十九日東上した西山財務部長は減俸問題を中心に明年度豫算要求に關して語る

豫算は減俸前豫算に決定したので現在俸給を基準として扱ひ、俸給が六百五十萬圓、加俸が三百五十萬圓總計約

一千萬圓 程度であるが減俸令に依る豫算の變更は當然ある、俸給加俸を通じて豫算節約額は二百萬圓近くに上らう、減俸の主旨は尤もなことです、殊に官廳は民に範を垂るゝ意味から率先して行ふのが至當ではあるがそれも程度や土地柄等もよく考慮された上のことでなければ問題だと思ふ關東州や滿洲を內地同一に見るのは無理な點が多い

物價は下 つたといつても今回の減俸を行ふ程度まではない、殊に御承知の樣に老人や子弟の關係で家庭を內地と任地の兩地に置いたり、氣候や風土關係では屢々病氣に罹り娛樂設備等は未だなつて居らず、それに鄕里に不幸なぞがあれば二三年も苦勞して稼いだ貯金が一遍で飛んでしまふとか又對外的面上から服裝其他も內地同樣では不可ない場合もあり海外に住居んでゐれば兎に角目に見えぬ出費が非常に多く就中判任以下の

加俸半減 等は早速生活上の一大恐慌を來すことゝなるので此等の點につき充分諒解を求める積りである

關東廳の豫算も緊縮方針で編成　太田長官門司で語る

【門司特電十八日發】太田關東長官はうらる丸で今朝七時半門司に着いて語る

今度は豫算に關し約二十日間の豫定で上京する、豫算は本年實行豫算と

大差なく 少し增加して二千四百萬圓前後である、勿論緊縮方針で編成してあるが自分は管內視察の結果警察力充實の急なるを感じたので二百名の警官增員の爲め三十萬圓の警察費を增額した關東州に工業其他產業を奬勵發達させたいと思つてゐる、鹽業の研究費二十萬圓も明年度に計上してあるがやりたい仕事はかなりある、まあ

一ケ年の 日月を借して貰つたら其緒につくつもりである張學良氏にも三四回會つたが將來有望な人物と感心した、支那現下の形勢に對して彼がぢつとして居ることは賢明な處置である、奉天票の下落は氣の毒である、東三省幣制確立に對しては政治經濟の基礎が確立さへすれば援助してやりたいと思つてゐる、新聞によると減俸令に對し本家本元がぐらついてゐるやうだがそれは曾つて日淸戰爭前

軍艦を造 る爲め官吏の減俸を行つたことがある、それと同じく政府には云はれぬ辛いこともあるであらう、國有財產法が實施されると關東廳の特別會計の財產一億五千萬圓は長官の統轄に歸しその異動處分の權限が與へられることになる、財產の主なるものは土地であるが權限を與へらるゝだけ我々の責任は重大である、吾々は總て國家本位で公明正大にやらう、滿鐵の土木、衞生、敎育の事業を關東廳に移管することは理想論で容易でない

同長官は直ちに神戶に赴き上京すると

我軍縮全權出發期

來月末橫濱を出帆渡英　若槻全權は途中米大統領訪問

【東京十九日發電】軍縮會議出席の若槻、財部兩全權並に其隨員一行は來る十一月三十日橫濱出帆のサイベリヤ丸でアメリカ經由渡英に決した、なほ一部の隨員は十一月十八日鹿島丸で印度洋經由渡英の筈、又若槻全權等はアメリカにてフーヴアー大統領と會見することになつてゐる

英政府わが回答文發表

【ロンドン十八日發電】英國の軍縮會議招請狀に對する日本の回答全文は十八日午後英國政府から發表された

米首席全權ス國務長官

【ワシントン十八日發電】アメリカ國務長官スチムソン氏がロンドン會議にアメリカ首席全權たるは動かぬ處であるが他の全權に就いては未だ嚴秘に附せられてゐる

濱口首相に黨の希望通告

【東京十九日發電】減俸問題に關し民政黨の增田政務調査特別委員會副會長は十八日閣議散會後濱口首相を訪問し同會の模樣を報告し黨の希望につき考慮を求むる處あつた

國內有力軍隊は總て中央を支持

國民政府天下に聲明

【南京十八日發電】國民政府は本日左の如き通電をした

國民政府は戰禍のため困苦せる人民を救ひ疲弊せる商工業を濟ふべく編遣をなし百六十師の軍隊を八十師に半減したが一部の誤解より今回西北軍隊の內亂を見たのは遺憾である、併し國內有力な軍隊は總て中央を支持し張學良、閻錫山、兩互頭も既に中央支持を表明してゐる、失意の政客が軍人と結び事を起さんとすることは今後も有らんも國民政府の地盤磐石の重きに在るを茲に聲明す

河南西部に於ける兩軍の戰機熟す

中央飛行機盛んに爆彈を投下　兩軍の勢力は相伯仲

【南京十八日發電】河南西部に於ける政府、西北兩軍の戰機熟し近く大會戰起る形勢となつた、政府軍は開封、許昌、禹州を結ぶ戰線を張り中央飛行隊は十七日來孫軍の後方洛陽の上空を飛び盛に爆彈を投下しつゝある兩軍の勢力は五分々々である

閻氏の和平通電　二つの交換條件によつて速かに停戰を勸告

【上海十八日發電】閻錫山氏の和平通電發表は一兩日遲れるらしいが、內容の大意は、軍政期から訓政期に入つた支那が又復血腥さい同志討をする事は內人民を苦め、外列國の信用を失ふのみ、兩軍は速かに矛を戢めよ西北軍は中央に絕對服從して中央の命を待つべし又中央は西北四省の災害救濟に適當の處置を講じ西北軍隊に對して相當の軍費食糧を支給すべし兩軍は右二つの交換條件に依りて停戰せん事を茲に勸告す

對西北軍總攻擊令　蔣氏漢口着後

【北平十九日發電】蔣介石氏は二十日漢口着廿一日西北軍總攻擊令を發すべしと

陳氏中央軍の總司令に

【南京十八日發電】向背を疑はれてゐた陳調元氏は本日午前十時南京に蔣介石氏を訪問三時間に亘り密談を重ねた結果、陳調元氏は飽くまで中央忠誠を守り後方豫備隊總司令に就任し十九日發山東に歸ることゝなつた、尙蔣介石氏の漢口行は陳調元氏の來京と蕪湖の兵變で延期されたが、二十日軍官學校生徒八百、手兵三千を隨へ赴漢し氏自ら督戰することゝなつた蕪湖に對しては浦口に在つた方策軍の一部約二千と軍艦三隻を本日正午急派した

死か前進か　孫良誠氏激勵

【北平十八日發電】西北軍の出足早く各方面脅威の的となつてゐるが、同軍兵士の大部分は河南が鄕里であり其一部が山東直隸であるから彼等は故鄕へ〳〵と叫んで前進し殊に總指揮孫良誠氏は全軍の出動に際し「我等は餓死するか、然らずんば前進の二途有るのみ」と激勵したと

對支强硬政策を勞農側中止せず　ドイツの提議を拒絕

【モスクワ十八日發電】ロシア政府はドイツがロシアに對し露支兩國間の紛爭に關し兩國が取りつゝある强硬政策を中止せんことを提議したるに對し其提議を拒絕する旨の回答を發した

市議の補缺選擧　明年五月頃執行せん

大連市會では市議副島善文氏の死去により現在四名の缺員があり前例に徵するも結局補缺選擧を行はねばならぬが市役所としては戶籍係新設準備に着手してゐる折戶籍事務を整ふる上より見るも經費節約となるので直に選擧執行準備に取掛り明年五月頃行ふべく準備を進める模樣である因に經費は八千餘圓を要し近く市會の協贊を求むることゝならう

戶籍係新設準備費

大連市役所の戶籍係新設準備費は七千圓を充つる案を樹てたが、その內譯は次の通りである

▲二千四百圓(人件費吏員六名)▲三百圓(備品)▲千百圓(消耗費)▲三千圓(通信費)▲二百圓(雜費)

▲大阪市實業組合聯合組合員一行山中俊盛氏外二十一名　同上內地へ
▲熊本縣立菊地農業學校生徒一行三十名　楪俣敎諭引率の下に同上
▲津上善七氏(日滿通信社長)同上
▲米山久馬氏(陸軍輜重兵少佐)同上
▲陸軍輸送患者四十五名　尾坂軍醫引率の下に同上
▲西山左內氏(關東廳財務部長)文子夫人同伴同上
▲楊井勇三氏(正隆監査役)　本支店業務視察のため十七日來連、十日中旬歸京の豫定

人事

▲光永眞三氏(日本電報營業部長)山口毅氏(同社地方課長)目下北滿視察中の處、來る二十九日午後零時半熊岳城より滿連の豫定
▲宮崎縣々會議員一行七名　十九日出帆のほんこん丸にて離連

關東廳辭令(十八日附)

關東廳中學校敎諭　細萱倉三
任關東廳中學校敎諭　敍高等官六等六級俸下賜　大連第二中學校勤務を命ず
關東廳中學校敎諭兼關東廳高等女學校敎諭　從七位　山岸榮三郎
任關東廳中學校敎諭　敍高等官七等七級俸下賜　大連第一中學校勤務を命ず
關東廳高等女學校敎諭　高尾頼信
任關東廳高等女學校敎諭　敍高等官七等八級俸下賜　旅順第二中學校勤務を命ず
關東廳高等女學校敎諭　伊佐逸
任關東廳高等女學校敎諭　敍高等官七等八級俸下賜　大連神明高等女學校勤務を命ず

大觀小觀

故人となつた王永江氏の老父、王克讓翁が死んだ。

◇

この人にして、この子ありと、いはれるほどの立派な人格者であつた。が、寄る年波には勝てず死んだ。

◇

蔣馮の確執、いよ〳〵露骨となり、兩派から閻錫山の口說き落しに全力をあげてゐる。

◇

キヤスチングヴオートを握つた形にある閻、濕には都合のよいことをいひ、蔣に對しては、中央擁護であるやうな素振りを見せる。

◇

が、結局、いろ〳〵なものを左右の皿に載せ、そして重い方に向つて洞ケ峠を降ることだけは確實である。そこに誤りがあるか、ないかは別。

◇

それにしても「國民政府の基礎は磐石の如く重し」といふに至つては、支那の新舊軍閥が、抽象的の觀念で、蝸牛角上の闘爭に浮身してゐることを思はしめられる。

齋藤、小日山兩理事留任

仙石總裁、松田拓相懇談の結果　滿鐵重役の異動了る

【東京十九日發電】仙石滿鐵總裁は十八日午後三時松田拓相を訪ひ赴任の挨拶をなすと共に滿鐵人事につき懇談したが、小日山、齋藤兩理事は留任に決定之にて滿鐵の重役異動は終了した譯である

仙石總裁外相に赴任挨拶

【東京十九日發電】仙石滿鐵總裁は今朝十一時外務省に幣原外相を訪ひ赴任の挨拶をなした

中谷局長沿線視察

中谷警務局長は左記日程にて金州、瓦房店、奉天各地を視察する由
△十九日九時四十分旅順發同十一時二十六分金州着二十三時發
△二十日八時三十分奉天着奉天署移廳式臨席二十一日七時十五分發
△十四時二十五分瓦房店着十六時二十分發
△十九時四十五

米穀檢査の補助金

分關旅

先般來在奉天の全滿米穀同業組合より申請中の同組合檢査事業費補助金は今般二千圓を下附することに認可があつた

天氣豫報

(二十日)北西の風晴れ一時曇り
日出　六、〇七　日沒　五、一〇
滿潮　午前　一一、〇五　午後　一一、二〇
干潮　午前　五、〇五　午後　五、一〇

秋晴れの北陵運動場に盛んな日獨支競技入場式

張學良氏奏樂裡に來場して八百米に火蓋切る

【奉天特電十九日發】日獨支對抗競技大會の當日たるけふ十九日の奉天には滿洲特有の冷たい風が吹いて來るが、風力は弱く滿洲晴れして絶好の運動日和である、在滿邦人は勿論、各國人より永い間大きな期待をかけられてゐた張學良氏主催の日支獨競技は本日より開催される事となつた、グラウンドは未だ完成を見ずスタンドも一部しか出來上つてはゐないがトラックの堅さは惡くはない、熱心な觀衆は十時ごろより會場めがけて續々とつめかけ、日本人側一千名の固定席は正午までに大半を埋める有樣であつた、正午過ぎるころ各學校の應援團が入場し、支那軍樂隊もスタンドの中央に控へた役員一同は日本側を先頭に入場して最後の準備にとりかゝつた、メインスタンドの中央入口には支那側少年團、軍隊及び巡警等が堵列して張學良氏の來場を待ちかまへて居る、ドイツ領事デリッケ氏は既に正面貴賓席に姿を現はし、滿鐵齋藤理事、小倉同社會課長も姿を見せて居た、十二時四十五分日支獨選手が急霰の如き拍手をあびて入場し、互に輕いウオーミングアップをなした、同五十分ごろ張學良氏便衣隊が入場し嚴重な警戒が場内に行はれる、と同時に張學良氏は部下を伴ひ軍樂隊の吹奏裡に入場した、一時四十分ドイツ國旗を先頭にして日獨支選手の入場式は行はれ、東北大學副校長臨風竹氏の開會の辭、張學良氏の歡迎の辭あつていよく晴れの競技大會の幕は八百米競技により切つて落された

原田、青木のダブルスは昨日の殘り第四セットを七對五で日本勝ち結局シングル、ダブルを通じて四對二にて日本快勝、續いてエキジビションゲームに移つたがスコアー左の如し

原田	六―三 八―一〇 六―三	ローデル	
牧野	六―四 四―六 八―六	ランドリー	
コーシエ ブルニヨン	六―三 七―五 六―二	清水 福田	

全滿ラグビー組合せ決定

決勝戰は來月三日

全滿洲ラグビー選手權大會は既報の如く廿日午後一時より大連運動場に於ける州内豫選(育成對大連商業、實業對工大)を皮切りとして廿七日、十一月三日の三日間に亘つて行はれるが、その日時試合順序等は左の通りである

◇州内豫選 十月廿日午後一時育成對大商(決勝)同同二時半大倶(實業)對工大、同廿七日午前十時廿日の勝者對滿鐵、同同十一時半、千歳對工專、同午後三時半決勝

◇全滿決勝戰 十一月三日午後一時半、中等學校決勝戰、同午後三時、一般決勝戰

日佛庭球

日本側勝つ

【東京特電十八日發】日佛庭球試合第三日は十八日午後零時半より三年町コートに於て擧行、前日日沒中止のランドリー、ローデル對

ゆふべ呉越同舟で着奉の日獨選手

寫眞(上)は日本側内地選手(下)は在奉ドイツ人から花束をうける獨選手總監督テーム博士(中央)とその一行(いづれも奉天驛にて)

貨物拔取被害で苦情が多い

水上署が近く關係者と共に調査と防止方法協議

最近大連廻りの貨物の拔取りが多く阪神に於ける被害者より大連水上署あてに頻々と苦情を訴へて來る、這般廣島市高瀬町三一八食料品卸賣商丸金商會より申出た書面によれば同店は北海道、臺灣、滿洲各地に罐詰その他食料品を送つてゐるが、大連經由滿洲仕向けの貨物に拔荷が最も多く甚だしきは中味が十分の四位拔取られてゐることあり、特に本年三月以降の被害が夥だしいからよろしくお取調べが願ひたいとあり水上署でも數日中に埠頭構内係員、鐵道事務所驛貨物係ほか各關係者に通知し相集つて右實情調査及び防止方法に就いて協議すると

出場延べ人員五百餘 壯觀を極めよう

愈よあす電園下で擧行される 第二回全滿馬術大會

滿鐵馬術部主催、本社後援の第二回全滿馬術大會はいよく二十日午前八時半より電園下廣場で開催されるが、出場申込みは

▲團體=金州種馬場、公主嶺農事試驗場、旅順工科大學、福島乘馬會、關東軍調教班、金州在郷軍人分會、滿鐵經理部、昌和乘馬會、滿鐵馬術會

▲個人=大連各警察署、憲兵分隊工業專門、奉天醫大、滿鐵、競馬倶樂部、消防隊

を初め市内からの參加者も頗る多く長春、公主嶺、鐵嶺、熊岳城、旅順、金州等の遠隔地からも出場し團體、個人を合した延人員五百二十名といふ

盛況さ で馬術大會としては大連最初の壯觀を呈するであらう、殊に當日呼物の餘興たる琴平廻り、蛇乘、馬裝、毬入、鯉の瀧登り、卷乘、旗取、首突中潛、旗藝、夫婦競走といつた競技は落馬や滑稽が百出して一般觀衆に少からぬ興味をそゝるべく、高等馬術は公主嶺騎兵聯隊の矢野、長瀬兩中尉が騎乘することになつてゐるが、鮮かな兩中尉の乘馬振りは恐らく觀衆の血を湧かさずには置くまい、出場馬は公主嶺騎兵、海城野砲兵の軍馬二十四頭、滿鐵馬術部馬十六頭、憲兵分隊馬七頭、大連警察馬三頭その他個人所有馬五頭合計五十五頭で個人の

所有馬 ほかは全部抽籤騎乘となつてゐるから、この點は出場者にも觀衆にも更に興味をそへるわけである、因に當日の入場は全部無料で一般市民の來觀を特に希望すると

内地一流酒に劣らぬ旅大の地酒

清酒品評會の褒賞授與式 けふ盛大に擧行さる

第八回清酒品評會褒賞授與式は十九日午前十一時半より大連民政署樓上に於て開かれ參會者は五十餘名、式は藤井民政署財務課長の開會の辭に初まり表彰狀と賞牌を授與したのち、審査長世良滿鐵中央試驗所長は報告の後、

今回の品評會成績を見るに近年異常の改良進歩を示し既に地酒時代を完全に脱却して所謂吟釀時代に入り製法に於ても香味に於ても何等内地の一流酒に遜色ないが、この上とも吟釀主義を採り銘酒であることに自信を以て販路を擴張せられたい

と述べ、次で會長田中民政署長、小川關東廳殖産課長(長官代理)石本大連市長、村井商工會頭、關東廳財務課長(代理)よりそれぞれ審査長の報告と同趣旨の祝辭を述べ直に宴に移り午後一時半ごろ撤宴した、因に褒賞受領者左の如し

優等志摩錦、大連志摩釀造合資會社▲一等高風、大連岩山醸造▲同美の鶴、大連鹽足龜吉▲二等松鶴、大連泉田商會▲同春心大連大川太郎松▲同神代、旅順神田小太郎▲杜氏表彰、大連志摩釀造合資會社内鹽足龜吉

前借金を詐取

元抱妓訴出づ

貔子窩西街料理店富貴興世こと右田ツヤ方抱妓妓郭中キヨミ(二三)は前抱主大連逢坂町一五〇貸座敷末廣榮樓こと井村熊太郎を相手取り十九日大連署へ詐欺の告訴を出した、キヨミは曾て逢坂町貸座敷喜笑樓に稼業中、前借七百六十六圓十八錢で前歸渉により六百三十圓に減額せしめ井村方に仕替し更に本年九月五日前記貔子窩に仕替したが、今回キヨミが旅行のため來連に際し喜笑樓に減額せしめた前借金は事實五百圓なる事判明、井村はこれを隱蔽し六百三十圓なりと稱しその差額百三十圓を詐取したのみか、キヨミの稼業中客の引受金を負擔せしめ或は人絹の支那服を本物なりと欺いて買取らしめ合計七十二圓の損害を與へたと云ふのである

中央公園の菊花見ごろ

中央公園事務所の菊花は二十日ごろからが見ごろなので市役所では一般の觀覧を歡迎してゐる、夜間は強燭の電燈二十箇を取付け休憩所には湯茶の設備があると

果梨泥棒捕る

大道管内西山會西山屯頭道溝居住の鷲明堯(二一)は十八日午後四時半ごろ西山屯栗谷農園内に忍び込んで果梨を窃取して居るのを夜警に發見され沙河口署に突き出されたが、鷲はこれまで數回に亘つて共犯四名と共に同農園を荒して居つたことを自白した

變つた商ひ

銅子兒を鑄つぶして大阪方面へ輸出する 却々莫迦にならぬ

大連市内に邦人の經營するもので南支那芝罘、青島、上海方面より我克船によつて輸入して來る支那通貨銅子兒を相當大規模た工場てそれを熔解し大阪方面に輸出して居る一風變つた商賣人が大連市内に七八軒ある、そのうち大きなところでは一日平均數千斤を熔解し相場の變動によつて休業することもあるが一月約十萬斤を鑄潰して大阪に輸出して居るといふ、現在の相場では銅子兒百斤につき十九圓五十錢にて仕入れ大阪に輸出すると廿四圓となるが、それでも輸出費、工賃等を差引くと二、三十錢の儲けにしかならぬ、數ケ月前には百斤につき三圓内外の利益があつたと

出口王仁三郎

けふ驛頭盛んな出迎裡に着奉

【奉天特電十九日發】今回、東北主會の斡旋で世界紅卍會と提携成り、その本部濟南に赴く途中、大本教の教主出口王仁三郎は十九日朝六時二十分着安奉線にて着奉、驛頭には紅卍會員その他二百餘名の出迎へあり待合室で應接直ちにミヤコホテルに入つたが、午前九時から奉天神社、忠靈塔に參拜し午後、奉天城内小南門外にある紅卍會に立寄り午後六時から千代田通洞庭春において盛大なる歡迎晩餐會が開かれ、なほ二十日朝十時二十分發、北寧線で北平に向ひ二十七日ごろ濟南に到着の豫定であると

貨物監視中の邦人兇賊と格鬪殉職

今曉奉天驛内貨物線路上に死體となつて發見

【奉天特電十九日發】十九日午前六時頃奉天驛貨物線路上に一名の邦人が支那刀の如きものを以て慘殺されてゐるのを發見、奉天署から係官が醫師と共に現場に急行檢證の結果、同人は當地稠田町十一番地志倉方國際運輸雇人中越賴之助(三二)と判明し同夜貨物の警戒に當つてゐたものであるが、午前二時ごろ突然兇賊と出合ひ之を逮捕する爲め遂に殉職したもらしく格鬪のあとが判然と殘つてゐた、目下犯人嚴探中

△△△△△ 八千圓藝妓で飛んだ人騷せ

奉天十間房金龍亭の八千圓藝妓といふ綾龍(元大檢の百々春)はその後某支那大官の寵愛を受け商埠地に國際ダンスホールが設置されて以來毎日の如く踊り狂つてゐたが、近頃綾龍には秘書の某といふ色男から寵愛を受けてゐたこと十六日夜綾龍が秘書の某と共に國際ダンスホールに出かけた際某大官にこの關係を知られた、そこで某大官は烈火の如く憤慨し突然拳銃を以て秘書を目掛けて一發ズドン、踊りつゞけてゐた同ダンスホールの人々はこの物音に上を下への大騷ぎとなり大混亂を呈したが、秘書の某は直ちにわが總領事館に走り込みこの事件を報告すると共に名前だけはどうか秘密にと懇願したと【奉天特信】

詐欺の福崎は中川氏と無關係

本紙今報「旅順民政署員が收賄罪で收容さる」の記事中目下詐欺事件で收監取調中の利權屋福崎顯三が大連運動場内中川某方に同居してゐたといふのは誤りで福崎は去月下旬聖德街四丁目居住當時拘引その儘收容されたので、家族の困窮を見兼ねた中川氏が同情して家族を義侠的に引取り世話してゐたものであると

刺青の人妻 情夫と戀の道行

夫から大連署へ捜査願

左肩から左腕にかけて物凄い龍の青刺のある内緣の妻高橋リン(三七)が十三日午前十時ごろ無斷で家出した、多分情夫の大連常陸町一一今朝丸總造といふ男と道行きしたらしいと夫逢坂町八五廣島愼一(三九)から十九日大連署へ捜査かた願出た、廣島夫婦は去る八月五日東京から來連し妻リンは逢坂町八五カフエー東野かたに女給として働くうち同月末ごろから前記今朝丸と懇ろになり屢々文通もし九月三日には相携へて外泊した事もあつた、今朝丸と同居してゐる實浦龍一といふ男とも再三會つてゐる模樣で、行動に不審の點があるから嚴重手配して一日も早く捜査して貰ひたいと云ふのである

日曜の催し

▲馬術競技大會 午前九時から電氣遊園下廣場に於て

▲ラグビー全滿選手權豫選 午後一時育成對大商、同二時工大對工專、大連運動場

▲南滿洲齒科醫學會總會 午前九時より大連醫院第一教室に於て尚午後六時より扇芳亭に於て懇親會

▲大連靜坐會 常安寺に於て午前九時より橋本吾作氏指導

平安異香（144）

葉多默太郎作　中一彌畫

髑髏の革袋（八）

ザク／＼と落葉を踏んで來る人の跫音――と見て、

「おい……」

と源八郎、きよとんとしてゐるからつけつの勘兵衛の脊をなぐりつけて一緒に篝火を踏み消し、地を這ひながら伊賀專女さまの石垣にへばりついて窺ふと社前の大椿の下に、闇から湧いたやうな黒い影がたしかに二つ、眞直に社の方へ進んで來るのだつた。

「お大將、ありや武士だ」

「……」

源八郎に睨まれて、勘兵衛は己の口のはたを撫りあげた。

二人の武士らしい男は、社前へ寄つて來て切石燈籠の前に佇る　その燈籠が、即ち先刻の被衣の女が密書らしいものを取出した燈籠だ。

はて――と見てゐると、燈籠の影と人影とが、つと寄りあつて一つになつてしまつたが、月の入つた後の木の下闇に、何をしてゐるのか知る由もない。が、どうしてくれようと思案を決める間もなく

そのまゝ二つの人影は燈籠を離れて、もと來た道を引返して行つた跫音が遠くへ消へるのを待つて

「勘兵衛、あの燈籠の中を見て來い」

勘兵衛を走らせると、返辭は迅速にして且つ簡單――

「お大將、何にもねエ、からつぽだ」

「さうか――」

だが源八郎は斷念出來なかつた何かある筈だ。何かなくては叶はぬ――

で燈籠へ寄つて行つて灯袋を摸つたが、塵一本手に觸れるものはないのだつた、からつけつの勘兵衛の云つた通りだ。が、源八郎には源八郎だけの物の觀方がある。灯袋を摸つた手の指を輕く揉んでゐると思ふと、

「勘兵衛、おぬしの云つた通りだ何にも無いぞ。塵一本埃一つないきれい過るくらゐだ」

「無エものは誰が見てもねえ」

「だが、長らく灯を入れたらしい樣子もないこの燈籠に、塵一本埃一つないのはをかしいとは思はないか」

「なるほど、さう云やあさうだ。成るほどをかしい、こりやをかしい。頗るをかしい、滅法をかしい」

「よつく目を開けてあたつてみろ何かあるに違ひない――馬鹿野郎そんなに眼をむいて覗いたつて何があるものか――勘兵衛、手を入れて灯袋のまはりを叩いて見い」

「よし來た」

勘兵衛の指が、灯袋の側壁や天井をコツ／＼叩くのに耳を傾けてゐた源八郎、勘兵衛が底を打つた時に、

「待つた、勘兵衛、そこんとこが二重になつてゐる」

「ヘエ、さうかね」

いひながらいろ／＼にやつてみると、底の石が脱けた。二三分厚さの石板である。

「驚いた。二重底だ」

「下に何かあるだらう」

「うん？いや、ねエよ。大將、何にもねエ――あゝあつた。なんだ折角だがこりや松葉だ、松葉が一本」

「松葉一本――さうか、松葉一本」

その松葉を指で摘んで、源八郎は怪しい武士の去つた方角をじつと見てゐたが、

「勘兵衛、跟けてみろ。まだ遠くは行くまい。行先をつきとめて來い」

「合點」

と、もう勘兵衛は飛出してゐる

一人になると源八郎、伊賀專女さまの社の背後へ引返して、木蔭の中に、女の屍體を前にして少時蹲んでゐたが、

「とにかく、勘兵衛と太吉の返辭を待つてからのことだ」

呟くと、曲つたまゝ棒のやうに硬くなつてゐる屍體を着物に卷いて抱きあげて、社の床板を剝いで假のかくまい所、一分違はず床板をなほしておいて、裏の椋の根下の壁土を掻きやり、こゝにも今夜の蹤跡を殘さず、何事もなかつたやうにして飄然源八郎はこの森から姿を消した。

そして、舞臺は源八郎の假寓である、百姓家の離れになる――

太吉が、一足先に歸つて源八郎の歸りを待つてゐた

映畫と演藝

溫習會評（中）

「乘合船」では「浮いた同士の渡守」と云ふ文句がある如く船には必ず船頭がゐなければならぬ筈だそして臺本によれば船の出る間を踊りにして立方が全部船に乘つた時始めて幕にせねばならないのだが、舞臺を見ると船は船頭なくして獨り手に渡場へ着いて居りそして船から上陸して踊つて幕にしてゐる。臺本と全然反對に行つてゐるのを遺憾とする。

◇

「四季の詠」では背景を大連に採り春は中央公園、夏ば星ケ浦、秋は老虎灘、冬は遊覽道路から見た全市にしソレに花火なども用ひて苦心の跡見へるが「開く隅田の夕櫻」とか「淺草寺の鐘の聲」などゝ唄ひ東都の唄をその儘唄つてゐるので、背景と唄と離がピツタリ來ない。これは背景が大連ならば大連に因んだ唄を唄ふのが本當であるまいか。

◇

同じ「四季の詠」で衣裳も然うだ春の場面で櫻模樣、夏の場面で藤の花模樣は無難として秋の場面でも櫻模樣、冬の場面でも藤の花模樣の衣裳はどうした事か、ソレ計りではない。冬の場面には双肌脫がして迄も踊らしてゐる。冬の嚴寒に双肌脫がして踊らせる師匠は日本全國何處にあらう。寒さに顫へてゐる大連藝妓でも然う無感覺ではない筈だ（ウの字）

梅若流秋季大會

大連梅若綠葉會秋季大會は來る廿日午前九時より淡月に於て開催さるゝが當日の番組は次の如くである

△素謠　三輪、清經、井筒、柏崎、定家、砧、花筐、葵上、俊寛、番外實盛
△獨吟　鐘之段、景清
△連吟　熊野、藤戸
△仕舞　小袖曾我、八島、玉葛、松虫、百萬、殺生石、俊成忠度
△囃子　菊慈童、胡蝶、玉之段、船辨慶
△舞囃子　班女、山姥

映畫界東西

日活の新進美濃部進との戀愛沙汰によつて去月二十九日家出し第二の梅姬となつた澤蘭子は無斷缺勤の故に依り先月限り解雇する旨十一日附發表された

◇

さき頃、日活に入社し第一回作品として「[illegible]」を撮る筈であつた高津愛子はその後帝キネとの間の問題が未解決のため行き惱みの狀態であつたが此の程、愈々同社の圓滿了解のもとに日活に入社現代劇に活躍する事に決定した

◇

ザフオレスの發聲機からWE式ワーナーのヴアイタフフオン、フオツクスのムービートン、RCAのフオトフオン等と負けず劣らず自己宣傳で大童だが今度フイルムサウンド會社でワンダーフオンと云ふのを使つて盛んに發聲映畫の製作を始めた

◇

東亞にあつた平塚泰子は同社を圓滿退社し帝キネに入社したが、研究生の一年から一生懸命勉強するといふてゐる

喋話

今夜協和會館では「笑ふ男」を上映するが▲六球のソノラを二臺つけて櫛木氏の選曲で始めてのレコード伴奏を試みるとのことである▲同じく協和會館で最近「ジヤングル」を上映するとの事▲ベル、ベネツト、ビイクター、マクラグレン主演のフオツクス映畫「マザー、マツクリー」は來週演藝館で上映される▲配給屋の服部さん「死のアラスカ探檢」を持つて沿線巡業に出發

滿洲日報

高柳保太郎將軍著 三六判美本百八十頁 定價六十錢(送料四錢)

日英両文 五色旗たふる

好評嘖々

本篇は五色旗仆れて南京政府の樹立された頃から約一年に亘る支那の時事問題に觸れての著者の所感を蒐めたもので、英文としてマンチュリアデーリーニウス紙上を飾り好評嘖々、論旨は公平にして私なきは既に定評あるところ、今英文の外、和文をも加へて單行上梓したから讀者は一層の興味を覺えるであらう。敢て識者の座右にすゝめる。

滿蒙パンフレツト

- 憲 眞氏著 日本人の注意すべき 支那交際上の習慣 定價二十錢 送料二錢
- 野中時雄氏著 滿蒙より何を期待すべきか 定價二十錢 送料二錢
- 徐宗澤氏著 明代支那に於ける 西洋學術紹介の偉勳者 定價二十錢 送料二錢
- 熱木俠氏著 商租權に就て 定價二十錢 送料二錢
- 上杉資喜氏著 仲士(積卸)苦力の研究 定價二十五錢 送料二錢

(各地書店にも販賣)

發行所 大連市紀伊町(電話三八〇五番) 中日文化協會

資本金 壹億圓(全額拂込濟)
積立金 壹億八百五十萬圓
本店 横濱市
支店出張所 東京、東京丸ノ内出張所、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北京、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽(一時閉鎖中)、西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカツタ、孟買、カラチ、マニラ、スラバヤ、スマラン、バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、漢堡、アレキサンドリア、布哇、桑港、ロスアンゼルス、紐育、リオデジヤネイロ、ブエノスアイレス、シヤートル

横濱正金銀行 大連支店

大連市大山通二番地
電話(代表番號 三一六六 / 爲替取扱所 四七一二 / 宿直專用 六〇一五)

エレクトラ裝置 ジユラツシア蓄音器

御客樣 十ヶ月 本月賦 位

(絶對內密)第一回金御拂込と同時に現品先渡致します

連鎖申込所

大連浪速町角 榮商會 電話八三九〇番

婦人公論 十一月特輯 結婚淨化號

又々増刷

●われらの努力は報ひられた。婦人公論時代は當に到來した。新時代をしつかりと把握してあくまで讀者への親切と輝く光明臺としての本誌。逐號賣切の絶對的な好評である。

特價七十錢・東京・丸ビル 振替東京三四三 中央公論社

婚約時代を利用せよ 性の混亂と灰色の結婚から若き時代を救へ!それは婚約時代の新しき利用によつて始めて可能である。 市川源三 山田わか 吉田絃二郎

私の戀愛と結婚 三宅艶子

スマートな貞操泥棒 鏑木駿二郎

妻に聞く
- ◆死灰のやうな生活・貴族院議員の妻として…多田榮子
- ◆よき指揮者に・サラリーマンの妻…及川綾子
- ◆事務的共同生活・軍人の妻…大倉豊子
- ◆良人の正體・文士の妻…木村敏子

結婚敗殘者の手記 詩人萩原氏前夫人の痛烈な言です 上田以彌子

モダン結婚哲學・武者小路實篤・三宅やす子・菊池寛・藤原輝子

見合ひ結婚禮讃 戀愛結婚は非常識的で見合ひが浪漫的だ 片岡鐵兵

婚約受難 淸河武夫

明日の結婚
- ◆結婚改良私案 上田文子
- ◆私の理想結婚 鳥居幸子
- ◆愛!愛!愛! 安藤和子
- ◆何を求むべきか 加賀あい子

ナナ子ミルンプロ…マサハル
藝者から見たカフエ…花園歌子
美人の妻と不美人の妻…麻生豊

●懸賞原稿募集●「私生兒なるが故に惱む」原稿紙四百字詰十枚以內・締切十月廿五日・掲載の上は賞金を進上します

小川前鐵道大臣 天岡前賞勳局長 昭和疑獄の裏面 前の顯官、今は縲紲にある。彼等の家庭の人の悲しき涙の裏面 大和晩三

家庭を捨てて婦人記者となるまで…正岡滿子

田中大將と婦人 前首相田中大將は艶聞を殘して逝つた。英雄兒さへあると田中と女性秘史 黑河想

宇野千代氏の處女時代(女流花形の故郷訪問記) 新城想

貞操趣味論

世界獨身順禮
- ◆紳士發見記…吉屋信子
- ◆乘る乘らぬ記…北村兼子

職業婦人の健康法 醫學博士 岡田道一

結婚してはならぬ婦人 醫學博士 正木不如丘

結核患者の結婚 醫學博士 佐々木秀一

皇女殿下御誕生と報道戰 小林信二

西部戰線異狀なしを讀みて 平林たい子

洋裝結婚の奬め 新時代に相應しい、經濟的で優美な洋裝結婚式服が本誌獨特の樣式的な懸切さで取扱はれて居ます。

聰明美論 新しき時代の美は何か?內奧より湧き出た聰明美こそ眞の美人だ 細田民樹

その他有益な實用記事滿載

人妻の寢化粧 早見君子

結婚淨化

內外時評 帝國主義軍縮會議・無産政黨現狀・既成政黨自己暴露 山川菊榮

創作
- 貧故の寃罪 藤澤淸造
- 木がくれの巢(長篇小說) 小島政二郎
- 生みすてられて(長篇小說) 沖野岩三郎
- 花はくれなゐ(長篇小說) 池谷信三郎

日本娘の死 淸澤洌

灰色角帽魅力・九州大學評判記・

不良外人事件

秋草揷話・エリゼ二郎

キツス雜考・高田無逸・くれぶとめにや・とはつねろ

新載大衆小說 江戸巷塵譜 耳のない怪しい大坂の處女、海闊僧の老人、これだけでも事件が豫想されるわけである。 林不忘

西部戰線異狀なし

壓倒的賣行・忽ち廿五版 ¥1.50

中央公論社處女出版

朝鮮博と松屋の出品

東京流行風俗の松屋の出品

博覽會中に一際目立つ東京館を入ります六尺の大ケースの東京の當松屋の出品にはモダーンな洋裝姿・下町好みの娘、山手の奥樣風、上品な令孃、粋な藝者等各方面に至る代表的東京婦人の最新流行衣裳を六人の人形に應用して興味深く、博覽會の雰圍氣の中にも帝都服飾界最近の流行を目の邊りに見せ非常な御好評を頂いて居ります。何卒御一覽のほど偏にお願申上げます

冬の御支度は松屋へ

流行及び御德用の呉服・雜貨を始め冬の御支度品をいろいろ豐富に取揃へました。東京の流行は銀座から……銀座の流行は松屋から……商品の優良堅實は松屋の信條と致す處でございます。冬の御支度は何卒松屋へ御用命願上げます。尚又御上京の節は是非御立寄りを願上げます

(朝鮮博東京館の松屋の出品人形)

松屋の特選毛布

- 茶縞毛布 貳枚一組 拾貳圓 廿參圓 / 拾五圓 參拾五圓
- 白縞毛布 貳枚一組 拾五圓 廿三圓 參拾圓
- 綿毛布 二枚一組 (白・茶) 五圓

御註文は通信販賣係へ
- 一、綿毛布以外は一枚分にても御分け致します
- 一、送料一組九十五錢申受けます
- 一、御註文は振替御利用が安全且御便利です
- 振替東京八八〇番

松屋 東京・銀座

最新刊

- 江口良吉著 支那語入門 實價一圓五錢送料六錢
- 里見弴著 今年竹 實價一圓五十五錢送料十二錢
- 長島隆二著 陰謀は輝く 實價一圓三十六錢送料八錢
- 武田林清著 三角法 問題解き方 實價一圓三十六錢送料二十錢
- 秋田武雄著 神話學論考 實價三圓九十九錢送料十四錢
- 片岡鐵兵著 片岡鐵兵集 實價二圓五錢送料八錢
- 高柳口太郎著 映畫館建築 實價一圓十五錢送料六錢
- 米川正夫著 綺談黃龍船 實價一圓五十七錢送料八錢
- 長谷川時雨著 時雨脚本集 實價一圓十錢送料十錢
- 大阪每日新聞社・東京日日 昭和五年 每日年鑑
- 國民新聞社著 昭和五年 國民年鑑 實價七十二錢送料十錢
- ダーウヰン著 松平道夫譯 種の起原 實價三圓十九錢送料十六錢
- 中村亮平著 慶州之美術 實價五圓廿五錢送料廿錢
- レトニン著 高山洋吉譯 一九一七年 實價二圓六十二錢送料十六錢
- 松平道夫著 發明大觀 實價五圓四錢送料廿錢
- 岡野・丹羽禮介共著 萬有全集 實價五圓四錢送料廿錢
- 大泉黑石著 燈を消すな 實價一圓八十九錢送料十錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

最新刊

- 大谷光瑞著 帝國之前途 實價六十三錢送料
- 北山啓助著 肺病 實價二圓十錢送料
- 大泉黑石著 燈を消すな 實價二圓八十九錢送料八錢
- 綿貫推人著 藝術と逢隣 送料六錢
- 吉田絃二郎著 タゴールの詩と言集 實價一圓七十八錢送料六錢
- 宮川曼魚著 江戸賣笑記 實價一圓九十九錢
- 婦人之友社著 四季の料理
- 島川問題著 茶道 實價二圓五錢送料六錢
- 長谷川眞吉著 モダアンス研究 實價一圓五十七錢送料八錢
- 高村光太郎著 光雲懷古談 實價三圓六十七錢送料十二錢
- 米田華舡著 黃龍船
- 平尾道雄著 海援隊始末 實價一圓五十七錢送料十錢
- 滿雀倶樂部著 麻雀競技法とその戰略 實價一圓九十五錢送料六錢
- 阿比留乾二著 滿洲問題とは何ぞや 實價三十一錢送料二錢
- 野依秀一著 井上藏相の正體 實價三十一錢送料四錢
- 關東廳 職員錄
- 鈴木善太郎著 芝居とは誰が向き 實價二圓十錢送料十三錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

軍縮招請狀に對する我回答文 十八日政府より發表

【東京十八日發電】ロンドン五ケ國海軍會議招請狀に對する帝國政府の回答文は左の如く發表さる [illegible]

米價の昂騰を虞れ平年作の發表中止 減俸案非難の材料となるので

[illegible]

減俸案は變更出來ない 井上藏相語る

[illegible]

實情に即した改正案作成 大藏省と各省と折衝

[illegible]

海軍側 除外例要望

[illegible]

全國裁判所に激勵電

[illegible]

出席閣僚の諒解は得た 閣議後渡邊法相語る

[illegible] を上げて又上げると云ふことになるかも知れぬ

監督判事協議

【東京十八日發電】檢事の運動に刺激されて東京控訴院の地方部長及區裁判所の監督判事四十六名は本日正午後四時より [illegible]

商工省内にも反對氣勢

【東京十八日發電】減俸問題に對し比較的安全地帶と見られてゐた商工省内にも反對機運波及し俄然表面化した、乃ち十八日午後判任官代表十五名は橫山次官に面會し我々薄給者は到底減俸に堪へないから其率を年俸二千四百圓以上とされ度しと懇談した

豫審判事總會 減俸反對決議

【東京十八日發電】東京地方裁判所豫審判事等は十八日午後三時地方裁判所大會議室に參集會合を開き同五時五十分に至り終了したが、内容は減俸問題に對する態度を明かにしたもので之につき意見交換の結果、此際官吏の減俸を實施すと云ふが如きは國民思想に影響を來すものであるから檢事 [illegible]

賛成電報續々

【東京十八日發電】東京地方及區裁判所檢事は全國の同僚に向け減俸反對のため起つべき旨電報を發したが、午後に至り橫濱地方、區裁判所を始め各裁判所檢事團より賛成の電報到着しつゝあり檢事團はいよいよ全國的に動き始めた

員控室に集合減俸對策につき協議を開始した

檢事漸く執務

【東京十八日發電】今朝來減俸反對運動のため全く事務を中止してゐた檢事團は、午前十一時過から漸く事務を執り始めたが各檢事共何となく落着きがない

關係五ケ國間の軍縮内交渉提議 伊の意見を佛承認

[illegible]

三全權任命

[illegible]

第一回打合會

【東京十八日發電】本日午後二時其の打合せ第一回會合を首相官邸にて開會諸般の打ち合せをなした

上海脱出の馮派將領 密に山西に向ふ

【天津十七日發電】某方面の消息によれば時局の切迫と共に上海を脱した鹿鍾麟、劉驥、熊斌、劉郁芬氏等の馮派將領は此程某國汽船にて來津し密かに北平を經て山西へ向つた

危ぶまれる陳唐兩軍 依然中央服從か

【天津十八日發電】南京にて蔣氏より監禁同樣の目に逢ふて居る唐生智軍の向背は時節柄重大視されて居る、今確實なる方面の消息に依れば唐生智氏部下の二師は何成濬氏の命に服する事になり何等動搖の形勢は無く、山東の陳調元氏の態度も曖昧だと噂されたが陳氏は石友三、范熙績、孫光先、龐炳勳其他諸氏と共に宋哲元氏討伐の通電を發したから大丈夫だと傳へられて居る

閻氏に中央擁護懇請 方氏太原訪問

【太原十八日發電】方本仁氏は十八日午後四時太原着直に閻錫山氏と會見し蔣介石氏を代表して速かに中央擁護の明確なる態度を表示されんことを懇請した、之に對し閻錫山氏は平和維持の範圍を出でず何等意見を述べないと

閻張兩氏の結合鞏固 張氏和平に賛成

【北平十八日發電】奉天派、山西派の結合は最近一層緊密となり閻錫山氏衛戍司令部參謀處長を奉天に派するや張學良氏直に秘書長王樹翰氏を太原に派遣して對時局策を商議せしめ目下在奉中の太原駐在奉天代表は王樹翰氏の齎せる閻氏の意見に對する張氏の意志を傳ふべく太原に赴く筈で兩者相互の往來頻繁となり今後山西奉天兩派が同一線上を歩む事確で閻氏の和平通電に張氏は第一に賛成電報を發すべしと豫期されてゐる

蕪湖邦人無事

【上海十八日發電】蕪湖の兵變は十八日午後三時に至り鎭定し市内は小康を保つてゐる居留民は全部無事で一人も掠奪の被害に遭つた者はないが、婦女子は全部砲艦伏見と日清汽船ハルクに避難收容されてゐる、伏見の陸戰隊は今夜領事館に殘留警備に當ると

公私經濟緊縮の具體的方法決る 近く全滿一齊に運動を開始す 十八日の特別委員會

公私經濟緊縮具體的特別委員會は十八日午後二時より滿鐵社員倶樂部第二集會所で開催されたが、出席者は
田中千吉、西山茂、富田啓吉、保々隆矣、中西敏憲、神田純一、增田道義、藤田倶治郎、小倉鐸二、水谷秀雄、平野正朝、富永能雄、藤山榮太郎、中尾國太郎、安藤明道、篠崎嘉郎、瀨谷佐次郎、高倉正
の十八氏で田中千吉氏議長席につき

左の十一項目 を協議決定した

一、時間勵行を守ること（特に集會などは主催者に於て定刻に開會すること）
二、公私宴會の改善（可成回數を減じ出來るだけ簡素にすることまた祝儀を廢し事盃を以てこれに換ふること）
三、贈答に關する改善（中元、歳暮及病氣見舞、祝儀の返禮物廢止、香典返、山菓子に類するものゝ廢止）
四、結婚の改善（簡素にし式以外に必要なものは新調せざること披露の範圍も縮小且つ簡素にすること）
五、葬儀の改善（花輪生島等は原則として廢すること）
六、貯金の奬勵
七、家庭に於ける剩餘時間及剩餘能力の利用を奬勵すること
八、國產優良品の使用奬勵
九、服裝の改善
一〇、豫算生活の實行を奬勵すること
一一、現金買を奬勵すること（現金買に對しては市中商店も値引して貰ふこと、商品の量目の檢定は其筋の各機關を通じて嚴重に取締つて貰ふこと）

以上の實行方法として
一、標語を募集してポスターを作ること
二、週給及旬給制採用の可否を主要なる會社及團體に照會すること
三、各支部に於て支部自體で實行方法を具體的に定むること
四、毎月一回緊縮デーを設くること
五、各支部に於ける婦人團體の活躍を期待すること
六、家庭生活の改善に關して追つて詳細に研究すること

而して中央委員會では前述の各種項目に亘つて

具體的に實行 し、特にその項目中必要と認められるものは中央委員會で實行項目と定め、他は各支部に於て取捨選擇を任せることゝなつた、尚前記項目中豫算生活實行と現金買奬勵を特に徹底せしめ、實行方法としては前項目に關連した週給及旬給制採用可否が熱心に議論され、滿鐵側は實施方を極力主張し市役所側は旬給制を可とし關東廳は勅令による給與規定でその變更は到底困難であるため週給旬給とも實行不可能な立場にあるから一致點なく、實施するとすれば關東廳を除いた他で實施するより外なからうと見られてゐる、また家庭生活の改善は婦人に特にその趣旨を徹底せしめ婦人自體がこの運動と實行とを

更に徹底せし むることにする關係から各支部には有力な婦人を委員に參加させようといふ議もあるやうであつた、而して決議事項實行に對する豫算は關東廳より三千圓、滿鐵より三千圓合計六千圓を醵出して近く全滿一齊に亘つての實行運動に移る段取りとなつたが、更に實行方法に對する細目を協議するため來週一二回の幹事會を開催することゝして同六時散會した

議會召集の期日 來る十二月二十四日

【東京十九日發電】衆議院事務局田口書記官は十八日午前九時半鈴木議長を訪問し第五十七議會召集につき打合せをなしたが來る十二月二十四日議會召集の旨を十一月十日公布の豫定である

撫順炭礦の明年度豫算會議 十八日から本社に於て

滿鐵撫順炭礦關係の明年度收支豫算會議は豫定の如く十八日午前十一時より本社總裁室に於て各重役關係首腦者列席の上開かれたが、當日は特別給與費、製鐵收支等は審議するに至らず鑛業收支及製油收支の一部を否定しのみで翌日も續行することゝなり午後四時頃散會した、豫算の内容に就ては未だ拓務省提出前にて窺知するを得ないが、大體鑛業收入總額は九千五百萬圓見當となる見込みで、同支出七千九百萬圓、殆ど撫順炭が之を占め、製油收入（硫安、オイル、パラフイン、骸炭等）は總額約四百萬圓、同支出二百八十萬圓で運賃諸掛を控除し販賣課のみで約百三十萬圓の純收が見込まれてゐるが、撫順炭の採掘量は明年度は本年より約四十萬噸增の八百十萬噸見當で、坑内採掘行程の合理化、人件費の節約、露天掘の擴張等により噸當り生產費は相當低下するものと觀られてゐるが、結局燃料其の他を合せて本年度より約五十萬噸の增產となり、鑛業收入は三百二、四十萬圓の增收となる模樣である

學校移管と經費節約

地方費による大連市立彌生高女の關東廳移管と大連商業の市への移管は有望視されてゐるが、若し之が實現すれば市當局では商工學校の夜間授業を大連商業にて行ひ晝間授業も之を縮少して大連商業にて行ひ之に依り經費二萬七千圓を節約する希望を有してゐるが、商工學校を如何にすべきかとの點に就いては種々の議論あるも、市の具體案は未だ樹立してゐない模樣である

河南を中心に戰局展開か 大局を支配する韓唐兩軍

【天津十八日發電】西北將領今次の反蔣通電は西北軍今日の窮地より脱出せん爲めの不可避的現象である、故に丈だけ

眞劍味が 有るといはねばならない、目下西北軍の行動は孫良誠氏が急先鋒となり其一部は洛陽に進出し同地方に駐軍した唐生智氏の軍隊は鄭州方面に引退したと傳へられて居るが西北軍が局面を展開さす爲めには先づ河南を確實に掌握し、湖北に一部を進出せしめて其翼側を警戒せねばならない、故に一部は荊紫關方面より湖北に入り老河口襄陽を經て京漢線に進出し中央軍の防護するであらう、後路を隴海線から山東を目標に前進する主力は先づ鄭州を奪取した後

京漢線を 南下して武漢を目標とする二隊となつて今後の行動に移るであらう、目下京漢方面には劉峙氏の部隊が北にし老河口方面には楊虎臣氏の軍隊が居り、湖北河南省境に居つた徐元泉氏の部隊は目下信陽に進出したとの報もある、其處で曾て開封に居る唐生智氏の部隊の行動が問題である、韓復榘氏の部隊と鄭州に居る韓氏は過日開封で孫良誠氏と會見して諒解が出來て今次の好機に再び西北軍に

逆轉する と傳へられて居る、唐生智氏は目下南京で蔣介石氏に監禁されて居り其部隊は何成濬氏の直屬部隊とも謂ふ可き顧祝三氏と劉峙氏の二師があり、反蔣行動に出づるには極めて不利な立場であるから中央軍と西北軍の衝突は隴海線上に於て態度不明の唐生智軍と鄭州附近に於て展開されるであらう、斯くして西北軍が鄭州の奪取に成功すれば更に京漢線方面では許州、郾城、遂平等に於て徐元泉軍及劉峙軍と對峙する事となり、戰場京漢線一帶と湖南湖北省境に展開されるであらう、韓復榘氏が依然中央服順であれば西北軍は

戰略上に 大影響を蒙り鄭州奪取も容易でないと思はれる、而して黃河北岸彰德には劉鎭華氏の第一師が居り此軍隊の向背も問題である若し西北軍に呼應せんか極めて有利で中央軍は徐州方面より隴海線を前進するとすれば開封歸德附近に於て兩軍の對峙を見るであらう、斯くして河南を中心に動亂の幕が展開するであらう

坂西貴院議員 張學良氏と會見

【奉天特電十九日發】貴族院議員坂西利八郎中將は今朝八時半來奉ヤマトホテルに入り午後四時張學良氏と會見したが、廿二日夜安東經由内地へ向ふ筈

陳儀氏北行す

【奉天特電十八日發】此程來奉した南京政府の慰問使陳儀氏一行は十八日夜北寧線にて北平に向け出發した

辭令

【東京十八日發電】本日の閣議に於て左の如く決定した
任關東廳中學校教諭（六等）　關東廳中學校教諭兼同高等女學校教諭　細萱藏三
任關東廳中學校教諭　關東廳中學校教諭　山岸榮三郎
任關東廳中學校教諭（七等）　關東廳高等女學校教諭　高尾賴信
任關東廳高等女學校教諭（七等）　伊佐通

關東廳辭令（十五日付）

關東廳事務官　西山茂
同　竹内德亥
同　源田松三
審議員を命ず　關東廳理事官　增田道義
財務部財務課兼務を命ず　關東廳遞信事務官　中尾國次郎
關東廳遞信官署職員共濟組合審査會審査委員を命ず　關東廳遞信副事務官　土屋義郎
任關東廳海務局技手　加藤美雄
任關東廳遞信技手　小泉吉郎
關東廳水產試驗場技手　網　龍藏
關東州公立實業學校教諭　篠崎成一
關東州小學校訓導　澤　貞義
依願免本官（各通）
關東廳取引所主事　牧野武次
關原取引所長事務取扱を命ず　判事正六位　安田忠治
任關東廳法院判官　敍高等官四等、四級俸下賜
補高等法院上告部判官兼高等法院覆審部判官

十八日奉天に着いた人見絹枝選手は豫て張學良氏より招待を受けてゐたので、同日午後三時毛通譯と共に北陵の張氏別邸を訪問した▲張學良氏は人見選手と會ふや否や「貴女が常に東洋の女子のために氣を吐いてゐられることを衷心感謝する」と述べ、快談約十分の後邸前において快よく記念撮影をなし、人見選手は同四時半頃別邸を辭した▲其際人見選手は「將軍が如何に運動に理解があるかといふことは將軍の部屋にある澤山のカップで直ぐ知ることが出來ます」といつたに對し、張氏は大笑しながら「僕は今まで一度もカップを獲つたことはない、之は皆今度の國際競技で選手に贈るものばかりだ」と答へ非常に上機嫌であつたと（奉天特電十八日發）▲井上藏相お膝下の某減俸組曰く「ウチの御大は此前大臣をやつた時も四ケ月目にお陀佛になつたよ、今度も今月で丁度四ケ月目だ」と緣起でもない占ひ（東京特電十八日發）

東支在職露人を支那に入籍せしむ 奉天首腦者が協議

露支抗爭以來東支鐵道に勤務する勞農露人の取扱ひに對し支那側は勞農の國籍を脱せしめ支那に入籍せしむべく考究中であつてこの問題は勞農國露人に對し脅威を與へてゐるが、最近の情報によれば近く奉天に於て中央政府の代表を加へたる對露首腦者會議を開催し該問題を討議決定することになつたといふが、支那側の意嚮は彼等にして鐵道在職者としての保證を得るには公然勞農國籍を放棄すべきであるといつてゐる

特産 定期後場 / 錢鈔 現物後場 / 商品 後場 / 大阪期米 / 神戸特產（十九日） / 大阪株式 / 神戸期米 / 東京期米 / 東京株式（長期） / 東京株式（短期）

[illegible]

滿洲日報

先づ生活の合理化から

社會は案外、公平なもの、すべての事象は、平準に歸せんとする傾きあり、だが、人間が進歩し發達する限り、常にその平準が破られ、公平が攪亂され、それがまた平準へと傾く、そこに問題が起り、爲政者、學者などの研究を必要とする。されば、いかなる時代も、過渡といへば過渡であり、平準を求めつゝ、公平が攪亂されつゝ人間の社會は發展する。であるが、負擔の公正妥當を期しつゝ、それは理想であり、現實の問題として、容易に實現さるべきものでなく、無能者が上に居り、有能者が下積みとなつて、容易に浮ばれるやうなことのないのを見る。併しそれも、長い間には平準に歸せんとし、社會の節理は、必ずしもバカにならぬ。たゞ常に、人爲は公正妥當を期し、些の不平準も、これを匡救することに努むるを肝要とする。」

◇

ところで、生活の最低限度が、いかんの程度にあるか。人により必ずしも一致せぬにしても、一體においての限度を目してはならない。その最低限度を、金錢を以て計量した場合、その基準は、常に物價の高低と共に上下することあるを認める。また微細の點にわたれば、各個人の生活の趣向により物價高低の影響を受くの輕重あることも認められる。その物價がまた、課税の多少により、また租税轉嫁の状況によつて、負擔の公正を期することは容易でない。同じサラリーマンにしても、子女や扶養の義務のないもの、すくないもの、また多いものとの間には、負擔の妥當を異にする。子女の養育は、國家への公共的義務として行はねばならぬが如く感じ、しかも養育の負擔といふことになると、全く私有物を培養するやうな觀念でやらねばならぬ。そこに子女なきものと、子福者との間には、すくなくとも經濟的には義務負擔の公平を缺く。

◇

人間社會の千態萬樣なる、同じ國內、同じ地域にあつても、公平水準を期しつゝ、絶對の公正妥當などいふことは理想であり、ある場合には、失業者を顧みて、有職者の諦めとせねばならぬことさへある。併し、出來るだけ廣い範圍にわたり、また出來るだけ各種の階級を通じて、負擔の公正、給與の妥當といふことを求めねばならない。主觀的にのみ考へた場合とこれを客觀的に考察した場合と、深刻の程度を異にすることあるも否定し得ぬ。世界は廣い。これを時間的に考察し、かつ團體生活の國家の存立といふやうなことに考へ及ぶことも肝要であらう。自分だけが虐げられると思ふと、癪にもさわる。上には上があり、下にはまた下のある世の中。これを平準に導かねばならぬが、また大衆觀を滅すといふやうなことの必要なる場面もないと限らぬ。」

◇

電燈、瓦斯、水道、電車、乘合バスといふやうな獨占、半獨占事業、市營住宅の家賃、住宅組合の低資償却、消費組合と小賣商店との利害關係といふやうなこと、その他、この頃、ぼつ／＼考へられつゝある公私經濟の節約合理化、有識者としては、すこしく泥縛的であつたにせよ、整理節約、合理化の實現は、一個半箇たりといへども忽諸に附すべからず、ただ折角のポスターが、宣傳倒れにならぬ要愼が肝要であらう。暗から棒に、頭から一割天引き、それも減俸といへば、罰俸のやうにも聞える。個人々々の生活樣式が、多少殺風景になることを我慢し、相當に合理化され、餘裕が出來たら邦家のため献金するといへば、通りはよいかも知れないが、そこは法治國の悲しさ、當局の苦心も、輕率の誹りを免がれぬことになる。がしかし日本帝國としての當面の問題は、何といぶても經濟國難であり、これを打開するには、最低期間內に金輸の解禁を斷行せねばならず、それには法律事項の改正を待たぬことは、さきの實行豫算の編成に徵するも明々白々。さりとて、個人個人の生活の最低限度を脅威することは尙更ら出來ず。そこで責任ある當局や識者は、この政府の經濟國難の打解策を、最も圓滑に遂行し得るやう、物價の下落や、生活樣式の改善によつて、負擔の公正、給與の妥當を期して、社會の平準化、合理化によつて、擧國一致の實現を期すべきではあるまいか。その意味において公私經濟委員會などの、もつと積極的に、かつ機敏に活動せんことを、時節柄、時に希望せざるを得ぬものがある。

全支紛亂で東三省は安全
閻氏首席の新政府樹立か
某消息通の時局談

【奉天發】支那局時局に關し某消息通は左の如く語つた

今回の反蔣運動は相當根强いもので殊に西北各軍閥は蔣介石氏の中央集權制度に反感を抱いて居り又一般商民も三民主義革命による外貨及び日貨排斥に多大の不滿を抱き反政府熱が濃厚なるため蔣氏の沒落は最早時期の問題となつてゐる而して反蔣運動に對する東三省の態度は閻錫山氏と行動を一にするものと觀られてゐるので蔣氏の下野如何は閻錫山氏の態度如何によつて決定するものと思はれ、蔣氏下野後は北平に閻錫山氏を首席とする新政府が樹立されるであらうが、かくなれば全支は再び軍閥の割據をなし封建時代を現出するであらう而して東三省は全支の統一が完成すれば種々な多難事に遭遇するが現在の如く全支に紛亂の絶へぬ間は東三省の地盤は大磐石である

東鐵に殘留の赤系の去就
勞農側が勢力を復活すれば現在の地位が危ない

【ハルビン發】疾風迅雷的に行はれた東鐵管理局の支那側のクーデターに對抗し一齊にストライキを以つて應酬せんとしたソウエート側の東鐵從業員の大半は幹部は既に本國へ引揚げストライキの中堅を成さんとした現業員中、其の色彩の濃厚なものは身分の高下を論ぜず容疑者として支那官憲のために拘禁され殆ど大部分は例の松浦鎭に收容され全く赤派としては封鎖されたも同樣であるが、當時エムシヤノフ局長驅逐の際にストライキも出來ず又勞農幹部と行動を共にすることもならず有耶無耶のうちに今日まで引づられて來たものは管理局及理事會內にも相當殘留してゐる、無し其等人々は別に支那側に對して反對の意志を表明しないので先づ首だけはつながつてゐるが、若し露支交涉が成立し再び東支にソウエートの勢力が加はつて來た際に果して現在の位置が晏如たるものであるかどうか甚だ疑問である、必ずソウエート側としては全部幹部と行動を倶にせぬものは早晚一掃される運命に陷入るだらうと現在ソウエート國籍を有し尙東鐵に職を有してゐる多數のものは心配してゐる

中央援助の通電を懇請
出征軍慰問の陳儀氏が張學良氏に對して

【奉天發】東北出征軍の慰問に事よせ來奉せる陳儀氏は學良氏に對し中央援助方を懇願したといはれてゐるが陳氏は東北省の現在として軍費の援助が不可能であれば武器彈藥の補給をして貰ひ尙これも不可能であればせめて中央援助の通電だけでも發して貰ひたいと懇願したとは中央政府の運命が如何に窮迫してゐるかが窺知される

馮庸義勇軍近く歸奉するか
實際の役に立たず最後の弱音を漏らす

【ハルビン發】馮庸大學の義勇軍も滿洲里の國境へ來てみれば氾濫として摑み處がないのと正式の軍隊に比べて餘りよい噂が立たぬ上に、父兄保護者から「子弟の教育は托したが戰爭練習のために學校へはやらなかつた」一日も早く歸省せよとの私書が頻々として到着するので、道の馮庸司令も「當分何等戰爭らしいものが國境になければ奉天へ歸還する」と最後の弱音を漏らすに至つた毎日の作業は塹壕を造る見習ひでこれでは何の役にも立たない、幸ひ勞農軍が襲擊して來ぬからよいものゝ若し眞面目に砲火を浴びせかけられたらそれこそ問題では無からう、宣傳だけで實際方面の戰鬪に參加せないならば多額の旅費を支給されて到る處では大歡迎を受けてゐるので學生としては面白いことであらう其れで最近ハルビンに於ても約二千餘名の學生が張學良氏に銃器、軍服を貸與して欲しいと哀願し學生軍を組織して大に救國のために盡さうとの運動があるが、馮庸氏は「學生軍の組織は其動機は結構だが、一利一害、其の指導を受ける方面によつては弊害を生ずるから別な方法を考へた方がよい」と反對してゐる、道の馮氏も今更義勇軍の始末をつけることに困つてゐる、尙東北大學の學生軍が武裝して立つたことも馮庸義勇軍の學生から色々面白い方面の音信を傳へられ堪らなくなつた結果漸く義勇軍の名稱の下に馮庸義勇軍に代つて北滿に示威運動を試みることになつたのであると

露人居住規定

【ハルビン發】特別區警察管理處では十六日から無國籍白系露人及びソウエート人民の居住に就いて一定の戶口調査規程を制定し施行した、ロシア人一般は居住證明書を一應官憲から支給されるために各最寄派出所に屆出でねばならぬことになつた、この證明ないものは處罰される由

吉林學生が愛國運動を起す
四校代表が抗俄後援會組織
張作相氏に面會陳情

【吉林發】吉林大學生鄭璞、白增第一師生張文海、賈春林、女子師生王靄東、趙醫東、毓文中學生趙英華、楊丕欣等第四校代表は吉林學生抗俄後援會の名を以て去る十五日午後二時より省政府に張作相主席を訪問し

(一)國外宣傳機關を設け宣傳員を各國に派遣して中俄交涉の眞相を宣布すると共に世界各國に向つて赤俄の殘暴不仁行爲を詳細に宣傳すること

(二)各校に軍事教練を開始し銃器を配給し且つ軍事教官を派遣すること

(三)前方將卒の慰問食金募集の爲め學生の演劇を催すこと

(四)對俄防禦を强固にする爲め增兵を行ふこと

(五)地方の軍隊警察を增加して中俄交戰及土匪の跳梁に備ふること

以上各項實施に就き懇請する所あつたが第三項は教育廳長と商議すべく其他に就いては考慮する旨張主席より申渡したる外學生等の愛國運動を大に賞揚し且つ課業に支障を來たさない範圍內に於ては講演及傳單、標語等を撒布して民衆を喚醒せしむることは敢て差支へないと言明したと言つてゐる

反蔣通電差押へを命令

遼寧省政府は管下各關係箇所に對し鹿鍾麟、孫良誠、宋哲元等が双十節に發した反蔣通電は一般民心を攪亂する恐れあるを以て發見次第差押ふるやう命令したと

鮮語養成所を延吉に設置す

【吉林發】吉林省政府當局は此程延吉市政籌備處長張書翰氏より延邊地方には多數の朝鮮人在住する關係から鮮語養成所を設置したき旨申請し來つたので、該處內に之れを附設することを許可し同時に張書翰氏を同所々長に兼任を命じたる外全省公安管理處長王之佑氏は延吉市公安局長泳貞氏に副所長兼任を命じたと

平凡社發行の世界美術全集

東京平凡社に於て發行しつゝある世界美術全集は美術大衆化の目的の下に古今東西五千年の天才巨匠が人類に寄與した繪畫、彫刻、建築、工藝等あらゆる美術の神品名作を網羅し、一々斯道大家の權威ある解說を附し、印刷文化の最高技術を活現し、玆に世界美術の大殿堂は始めて萬人に開かれ、古今東西の大美術家達は地上に立つて大衆と握手する機會を與へたるものにして而も何人も易々と購ひ得べき廉價を以てあらゆる家庭に普及せしめつゝあり、今回第二次募集を企畫發表に際し滿鮮、支那方面の讀書界視察を兼ね該全集宣傳の爲め營業部長瀧川薫氏來連し、本社直接取扱ひの全一時拂の豫約を受けつゝある（全三十六冊「既刊二十四冊」普及本一册一圓、裝飾本一圓五十錢、プレート二圓、市內各書店扱、全一時拂普及本三十二圓、裝飾本四十八圓、プレート六十四圓、申込所吉野町プラチナ寫眞館電話六〇三九番）

世の博識者に問ふ

普蘭店快馬廠　秦　麗　江

人間の食糧は幾程の榮養率有れば枯義せずして生活し得るか？余は滿洲の土に即する者なり、いやしくも土に即する者が普通人間並に水田米を食するとは何事ぞ。粗衣粗食にあまんじてこそ眞に滿蒙の開拓者ではないか。余は考へる所有りて陸稻を常食とせり、陸稻の榮養率如何程なりや？（普通米と比較して）敢へて問ふ、世の博識者へ。

生活改善實行會へ

御　願　ひ　生

駿馬は影を見て走り、良馬は鞭れて走り、駑馬は鞭るゝも走らずと言ひます。今や私共は加俸半減の鞭を打たるゝに及びました。末だ駿馬たらずと雖も駑馬たらざるの用意が無くてはなりません。さなきだに經濟の流れを追ふて漂流する下級官吏、減俸額だけ生活費を切りつめる他に道はありません無煙無酒の事とて食費は低下の餘地少く、勢ひ衣服の整理に及ばざるを得ません。早速關東州生活改善實行會に御願ひ致しますのは會員の正服制定の件です。實質本位で廉價のもの（例へば夏服五圓乃至十圓多服十五圓乃至二〇圓位）を御選定下さる樣御願ひ致します尙內地では御眞影に向ふ時背廣にても差支へないと言ふ規定になつて居るさうですが、此れは關東州には適用出來ないものでせうか。若し差支へ無いのでしたら會員は安心してモーニングを持たないが故に必要となり非常に助かるので御座いますが、此に當事者の御回答を御願ひ致します。

投書歡迎
新聞行數五十行以內のこと
中傷を目的とするのは採らず

南征雜錄（12）
難波勝治

ニウオリンズ

ニユウオリンズに定期寄港する商船は、日本向け貨物積込みの爲めに屢々附近の地分港に臨時廻航させられるが、その中重なる輸出港はフロリダ州のペンサコラ、アラバマ州のモビル等であつて、今回は三井物產取扱の銑鐵を積込むべくモビルに寄港する事となつたアラバマ州はミシシッピイ州を挾んで、ルイジアナ州と密接な交通關係にあり、北にテネッシイ、東にジョルヂア、南部の過半をフロリダに包まれた比較的僻地であるが、ジョルヂア及びフロリダの影響を受けて漸次開發の運に向ひ、就中東北隅に亘するルックアウトの鑛山地帶を控へて各種の鑛產物を出し、モントゴメリイ、バーミンガム兩市の如き、ジョルヂア西北隅のチヤタヌウガと竝んで、近時異常の工業的發展を遂ぐるに至つた、而して同州唯一の吞吐港たるモビルは、メキシコ灣を距る三十哩のモビル河口にあつて、人口七萬五千、郊外地を加へて約十萬の小水市だが、遠く東方に延長する海に取圍まれ、且つ灣口に大小數箇の島嶼が散點するなど、モビル灣の自然は他に比して遜色ない形勝を構成して居る、缺點はアラバマ、モビル兩河から多量の土砂が流出される事だが、之が浚渫工事に不斷の努力注がれ、比較的設備の整備した埠頭には、內外船舶の輻湊して頗る殷賑を極めて居る、モビル最初の侵入者は不老の泉と黃金とを求めて來航したスペイン人で、時これ一千五百四十年頃に約四百年の昔事に屬するが、殖民地の建設されたのは一千七百二年、佛人ビエンヴイユ卿の奮鬪がその基ゐを成したのである、モビルの稱はその附近に住居したモラビラ族から出たので、ビエンヴイユ卿はそれにルイ十四世の名號を冠して、フオルト・デ・ラ・モビルと命名したが、その後一千七百六十三年パリー條約の結果、英國に割讓せられてフオルト・シヤロツトと改名された、併し一千七百八十年英西戰爭の際、ベルナドガルヴエスの引率するスペイン軍が、英軍を擊破して此地を占領して以來、一千八百十三年合衆國政府の手に歸するまで、三十三年間前者の治下に經營されたのであつた、かうした史蹟の探討はモビル港の現狀を說くに於て、何等交涉のない繰返しごとに過ぎぬやうだが、之に依つて我は中世紀時代に活躍した南歐諸民族の功績を偲び今日米國の繁榮は決してアングロサクソンの一手に、基礎付けられなかつた事を力說したいのである而してその一例としスペーイン統治時代に築造された、フロリダのセント・オウガスチンから加州のサンデイゴに至る幹線道路を擧げ其範に當るモビル港の市民が、二百五十萬弗を投じて建設した十哩餘のコチレーン鐵橋は、實に北米の一半を灌漑する諸川流を橫斷して築かれた、所謂スパニッシユ、トレール全線中の最大難工事を補足する者だと誇つて居る事實に少からぬ歷史的興味をそゝられると欲する者である、民族の偉大性は唯だ目前の繁榮や發運のみを以て準然之を律する事は出來ぬ、彼等が曾て世界史上に印した功績が、その時代人と後民との間に如何の感化を與ふる者なるかを仔細に鑑識して始めて論定さるべきである、【寫眞は市有埠頭に於ける川蒸氣】

滿日地方版

鞍山

遼陽瓦房店間の蔬菜品評會
鞍山實業協會々堂で開催　きのふ賞狀授與式

滿鐵社會課の主催になる遼陽瓦房店間の第十五回蔬菜品評會は既報の如く十八、十九の兩日鞍山實業協會々堂に於て開催された、出品總數は百九十二點にて十八日午前十時鞍山四本直孝、瓦房店藤原哲次、營口青木正男、大石橋笠口勇、遼陽鈴木の四氏愼重審査の結果左の如く入賞した

△一等賞　大根鞍山三上夏五郎、同營口多賀谷俊吉、葱鞍山伊藤武則、白菜瓦房店柴田節男、南瓜大石橋小林才治、計六點

△二等賞　大根營口加藤加久一、同大石橋池田敏夫、牛蒡海城末安元次郎、人參營口愛中半次郎、葱熊岳城小田切農商、同瓦房店藤原哲二、白菜大石橋藤澤惣太郎、甘藍鞍山城尾嘉久彌、山芋遼陽佐藤力造、計九點

△三等賞　大根蓋平若松周吉、同瓦房店石黒南州夫、同大石橋川成喜藤次、同蓋平三浦春雄、牛蒡瓦房店藤井靜助、同海城樺山重次、人參熊岳城久保辰次郎、同蓋平上田統太郎、葱鞍山金丸萬鶴彬、同大石橋藤澤惣太郎、白菜瓦房店前ナミエ、同蓋平若松周吉、甘藍營口加藤加久一、同鞍山岩崎治省、花椰菜蓋平若松周吉、礎栄瓦房店上原尚正、里芋大石橋藤澤惣太郎、馬鈴薯瓦房店谷口進、蕪菁鞍山池上俊之、南瓜遼陽片岡勘兵衛、計二十一點

外に褒狀三十四名で各地からの出品點數は次の通りである
瓦房店五〇點、大石橋三九點、營口二三點、鞍山六八點、遼陽一二點

賞狀及賞品授與式は十九日午後二時から會場別室に於て行はれたが有志多數列席者があり開會の辭、審査報告、賞狀並賞品授與會長の挨拶、來賓の祝辭、出品者總代の答辭等があつて三時終了したが兩日共多數の參觀人ありて頗る盛況を呈した

養蜂指導講習

鞍山養蜂組合より滿鐵に對し指導員の派遣方を申請中の處鳳凰城滿洲養蜂場の高海案氏を派遣する旨の通達があつたが指導期間は十八日から二十二日までゞあると

防火宣傳
廿三日に擧行

鞍山消防隊の防火宣傳は愈々二十三日午後一時から行はれる事となつたが當日の參加者は警察署員、製鐵所消防班、實業青年團等約七十名にて定刻消防隊前に整列し警察署のオートバイを先頭に、警察署自動車、製鐵所自動車、トラック、水管馬車、器具馬車、自轉車隊等之れに續き市中を一巡して宣傳ビラを撒布する由

老頭兒組勝つ

實業老頭兒組と中年組とのスポーツ野球試合は十八日午後四時から小學校々庭に於て行はれたが三對一で老頭兒軍勝つ

市井雜俎

朝鮮方面へ出張中であつた觀相家橋山天合氏十五日歸鞍從前通り北二條の自宅で鑑定に應づると

◇消費組合の多物大賣出しは十八十九の兩日行つたが下半期のボーナスを當てに相當の賣行を示したと

◇林所長不在中代理を命ぜられたいと

遼陽の見坊所長十八日朝來鞍各事務を處理の上即日歸遼

◇大正通製鐵所員家族加藤厚（？）は十八日赤痢に罹り傳染病棟に收容、原因は饅頭と水お互に注意が肝腎

◇野田洋品店が特約販賣して居るセンターストーブは頗る好評で既に百數十個を賣出したと

◇滿鐵醫院では患者慰安のため落語家橘家圓三を招き先晚大ホールに於て獨演會を催した

◇懇親スポンジ野球大會は二十日より開始される豫定であつたが都合に依り二十一日に變更

◇滿鐵醫院では來る二十九日午後二時より三階廣間に於て醫藥集談會の例會を開催すると

◇菓子業組合では十七日午後七時から實業協會堂に於て定例役員會を開き種々協議する處があつた

◇遼陽縣生れの劉某は十三日製鐵所構內で屑鐵を竊取しゐる現場を取押へられ取調の上十八日支那官憲へ引渡さる

鐵都夜譚

クロスカンツリーの賞品授與後一選手は　こんな賞品を貰つて何になるかと不平を嘱へて居たが此種の選手は賞品を目的としての出場で眞のスポーツマンとして何等價値なきを嘆かはしく思ふ▲觀劇中の婦人や活動見物中の娘御に變なモーションをかける色魔が演藝館に出沒するとの噂が高い▲消費組合の多物賣出しは兩日共大入滿員の盛況で社宅街の細君連は我れを競つてシコタマ買ひ込む緊縮節約が鳴物入りで叫ばれて居る時皮肉の觀を呈す▲奉天の人で鞍山に製氷會社を設立せんと計畫して居ると聞く、小野田の進出、製紙會社の計畫、曰く何々グレート鞍山の實現も唯の夢には消へまい▲林所長今回の歸省は何ものかを意味して居るかの如く巷間に噂されて居るが何處かに轉づるとも辭める樣なことはあるまいと

撫順

白晝驛附近に殺人强盗
ピストルで兇行を演じ所持金を奪ひ逃亡

數日前塔連採砂場事務所附近の殺人事件の記憶新たなる十六日午前十一時と言ふ眞晝撫順驛近くの欄棧街裡に於て又も殺人强盗事件が突發した被害者は奉天省生れ千金寨撫順街牛肉商胡少臣（㈣）と言ひ牛の買出しに金票約二百圓を懷中し欄棧街を通行運河向岸に赴く途中胡が大金を所持せる事を嗅ぎ知りたる三名組の怪漢は是を巧に尾行前記場所で大膽にも胡少臣の眉間にブローニング拳銃を突付け貫通銃創を負はせ即死せしめ有金全部を强奪の上運河を徒渉支那官憲內に逃走したらしく撫順署にては急報に接し非常召集を行ひ新市街及び欄棧街に警戒網を張り倉田司法主任以下數名は運河々畔の叢中に潜伏中同日午後三時十分有力なる被疑者一名を逮捕したるも頑强にして犯行を自供せず係官を手古摺らしてゐる

滿鐵社員が奇怪な毒藥自殺
人權蹂躪問題を惹した男が　モヒとリゾール嚥下

働き盛りの滿鐵社員が毒藥モヒを嚥下十七日午後五時三十分自殺し去つた怪事件がある、右は本籍佐賀縣杵島郡南有明村一七五當時撫順彌生町六丁目一番地十九號古賀重雄（三）と云ひ一週間前勞務係として勤務中些細な事から邦人に拳銃を擬し暴行を働き人權蹂躪問題を惹起し刑事事件をひき起す所を先輩の好意で發覺は首にもならず現在は千金寨倉庫係として勤務中の者なるが十七日午後〇時半頃自宅に於て內縁の妻ツル子（三）に「ウドン」を食ひたいからと臺所に去らしめ机の押出に秘めありしモヒ一グラムとリゾール約百五十グラムを同時に嚥下苦悶し居る處を炊事場より馳つけたる妻ツル子が發見直に柳瀬病院分院に急を告げ胃洗滌を行ひ滿鐵醫院にかつぎ込み加療したるも遂に前記同五時三十分死亡した、原因の一として前記暴行問題が傳へられてゐるが、それ以外重大事件あるものゝ如く司法當局では目下秘密裡に取調べ中である

日本電話の架設不許可
重大視さる

撫順支那町居住呉服商田世官が撫順局管轄下の市內電話二五二八番を西七條祥記銀號より讓り受け數日前支那町に架設せんと縣公署に願ひ出たるに支那官憲では何故か是を不許可處分にした、從來支那町には多數の日本電話が架設してあるのに拘らず今回に限り支那當局が不許可方針を執るに至れるは何故か、電話の問題は第二として右は中央の命に依るものに非ざるかと支那官憲の態度は重大視されてゐる

自轉車泥棒

十六日午後十時千康里遊廓を徘徊中の擧動不審者を逮捕したが右は奉天省生れ住所不定范子陽（三）と云ふ自轉車專門泥と判明した

寄附電話募集
廿六日まで

目下工を急いでゐる市內電話と交換電話との接續期は十二月二十日頃の豫定で居住者一般の利益は一層大なるものあるが、撫順局では此際市民の希望者に限り寄附電話を募集する事と決定申込期間は二十一日から二十六日まで、詳細は局に承合の上なるべく早くその手續を執られ度いと

電燈線盜難

十八日午前零時頃市內西公園の電燈線一千八百米時價百二十圓のものを竊取した四人組の電泥があつたが近來電泥頻出には市民は閉口してゐる

蛙鳴集
奉天醫大助教授　辻忠治

二、貞女趙五娘

趙五娘位貞節な妻はないと思ふ。琵琶記は人記して糟糠の妻と、誠に宜、趙家に嫁いで僅かに兩月、夫蔡邕は父の切なる訓、まつた張太公の親切なる言葉辭し難く、老父老母を殘して試驗の爲め都に上る。

南浦の別れは五娘の春夢斷、臨鏡綠雲撩亂、閑道才朝遊上苑、又添離別歎。から始まる。

譯　春の夢絕えて鏡に向へば黒髪亂る、聞く夫は都に上ると、又離別の悲みを添ふ、雲情雨意、雖可拋兩月夫妻、雪鬢霜顏、竟不念八旬父母、功名之念一起、甘旨之心頓忘、是何道理、

譯　貴方よ、貴方はわけなく私をお捨になるが、お年を召した御兩親を如何なさるの、功名のために孝養をお忘れになるのですか、苦衷憐れむ可し。

如不慮山遙水遠、奴不慮衾寒枕冷、奴只慮公婆沒主一旦冷清々、

譯　お別れするのは厭ひませんが、只お父さんお母さんが如何にお淋しいかと夫れ許り氣に懸かります、

と何ぞ夫れ孝心の深き。你儒、纔換衣青、快意圖、早辦回程、十里紅樓休、戀著娉婷、也不念我、芙蓉帳冷、也思親桑楡暮景、官人、你此去千萬早々回程、

譯　貴方よ、試驗がすんでお役人になられたら、早く歸つて下さいな、都には美しい方もありませうが、お氣をかけられぬやう、よし淋しい私を思つて下さらぬまでも、お兩親の朝夕は必ずお忘れなさらぬやう、ネーあなた、屹度早く歸つてよ、

と可哀想なこと、五娘のやさしい心根に泣かされる。

夫は去つて更りなく、年は早して栗實らず、趙一家の窮乏殊の外ひどい。五娘心を盡して孝養の道を勵むも、女のかよわい腕に抑々朝夕を支へ難く、或る時は髮のものを典して糊口の途に換へ、或る時は義倉の賑米を途で奪はれ、四苦八苦の中に其日を送る。

此間老母は女のあさましさ、魚がないの肉がないの、嫁は蔭で甘いものを食つてゐるのだらうと難題を言ふ。

奴家早上安排些飯與公婆吃、豈不欲買些鮮菜、爭奈無錢去買、誰想婆婆抵死埋怨、只道奴家背地自吃了甚麼東西、暖、不知奴家吃的是米膜糠粃、又不敢分說、使做他埋怨殺了我、也不敢道、眞個好苦也

譯　御馳走を作つて差上げたいのは山々ですが、何分にもお金がなくて如何することも出來ません、それにお母さんは私をお怨みになつて、何か蔭で甘いものでも食べて居るやうにおつしやる、一體私は何を食べて居るとお考へなのでせう、漸く糠を嘗て居るのぢやありませんか、それかと云つて申しわけすることもならず、本當に苦いこと、

五娘よ、御身は誠に糟糠の妻なり。

這糠我待不吃他呵、教奴怎忍餓死時、待吃他呵、教奴怎生吃、思量起來、不如奴先死、圖得不知他親死時、

糠呵、備遭蹉被舂杵、篩儞簸揚儞、吃盡控持、好似奴家自狼狽、千苦萬苦皆經歷、苦人吃着苦味、兩苦相遭、可知道欲吞不去、糠和米本是兩依倚、却遭簸颺作兩處飛、一賤與一貴、好似奴家與夫婿終無見期、丈夫便是米呵、米在他鄉沒處尋、奴家是糠呵、怎地糠來救得人饑餒、好似兒夫出去、怎地教奴供奉得公婆甘旨

譯　おゝ此糠、食べなければお腹がへる、食べようとすると咽喉を通らう、いつそ死んだ方がまし、お兩親の亡くなられるのを見ないだけでも。

糠よ、お前は舂でひかれ、ふるはれ、あふられ、本當につらいことであらう、丁度私の千辛萬苦するのに能く似てゐる、苦い人は苦いものを食べ、兩苦相遭ふとは誠に此事、

糠と米とはもと一體、今ふるはれあふられ、一は賤しく一は貴し、丁度私等夫婦の永く會ふことが出來ないやう、夫は米の如きか、米は他處に行つて尋ぬるに由なし、抑も私は糠か、糠で如何して人の饑えを救ふことが出來やう、丁度兒が出て行つて親を養ふことが出來ないと同じである。

と糠の境遇に吾身を比べる、聞いて泣かない者があらうか。

抑も天は無情、五娘の身に落ちて來る災難は、之を以て終りとしない。間もなくして母を失ひ而して又父、今ははや葬るに資なく、遂に頭髮を市中に賣つて最後の孝養を盡さんとす、聞け五娘の悲壯なる叫びを

頭髮、我爲聞儞度青春、如今又剪儞資送老親、頭髮呵、儞莫怨奴身也、我待不剪儞呵、開口告人羞怎忍、我待剪儞呵、金刀下處應心疼、

譯　髮よ、私はお前を粗末にして青春を送つて來た、それに今又お前を剪つて親の葬式の資に充てようとする、髮よ、許して具れ、お前を剪らなければ羞を忍んで金を借りに行かねばならず、お前を剪らうとすれば、あさましくて胸が痛む、

斯くて五娘は麻衣の裙に土を包み、自ら父母の墓を治め、未だ涙の乾かざるに、琵琶を彈いて食を途に乞ひ、都の夫を尋ねんと千里の旅に上る。

五娘よ、御身は誠に糟糠なり、糟糠となり糠を嘗て父母に事へ孝養を完うして都に上る。米となつて立ち去つた夫君は、やがて錦衣御身を迎へることであらう。

金州

五萬圓に上る減俸で大恐慌
經濟的影響も甚大

明年一月一日より減俸斷行の報傳はるや當地關係官衙學校職員の恐慌一方ならず無風狀態の官場にも動搖の氣分は漲つて來た政府の方針に基く減俸率に依り當地關係全體に及ぼす影響は一ケ年約五萬圓にして之れを之等生活者の現狀と當地方一般經濟界の現狀より見るときは其の與ふる打擊は甚大にして在住者の殆どが俸給生活者を以て充たす當地方の不景氣は尙一層深刻となるものと見られてゐる

新規減俸案に恐慌氣分軟化

減俸斷行騷ぎに一時は不安にかられた在住官吏も新規減俸案作成に恐慌氣分稍軟化し一同愁眉を開い

大和尙山の紅葉近し
探勝の好期

朝夕冷氣を增し早晚秋の候となつて、大和尙山の楓も早三分通り紅葉した、登山探勝の氣分をほしいまゝにするのも今からであらう、紅葉觀賞の處としては南讌其のまゝの感ある響水寺の溪谷、觀音閣唐王殿の絕景である

南山會の落成式
廿二日に擧行

南山會に於ては曩に金大間道路中

蘇家屯の同道路に面する高地に新築中であつた事務所が落成したので來る二十二日午前十一時より盛大なる落成式を擧行すべく年祝を兼ねて二十日より五日間は同事務所附近に於て支那芝居を催し一般に觀覽せしむる由

日曜の催し

▲在鄉軍人會金州分會射擊會　午前八時より三崎山射擊場に於て擧行

▲金州大孤山會送電線路開通祝賀會　正午より大孤山に於て

人事

▲乾武氏（關東廳事務官奉天警察署長）十九日來金城內孔子廟參拜及故王永江氏宅弔問の上即日歸奉

▲中里末雄氏（關東廳土木技師）大孤山送電線路檢查立會の爲十九日來金

▲有川貞敎氏（關東廳遞信技手）大孤山送電線路檢查の爲十九日來金大孤山へ

開原

鮮人救濟で領事訪問
川崎所長が

川崎地方事務所長は十八日十一時五十五分發特急列車にて鐵嶺に近藤領事を訪問し過般募集せる鮮人救濟義損金を手渡し分配救恤に關する協議を遂げた

開原交易總會

開原交易會社にては來る二十三日午後三時同社內に於て定時株主總會を開催し第十六期營業決算報告並に監查役全員任期滿了に付改選をなす由

開銀懇談會

開原銀行頭取川島氏は同行整理につき盡力斡旋した有志及び株主代表者等を十八日午後五時半二葉に招待し整理其緒に着きたるを謝し尙同行の將來につき懇談をなした

報恩講

當地本願寺にては來る廿二日午後二時より宗祖親鸞聖人の報恩講を執行する由なるが當日午前十一時五十四分着特急列車にて大連別院より支那開教總長津村雅量師來開し同報恩講を勤修し又講演ある筈なりと尙ほ翌二十三日は永代讀經並に世話係追弔法要を營むと

奉天

辻强盜の車夫逮捕
共犯者も判明

去る十五日午後八時頃奉天驛に於て李泰長及び高國瑞の兩名を洋車に乘せて城內に向ふ途中隅田町二番地の薄暗がりに引き込み他の五名と共謀して辻强盜を働いた洋車夫外六名の犯人についてはその後奉天署に於て極力搜査中の處その一人は阜姑屯に居住してゐる事が判り直にそこに踏み込んで逮捕した彼は前科一犯趙坤閣（三）と稱し前記犯行を逐一自白した

猶彼の自白により他の犯人阜姑屯居住洋車夫閻喜饋（二七）住所不定無職李孟者（二六）同前科一犯曹雲林（三三）を逮捕したが殘りの姜萬和（三〇）楊福立（三〇）姜小黑（二〇）も目下嚴探中である

コスト機歸國
出發期は未定

目下奉天に滯在中のフランス飛行機コスト號は奉天から南京、安南を經てフランスに歸る豫定であるが出發期日は未定である

奉天署を解放
廿一二兩日間

奉天警察署移轉式並に祝賀會は愈々廿日午前十一時新廳舍裏の會場に於て催されるとなり非番員總出で準備に忙殺されてゐたが全部整つたので當日は盛會が期待されてゐる猶廿一、二の兩日は新廳舍を解放して正午から午後四時まで一般の參觀に供すること〻なつてゐる陳列品の主なるものはあらゆる强盜殺人の兇器、法醫學の參考品、衛生方面の宣傳參考品、交通機關の模型、市街警備の模型、盜難豫防上の參考品等であると

驛の模樣換へ

奉天驛では去る九月廿日以來ヤマトホテルを假待合室にあて驛內模樣換工事をなしてゐるが、該工事は來月八日までには竣工する筈でそれと共に新事務室に移ることゝなつてゐるが、內部は從來と全く其の趣きを異にした待合室に改築されその他出札室、小荷物取扱所、案內所、販賣店等もすつかり位置が變更されるので完成の曉には乘客に多大の便宜を與へる事にならうと

人事

▲大內代議士　十八日安奉線急行にて來奉

▲齋藤理事　十八日來奉

▲武山胤雄氏　太平洋會議へ出席のため二十一日安奉線急行にて京都へ向ふ筈

▲乾奉天署長　十九日旅順より歸奉

▲立川奉天署警視　十八日朝旅順より歸奉

▲原田奉取信事務　十九日歸奉

▲川崎市教育視察團一行四名　十八日鞍山へ

▲佐賀縣商工會議所主催視察團一行十名　十八日來奉

▲滋賀縣教育視察團一行廿七名十八日大連より來奉同日釜山へ

▲青木信光氏（貴族院議員）　十九日來奉

▲岩城隆德氏（同上）　同上

遼陽

新穀類漸騰す

遼陽市場に於ける新穀類は漸次騰貴しつゝあり高粱新物の走りが每斗奉票八十元（豪の歲昨今九十六元斗奉票米百廿元、豆子百二十元、棉花每十斤現大洋五元一、二角を唱へて居る

中日懇親會
廿七日に開催

滿鐵の沿線部落村長及び警察官憲側との懇談會は廿七日遼陽公會堂に於て開催の豫定であるが出席者は南首山から北沙河迄と日本側を合せて百廿餘名に達する見込

演習部隊歸遼

秋季演習の爲め金州、大連方面に出動中であつた步兵第廿聯隊は十七日二十三時五十分着臨時列車で歸遼した

華商組合改選

遼陽附屬地の華商組合は第一期組合長として昭和通りの董齊民が就任して居たが、役員間に經費のみ嵩んで會の成績擧がらずと不平を唱ふる者あり結局董が辭任し後任に本町の陳富九副會長に增感隆の萬秀元が擬せられて居る

ハーモニカ演奏會

遼陽ハーモニカ同好者は十九日午後七時から小學校講堂に於て廿餘番の演奏會を催した

人事

▲松井師團長　南方演習中の處十七日歸遼

▲遠藤師團軍醫部長　同上

▲岩永師團經理部長　同上

▲見坊遼陽地方所長は鞍山業務所長として十八日同地往復

▲志賀大佐（東京幼年學校長）　十八日來遼

▲長山遼陽署長は警察會議に出張中の處十九日歸遼

町の便り

滿鐵社會課主催秋季幼兒デーは十八日午前十時滿鐵俱樂部に於て催され參加幼兒は市內各幼稚園より約三百五十名で遊戲に始り唱歌お話、活動の順に行はれたが盛會を極め正午頃閉會した

◇西塔大街居住鮮人東重永（二八）は十間房裕政號に店員として雇はれてゐるうちさる十二日同店の金

長春

出廻期を控へ貨物激增す
長春驛の總動員準備　收入も加速度に增加

長春驛は多季繁忙期を直前に控へて驛員を增員する外驛員中貨物事務に經驗あるものは悉く貨物現場に集中する方針をとて總動員の準備が出來た、雜穀の出廻りは既に開始され日一日と數量を增してゐるが之が爲め滿鐵の收入は加速度的に增加し年度初めに東鐵の政策的東行が手傳つて貨物を浦鹽に奪はれ六月十五日現在四百三萬圓の大減收を見てゐた滿鐵は露支紛爭勃發と共に東行貨物の逆送に漸次減收をとり返し新穀の出廻り期の昨今に至つては一日三十萬圓近くの收入あり昨年に比し八、九萬圓乃至十五萬圓の增收を來し十月十五日現在に於ては減收は僅かに五十二萬五千三百五十六圓となつたのでこの調子でゆけば本月二十五日までには完全にとり返し本年度末には大增收となるだらうと觀られてゐる

射擊會に優勝
警官一行歸る

本年の全滿射擊會には長春警察署からは渡邊警部補、門田部長及鎗田、川崎、平谷三巡査が出場し二驛の差で水上署を取り優勝したので署長會議に出席中であつた中尾署長が優勝旗を持つて十八日午後一時十分歸長署員總出で出迎へ署內正面に立て一同小躍りして自祝した

貨車配給の心配なし
驛貨物主任談

北滿貨物の殺到を豫想されてゐる本年多季の出廻り繁忙期に際して貨車の配給、列車の增發等滿鐵當局は準備に大童となつてゐるが、市中當業者間には早くも滿鐵線が四平街以北單線なる爲め貨物が停滯するだらうとか貨車の不足から浦鹽貨物のみ輸送してローカルの輸送貨物は後廻しにするだらうなど懸念されてゐるが、右に關して高澤長春驛貨物主任は語る

滿鐵線が單線なる故貨物が輸送しきれないなど云ふは杞憂にすぎない尤も東鐵との協定で滿鐵は貨物の積替へを遲延させることが出來ないから途中の貨車配給が多少不足すると云ふ如きは有るかも知れぬが然し東鐵の輸送能力はさして大きいものではないから心配はいらぬ

鐵嶺

行商に行き不明となる
八面城方面で

當地櫻町一丁目古物商谷末吉（五七）は去月二十三日頃八ッ目鰻の行商に八面城方面に行くと言つて外出した儘行方不明となり音信も無い爲め知人は安否を氣遣ひ所在搜查願を提出した

授業時間變更

鐵嶺小學校では二十一日より授業時間を左の如く變更すると
豫鈴午前九時、朝禮午前九、五、第一時同九、一〇、第二時一〇、〇五、第三時一一、〇〇晝食六十分、豫鈴午後〇、四五第四時同〇、五〇、第五時一、四〇、第六時二、三〇

童話會開催

童話並に兒童讀物の作家として有名なる水谷まさ子氏は來る三十日午前十時十五分着列車にて來鐵當小學校に於て兒童慰問の童話會を催すと

新任訓導來る

曩に病氣の爲め退職せる古我訓導及研究所入所の合志訓導の後任として內地より江見壽夫、研究所より龜田秀彥の兩氏任命され此程着任した

天勝一座來る

沿線巡業中の天勝一座は來る二十四日晚當地公會堂に於て得意の奇術及和洋舞踊其他斬新なる藝術を公開する筈と

法庫門警官更迭

法庫門警察官出張所千坂巡査は子息就學の都合上鐵嶺本署に歸任し後任は北五條通派出所大庭巡査が任命され十九日赴法事務の引繼をすると

人事

▲樺太親吉氏　朝鮮各地視察中のところ十六日特急で歸鐵

▲大內署長　旅順出張中十九日朝歸任の筈

▲藻谷地方事務所長　二十日撫順に出張

▲森尾開造氏　鮮銀支店長會議出席の爲め十九日發二十五六日歸鐵の豫定と

熊岳城

支那商が門燈を點して防犯

當地方特產出廻り時期には年々盜難等の罹災者も逐年度々あつた事とて當地警察派出所にては夜間比較的暗闇の方面に同罪の犯さるゝに鑑み支那商側に門燈の點燈に依る防難方につき說く所あり今回新に華商四十餘戶は一齊に門燈を點ずる事になつた

馬術大會出場

滿鐵馬術部の主催にて關東軍關東廳、大連市、滿洲日報社の後援により十九、二十の兩日に亘り電氣遊園廣場に於て開催せらるゝ第二回全滿馬術大會に當地乘馬會代表として出場する事になつた熊岳城農業實習所畜產金次郎氏は愛馬雲龍を引つれ十八日午後六時南行列車にて出連した

地委議長決る

今回選出せられた當地方委員の初會議につき西村地方事務所長來熊地方事務所にて會合の結果議長に岡島貞氏、副議長に小原敬介氏を選び右決定した

安東

親切な船員
盲人を勞はる

十六日當地に入港した大連汽船の濟通丸にヴァイオリン一挺と小さな風呂敷包一つをもつた盲鮮人韓用晥（二九）と言ふ乘客があつたが當地に何人も賴る所のない全くの孤獨であり領事館に行きたいと言ふので濟通丸船員は種々色々と面倒を見てやり十六日の如きは雨の降りそゝぐ中を人力車を傭ひ領事館に向はしめたが他の乘客は皆船員の親切に對し激賞して居た

安義雜聞

◇滿鐵社會課、鐵道部、社員會主催の生活改善講演會を十七日午後七時より安東クラブに於て開催、講師は元京大教授醫學博士松浦有志太郎及び鐵道青年會囑託講師村井寅雄兩氏にて非常なる盛會であつた

◇安東青成學校同窓會は十六日午後六時より安東俱樂部に於て懇親會を開いたが出席者多數非常なる盛會であつた

◇安東幼稚園では十七日午前九時半より鎭江山中央廣場に於て運動會を開催の豫定であつたが運動場が昨夜來の雨にて使用出來ないので二十日に開催する事となつた

◇安東滿俱野球團は十九日京城に遠征する事に豫定されて居たが十五日滿俱後援會幹事會の結果中止する事となつた

間島

武器讓受に馬賊團出發
敦化に戒嚴令

敦化縣沙河掌に根據を有する馬賊頭目双勝は豫て赤軍と武器讓渡に關する交渉を行つてゐたところ其の後愈よ長銃百挺、彈藥一千五百發の讓與を受けることに交渉が纏まつたので双勝は部下三十名と共に先月末根據地を出發して露領へ向つたことが判つたので敦化縣在陸軍第七團に於ては去る四日より敦化縣城に戒嚴令を布き夜間十時以後の市內交通を禁ずると共に擧動不審の者を片ッ端から抑留してゐると傳へられてゐる

瓦房店

金融組合貸出開始
一千圓まで

瓦房店都市金融組合にては今回愈々二萬圓の資金到着せるを以て貸出を開始した保證人二人に短期貸出は千圓迄の由希望者至急申込むべしと

◇藤沼寫眞館割引　當地居住藤沼寫眞館にては開業廿五周年に相當するを以て目下景品付大割引を實行して居るが非常な繁昌にて特に支那人の撮影者は頗ぶる多數である

寸閑隨筆

霜降既に降れ葉紅となり水鳥の聲も身に沁む樣な時候となつた此の際節約緊縮の宣傳は特に深刻に先以て寨所の大改良を斷行すべしだ▲社會課醫舘主事に依りて催された漫畫會は平凡と思ひの外古今東西の政治自治外交經濟等に論及して餘す處なしだ▲大囲は更に奇談怪談をも附加して大に笑談奇談する由▲消費組合にては現金掛賣を實施の由なるが消費者は頗る利便となつた▲日蓮寺山麓より掘出した二個の人骨は何やら日本人らしい話小野村博士も病人ならば直く診斷が付くが白骨とあつてはなかゝ容易でないので愼重の態度▲田家も漸々電氣が點ぜられ文化村落となつた

第四回滿日勝繼碁戰（湯淺氏二回目）
先相先先番　宮武喜三太氏　湯淺唯二氏

▲國崎四段講評　白廿二は味惡し然論（い）に曲らざる可からず黒廿九と白卅との交換は黒甚だ惡し黒廿九の手にて卅に伸び出すべし黒卅七は味惡し（ろ）に押ゆる方好とす

—【2】—

ヒステリーは不感症のもと
服み給へトツカピン
日下歯科医院
特價提供
大勝ゴム商會
宗像建築事務所
小粒
大粒
仁丹のハミガキ
仁丹金言小話
世の中を明るく暮さんと欲せば……常にノーシンを愛用せよ
一番よくきく
アレ止は
クラブ洗粉本店謹製の
クラブ美身クリーム
此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、ヒヤケ止にして……
大好評大人気の
衛生的唯一の美身クリームなり
優良な技師に依て作られた優良な品
世界一の蛔蟲驅除藥
マクニン錠
マクニンゼリー
何だか癪に觸る
どうも蟲が好かん
蟲が本心か
人間が本心か
蛔蟲寄生者は兎角蟲に操られて幸運を取逃がす。
專賣特許
金剛煙突
満洲總代理店 秋山商會
妙布
外用
生還！
間一髪、走者は得意の辷込で見事に生還しました
主治効能
肩腰のコリ　リウマチス
うちみ　神經痛
過勞の痛　乳のコリ
咽喉の痛　筋肉の痛
僞物あり
MYOFU
本舗 靈山堂 渡邊輝綱

日曜ページ

重大な關係にある婦人と消費經濟
主人の收入と主婦のつとめ

日本女子大學教授　井上秀子女史談

吾人は消費と云ふ事を愼重せねばならぬ、なぜかと云へば一國の困窮するのは收入の不足よりも消費の知識缺乏に基因してゐるからである。人類の繁榮と幸福を增進せん爲には次の三要點に力を注がなくてはならぬ

一、よりよき生産
二、よりよき選擇
三、よりよき消費

この三要點の中特に人類の繁榮幸福に必要なのは第三の「よりよき消費」である

右の言葉を通して考へて見ても消費者なる婦人の務の重大なる事が考へられるのである

一家の收入といふ事をよく考へて見ると收入の道を計るのは大抵男子の手によつて爲されるのであるが、これを切り盛するのは專ら主婦の手に依つて爲される、つまり收入を衣服住居食物の各費用に

合理的に　分配し、そして消費するのである。例へば衣服は衣服で人々の衣服に對する慾望を滿たし、食物は食物で榮養に合ふやうに切り盛し、この外休養、慰安子女の敎育など一切が主婦の切り盛に依つて爲されるのである。語を換て云へば主婦は收入を切り盛して家族の滿足を遂げさせるのであるから主人の外部からの收入はそれが家庭に使用される時は家族的個人の收入になつて來るのである。即ち各個人の慾望の滿足が收入であるといふ事になるのである

內面的に　觀察して收入とは何であるかと云ふと金ではなくて金によつて得られる衣食住、それによつて得られる體の要求を滿足するのが收入であつて、つまり金よりも要求の滿足といふ事になるのであるからこの意味から收入を計るといふ事も大切なるは勿論であるが、最小の金で最大の滿足を興へるやうにする事がより大切であると思ふ。重大なる消費を掌つてゐる婦人は國民の幸福を增進し國民の繁榮を招來する爲めには生産者より消費者の責任がより重大であるといふ事を考へねばならぬのである。この立場から米國の

經濟學者　は次のやうな事を云つてゐる

社會淨化と信仰の生活
現代人の通弊は信仰の生活を沒却するに在る

吾々が大道を進み、目覺めて生活してゆくには崇高なる信仰の理想境に達しなければならぬ、然るに信仰生活の甚だ萎微して居ることは現代人の大なる通弊とも云ふべきであつて、其結果兎角輕佻浮華の風が行はれ、或は思想上國家の爲めに、社會の爲めに

危險なる　傾向をも現はれ或は道德上忌まはしき罪惡なども近來頻々として起つて居る、之等幾多の醜惡なる問題を解決せんには敎育の改善、政治の倫理化と云ふ事も必要になり、社會政策の確立と云ふ事も必要ではあるが、其の根本策として先づ第一に信仰生活の涵養に努めなければならぬ、然らば信仰生活とは如何なるものであるかと云へば一般宗敎に通じて神とか佛とか云ふ宗敎的理想を中心とする生活である、素より神佛に對する見解や解釋は種々區々であり、之れを內に求むるあり、外に求むるあり、又內外を絕した境涯に求むるものもあるが、要するに各自が宗敎的理想を中心として生活するのである、即ち一つの理想を中心として生活すれば自から

向上修養　の考へも起り放漫な生活はこれを反省し懺悔すると云ふ事になる、故に何れの宗敎に於ても懺悔と云ふ事が行はれてゐるのである、此の反省、懺悔と云ふ事は我々の向上生活には極めて大切な事である、普通一般の修養に於ても自ら三度我が身を顧みると云ふやうな事を云はれるのも此の意味である、若し反省懺悔なくして我儘放縱で、勝手次第な生活をすれば遂に亂れ、煩悶に煩悶を重ねてその極は行詰つてしまふのである、カントが批評哲學の立場から「我々は純理性の智的方面にのみ止つてゐるならば、實際生活に於て種々な不安が起り、煩悶懷疑と云ふ事に陷るより外はない故に實際の生活に於て實踐理性の信仰と云ふもので進まなければならぬ。此の信仰がある所に始めて眞の

自由意思　の世界が現れ、道德の世界と云ふものが開かれるのである」と、然るに近來は一般に智的方面には非常に發達してる事は勿論喜ぶべき事ではあるがそれのみに止まつて行詰つて仕舞ふのである。故に青年の中には現代の時弊を見て大いに憤慨して、同時に自ら進む可き道に就いて一大信念をもたねばならぬ、斯くして智的方面と併行して信仰生活に進まなければならぬ。

主婦の心得べき副食物と其調理
その土地季節の物を自然の狀態で調理す

◆…副食物はその土地その季節に出來たものを成る可く自然の儘に近き狀態で調理することです。土地のもの季節物は比較的安價で榮養素を充分に保有してゐるのであります。

◆…魚肉、獸肉は必ず野菜と配合することを忘れず且肉の分量は野菜の半分以下がよいのです。小鳥小魚の類は成るべく骨と共に食べられる樣にするか、野菜は皮つきの儘調理すること、茹汁は捨てない爲め又あまり煮過ぎない樣にすべきであります。植物性油を以て野菜を揚げたものを食べるには大根おろしを澤山混食すると却つて一種の甘味を覺えて消化も至極よいのであります。蓮根、大根、茄子大しや、トマト、キヤベツ、蕪菁等の野菜類は榮養素も多く胃の吸收も良いものですから努めて食べる樣にしたいものです。

◆…要するに凡ての副食物は偏食に陷らぬやう種々のものを取り合はせて所謂混食に心懸ける事が必要であります。尙野菜の栽培には多く人糞を用ひますので寄生蟲卵の附着して居る危險がありますから豫じめビール瓶一杯の水に盃一杯の晒粉を溶かして置き、之を洗水に數滴たらし此の中へ野菜類を三十分位浸して淸水で洗ひ揚げて用ふれば比較的安くして食べられます。

清楚な感を與へる障子の張り方
歪みを直し形を整へ下から上へ張上げる

そろ〳〵障子を張り返へる時期になりました。障子を張るのは何の雜作もなさうなものですが注意しないと建つけが合はなくなつたり、紙の切り目が無揃ひで醜くなつたりするものです。そこで體裁よく張らんとするには、先づ障子を綺麗に洗ひ、骨に付き殘つた紙を雜巾で拭き取つて綺麗にしてから日蔭で乾かします。其の儘張ると障子が歪んで建つけが合はなくなりますから、一度嵌めて見て歪みをなほし、形をくづさないやうに靜かに外してから張ります ときれいになります。それから糊をあまり澤山つけると骨からはみ出してきたなくなりますから、澤く刷毛につけて二、三回塗つた後で張るとぴつたりと紙のつきもよくなります。尙紙を切る時には曲げると大へん醜く見えるものですから定規のやうなものを當てゝ銳利な刄物で眞直に切らねばなりません。最も注意すべき事は障子を張る時決して上から張つてはなりません。必ず下の方から上へ張り上げてゆく事です。そうでないと雨風の時すぐ破れ易いからです。すつかり張り終りましたなら淸水で一面に霧を吹きますと紙がきちんとなります。尙障子紙は安物は破れ易いので結局損ですから、なるべく上等の紙で張る必要があります。

見榮から實用へ　ゴム靴時代來る
支那人に愛用される

靴の世界にも革命の時代が來た。安くて堅牢でと云ふ特徵が各方面に歡迎されて壓倒的の勢で賣り出されてゐるのがゴム靴である。殊に支那方面に愛用されて奧地の方へもドン〳〵仕向けられてゐる。今大連に賣り出されてゐるゴム靴は朝日、國華などの內地製であるが今回大連靑雲臺にも一ケ所愛輪公司てふ看板を掲げて大々的の製造を開始し玆許相互の競爭となり火花を散らして販路を擴げつゝある値段の如きも大連で製造されるのは工賃の安い關係もあり、また猛烈な競爭も手傳つて小供用が六十錢、大人用が七十五錢位、赤い緒の繡裏の値段位で三月も四月も履かれ靴下なども革靴より三倍も經濟になる外輕くて實用的であると云ふのが一般向となり最近は中、小學校等の生徒用にも歡迎され革靴よりゴム靴へ――見榮より實用へ――時流に乘つて革靴の影をひそめる程素晴らしい勢ひで驅逐しつゝある

婚禮の心得
特に小物類を忘れない樣に

御婚禮が近づいて、にはかにお化粧を始めても仲々綺麗に出來るものではありません殊にゴシ〳〵お顏を洗つたりなどしては却つて吹出物などができます、皮膚の手入れは日常心掛けてゐなければいけないのです

◇

髮でも日本髮の方は、少くとも當日までに二三回は結ならしておかねばなりません、同時に美顏術も二三回行つて皮膚の掃除をしておきます、それで御婚禮の前の晩は出來る丈けよく眠る樣にしなければいけません、そして當日は心を爽かにし淸々しい氣持で鏡臺に向ひます、寢不足や心の引立たない時には一番お化粧に都合が悪いものです、朝は先づお風呂にはいり、お髮あげ、着付けと云ふ順に準備いたします

◇

お化粧はお人形式の、眞白な仕方は禁物です、出來る丈け自分の良い點を引立たせる樣に努めなければなりません、眉墨とか頰紅は何時もの樣に、自分のお顏によく似合ふ樣にする方が無難です

◇

着付けには小物をわすれない樣に、肌着、裾よけ、（式服は白、更衣は赤）伊達卷、帶上芯、腰帶、背負等何れも二つ宛しごき、帶あげ、びんだげ、白繻ストッキング、留ピン上げ、白繻、扇子、細紐（モスリン二寸幅七尺芯なしにくけます）を三本などです、此先になつて不足したり、當日の必要品が目當らないとまごつきますから、これ等は第一に準備しておかねばなりません。

衛生的なお臺所の造り方（二）

金井章次

お臺所の使用人

本論に入る前に、先づ注意せねばならぬのは、お臺所の使用人です。殊に支那人ボーイになりますと、餘程、衛生的な訓練を施しませぬと、不潔といふ觀念に乏しい。

彼等は一方、最も淸潔と衛生を尊む調理に關係すると共に、他方各家庭の不淨場や汚物捨場等の掃除もやる。衛生と不衛生、淸淨と不淨とに就て、明瞭な實物訓練を施さねばならぬ。料理に取りかゝる前には、一度手掌を洗ふとか、或は時には消毒するぐらいな習慣は作らせたい。

使用人の健康に就ても注意を拂はねばならぬ。お小供衆の「トラホーム」など、良く學校や幼稚園が直接責任者として非難されますが、何んぞ計らむ。使用の支那人「ボーイ」が重症「トラホーム」であつたなど云ふ例は尠くない。使用の「ボーイ」が不明の熱性病に罹つたが、其經過が長びきそうだと云ふので實家に引きとらせたら、後からそれが「チフス」であつたなど云ふ實例もある、この種の出來事は宿屋飲食店等では一層注意せぬと、公衆に對し飛んだ迷惑を及ぼす事がある。

使用人は採用前に一度健康診斷を受させすか良い。少くとも「トラホーム」の有無位は專門家に見て貰ふ必要がある。

購入先きの店舖の衛生

お臺所に出入りの食料店の衛生狀態にも相當の注意が必要と思ひます。何んでも廉いが標準である と許り、穢な、不潔極まる支那店から、魚貝肉類、野菜等を仕入れるのは考へものです。殊に夏期蠅の群がるやうな不潔な店から品物を納めさすのは、何にかに附け衛生上危險な場合が多からうと思ひます。

趣きの變つた婚禮服の模樣
和漢兩樣の模樣應用

秋の天地は淸涼の氣滿ち、人の心も爽かな時。それと同時に御婚禮　おめでたい式を擧げる方が殖えて居ります。その御婚禮の衣裳は飽くまでお目出度い氣分を中心とした優雅で、典雅な模樣が喜ばれて居ります。即ち鶴龜、鳳凰、松竹梅などが充分用ひられて居りますが、今年東京松屋で調製されたものによりますと、必ずしもお目出度づくしにせず、支那の宋元時代の終盡からヒントを得、それにいく分か現代人の氣持ちを加へた花鳥模樣の落ちつきのあるものが加はつて居ります。それは華やかな中にも莊重な深みのあるものとされ居り、人生の最も意義ある儀式をより華やかにより莊嚴に彩るに相應しいものとされております。例へば丸帶では糸錦朱珍の白地に老松と士東と油頭を應用したもの、裲襠は赤地に立藥と松滄鶴模樣の大緞子に、松と鶴とを染めて刺繡應用で現はしたもの、振袖では一越縮緬グリーン地に花見幕に古代の鎖裏と捨扇とをあしらひ、有職のもの等あつて大體において、おり日本草花を採り入れた優雅な模樣目出度い氣持ちのものではありますが、從來のそれとは稍趣きを變へたものが澤山出來て居ります。

季節料理

松茸の松葉燒

▲材料…（五人前）つぼみの松茸（五十匁）松葉（少々）鹽（大匙二杯）酒（大匙二杯　柚子（一個）食鹽（茶匙半分）醬油（茶匙一杯）味の素（少々）

▲拵へ方…松茸のつぼみの二寸位のものを撰び石ずりのところを薄くけづり、鹽水で洗ひます。松葉を枝からばら〳〵にむしり取り鹽水の中に二三分間浸けて笊に上げます。土瓶又はニユームの鍋に、その松葉を敷きその上に松茸をならべ、お酒を入れて炭火にかけ、蓋をして四五分間燒きます。それを取り出し、足の方から裂き、柚子醬油にくるまぜて後小鉢に前の松葉を少し敷き、その上に松茸を小高く盛ります。この燒き方は松葉をしくために大變風味が宜敷う御座います。次に柚子醬油の拵へ方は柚子を横に半分にきり、兩手でしぼり、その酢に食鹽少々と醬油茶匙一杯を入れ味の素少々を加へたもので御座います。

燒栗の茶碗蒸し

秋穗苑子

▲材料…（五人前）中栗二十五個しばえび二十五尾、みつば少々、玉子中位のもの四つ、煮出汁（三合三勺）醬油大匙一杯、味淋大匙一杯、食鹽少々、柚子の皮少々、味の素少し

▲拵へ方…栗はほうろうに入れて燒栗を作り皮をむいて洗ひ、お湯一合を鍋に入れ、砂糖大匙二杯と鹽小匙半杯味の素少し加へ、煮立つた中に栗を入れ火をとめてふくませて置きます。しばえびは頭を去り皮をむいて背腸を拔いて布巾につゝんで水氣をしぼりみつばは洗つて入分位の長さに切ります。玉子は割つて黃、白味をまぜ合せ盛りわけその上にしばえびを入れ燒栗を入れます。次に玉子の中に分量の煮出汁全部を入れて材料を絞つて殘りの醬油と食鹽、味淋、味の素を入れ前の茶碗に注ぎ入れます、蒸し方を申し上げます、茶碗を蒸籠にならべ弱火で二十分間むしますと、出來上りますからゆずの皮少しを吸口としてのせ茶碗の蓋をして、木皿に白紙を敷いた上にのせて、熱い中に進めます。

秋晴れの公園　鞦韆に戯れる中華人

愛慾の窓 (133)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

謎 (五)

やがて公判廷の開かれる日は來た。

その日はからりと晴れた珍しく温かい日和で、小春日和がまた返つてきたかと思はれるやうな、そして被告草野久彦の青天白日を約束するかのやうな、そんな好い日和であつた。

傍聽席は、事件が事件だけに、滿員であつた。失戀の自暴自棄から、自分を棄て去つた戀人の經營者を、その戀人の兄を帝國ホテルで殺害したといふ被告は、どんな人間であらうか？そして彼は法廷でどういふ態度をするであらうか人々の好奇心が極度に煽られたのも偶然ではなかつた。で、引ばされてきた久彦の姿に、傍聽人の視線は降りそゝがれた。好奇的な、或ひは憐憫的な、或ひは憎悪に燃えて、或ひは憫みに滿ちて、傍聽人の眼は、久彦の意外に明るい顔に注がれた。

久彦は、蒼く朗かな顔色で、微笑をすらその唇邊には浮べてゐるのだつた。面やつれはしてゐるけれども、彼の顔の何處にも、怖るべき犯罪を敢てした人の心の暗い影といふものが見えてはゐなかつた。彼は少しもみだれない調子で、檢事の訊問に應答した。この公判廷では被告は斷じて自分は友永を殺した犯人ではないと主張した。

公判廷は色めき立つた。さまざまな事情から、被告が豫審の供述を覆へすといふ事實は屡々起ることであるが、しかし久彦の場合は、誰も豫期してはゐなかつた。その上被告久彦の陳述には何の澱みもない。そこに犯した罪に對する良心の咎めもなければ、裁かれようとする罪に對する怖れもなく、彼はたゞ泰然な事實をありのまゝに述べてゐるに過ぎないやうに見えた。

「で……では、何故に被告は自分に覺えのない罪を認めたのであるか！被告は、警察當局の取調べに際してあくまで身の潔白を主張すべきではなかつたか？今となつて、豫審を無視する如き行動に出た被告の心事は甚だ解しがたい」

と、檢事は苛立しい調子で、光らせた眼鏡の奥から、被告席の久彦の顔をぢつと睨ろした。

「……警察當局は、狀況證査の上から、わたくしを犯人だといふ先入觀念を以て、お調べになつたやうでしたから、わたくしはわざと犯人になつたのでした。わたしはあの場合警察のお調べに對して、何の辯解も無駄だといふことを觀念しなければなりませんでしたから……たゞ、わたしは一日も早く公判廷が開かれんことを望んでゐるのです！」

久彦は檢事の顔を振り仰ぎながら、おちついた聲で答へた。

第一回の公判は、劈頭被告の否認から二三の押問答が行はれたのち、次回公判には、被害者として倭文子の良人小森英輔が召喚されることゝなつて、存外呆氣なく閉廷されてしまつた。尤も開廷劈頭から被告が豫審を全く根底から覆へすやうな陳述をした場合、裁判長は手際よく閉廷して、次の機會に審理を讓るのが普通であるが。

傍聽席には、不滿な色が漲つてゐた。被告としての久彦も、なほ充分な審理を欲してゐたのだけれども、閉廷を宣された以上は已むを得なかつた。彼は延丁に曳かれて法廷を出た。

と、動きはじめた傍聽席のなかに、彼は思ひ掛けない人の顔を見出して、瞬間、棒立ちになつた。

——あッ！美知子さんだ！

美知子の白い顔が、ぢつと久彦の方を向いてゐたのである。その黒い眸が、動かず自分の方に据ゑられてゐるのを、久彦は被せられてゐる編笠のなかではつきりと見た。

「……早く歩くんだ！」

延丁は低く險しく久彦の耳元で囁くと、彼の脇腹を小突いた。久彦はよろめいた。すると涙がじわじわと瞼の裏を熱くしてきた。

——人ちがひか知ら？いゝや、確にあの人だ！生きてゐてくれたんだ、あの人は死にはしなかつた

彼は肚の底で呟いた。

熱い涙が、糸を曳いてこぼれてきた。

新刊紹介

▲鐵道功罪物語（松村金助氏著）黨略—利權—疑獄—小川前鐵相が收監せられてから我國民の眼は等しく鐵道に集中された。鐵道省は伏魔殿なるかの如く見らるゝに至つた、が鐵道を知り鐵道政策を論ずる日本人は極めて少く一般のものは該事件のみを興味を以て眺めてゐるに過ぎない、鐵道に關する無知識と無關心が斯の如き世界に恥をさらす事件を生んだのである我國人はよろしく本書によりて鐵道及び交通政策に關して必要な常識を得て置くがよいと思ふ。鐵道の話といへば堅さうに感ぜられるが本書は極めて通俗的に又興味本位に書いてある處に特色がある尚滿蒙鐵道に關するものも收めてあり吾等の參考となる點が少くない（定價金二圓、東京市日本橋區吳服町二丁目大阪屋號書店發行）

▲幼年俱樂部（十一月號）相變らず美しく面白くためになり、二つの素敵な附錄もあつて幼年讀者諸君にはこれほど喜ばれる雜誌はあるまい（定價金四十錢東京市本鄉區駒込坂下町四八大日本雄辯會講談社發行）

▲我等（十月號）如是閑の「戰爭の生物學的價値」其他（定價金三十錢、東京市外中野上の原九三七我等社發行）

▲共存（十月號）定價金二十五錢、東京府豐多摩郡大久保百人町三一一新日本協會發行

▲刀劍と歷史（十月號）定價金五十錢、東京市四谷區谷町荒木一番地羽澤文庫發行

▲中央佛教（十月號）洞宗限安心問題に對する宗務員の意見其他（定價金三十五錢東京市牛込區矢來町五七中央佛教社發行）

▲海紅（創刊號）新しい俳句、文藝雜誌、泣菫、露風、瑠太郎、碧梧桐、[illegible]氏執筆（定價金三十錢、[illegible]發行所發行）